

市民アンケート調査報告書【定点観測】

目次

第1章 調査の目的	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者	1
3. 調査票の配布・回収状況	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	1
6. グラフの見方等の注意点	1
第2章 第3次亀山市総合計画策定に向けた市民アンケート	2
1. 回答者の属性	2
2. 亀山市の暮らしの現状	6
(1) 暮らしの現状	6
(2) 評価得点による各項目の検討	14
3. 亀山市の現状評価と今後の取組の重要度	18
(1) 現状の評価	18
(2) 今後の取組の重要度	27
(3) 満足度・重要度	36
4. 亀山市での定住意向について	56
(1) 定住意向	56
(2) 住みたい理由	58
(3) 転出したい理由	60
5. 亀山市の公共交通	62
(1) 鉄道（ＪＲ線）の利用状況	62
(2) バス（路線バス、コミュニティバス）の利用状況	66
(3) 乗合タクシー（のりかめさん）の利用状況	70
(4) タクシーの利用状況	74
(5) 公共交通の利用状況（鉄道（ＪＲ線）、バス、乗合タクシー、タクシーの比較） ..	78
(6) 亀山市の公共交通に今後期待すること	79
6. 災害について	84
(1) 亀山市は災害に強いまちと思うか	84
(2) 災害に対する不安はあるか	86
(3) 災害時に市から情報を取得する方法	88

第1章 調査の目的

1. 調査の目的

亀山市においては、令和7年度末をもって市の最上位計画である第2次総合計画の計画期間が終了するため、令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向けた取り組みを進めています。

本調査は、次期総合計画の策定に向けた基礎資料として、市民の皆様が日頃お感じになられていることをお聞きし、今後のまちづくりにつなげていくための資料とするため実施しました。

2. 調査対象者

第3次亀山市総合計画策定に向けた市民アンケート（18歳以上の市民1,200名）

3. 調査票の配布・回収状況

対象者数	回収数	有効回収率
1,200名	495件	41.2%

4. 調査方法

郵送配布、郵送ならびにWebによる回答回収

5. 調査期間

令和7年3月

6. グラフの見方等の注意点

- ・構成比（％）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して算出した数値であるため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合、各項目の比率の合計は100.0%を超えることがあります。
- ・表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度で省略している場合があります。
- ・なお、集計結果は特記しない限り「回答なし」を含みます。

《参考》 年齢別、紙・Web別、回収数

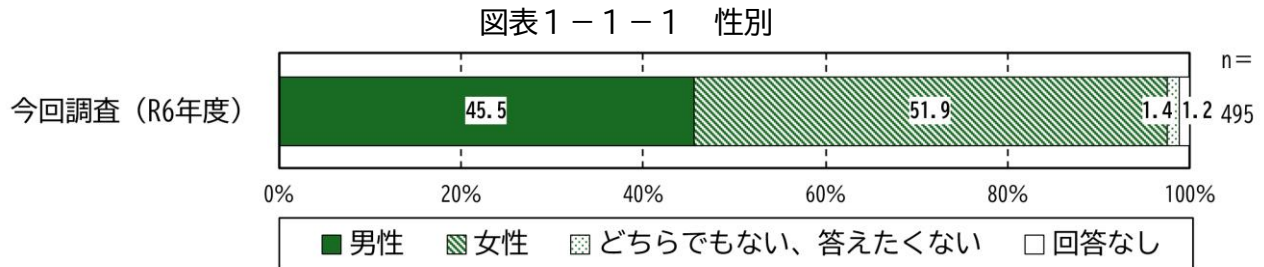
	紙	Web	合計
29歳以下	19 (33.9%)	37 (66.1%)	56 (100.0%)
30～39歳	30 (50.0%)	30 (50.0%)	60 (100.0%)
40～49歳	45 (57.0%)	34 (43.0%)	79 (100.0%)
50～59歳	62 (74.7%)	21 (25.3%)	83 (100.0%)
60～69歳	86 (86.0%)	14 (14.0%)	100 (100.0%)
70歳以上	109 (96.5%)	4 (3.5%)	113 (100.0%)
無回答（年齢不詳）	4 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
合計	355 (71.7%)	140 (28.3%)	495 (100.0%)

第2章 第3次亀山市総合計画策定に向けた市民アンケート

1. 回答者の属性

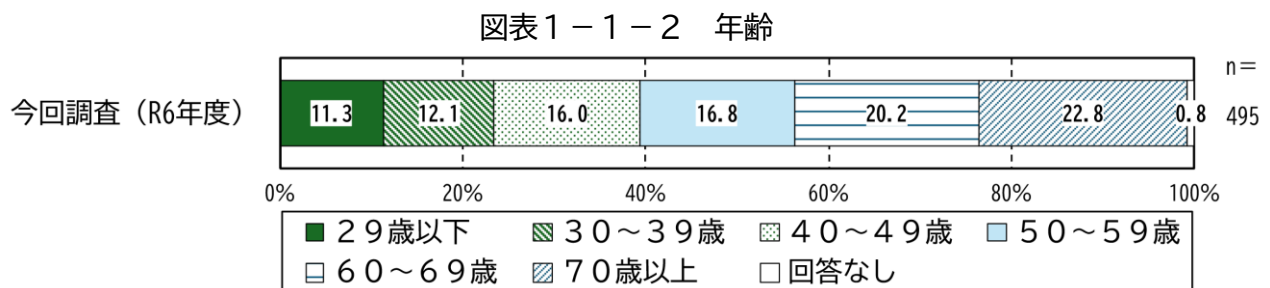
問1 あなた自身の状況についてお答えください。

(1) 性別 ※1つだけに○



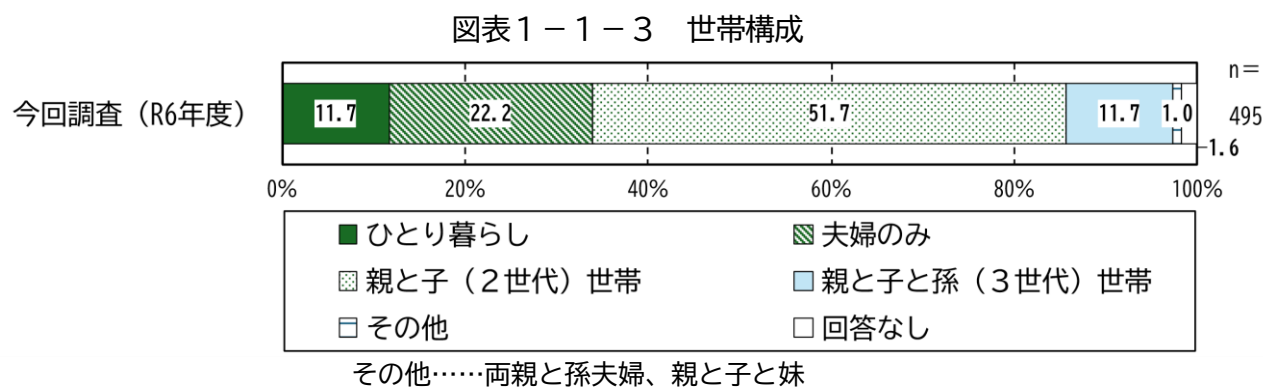
性別は、「女性」が51.9%、「男性」が45.5%で、「女性」の方が6.4ポイント高くなっています。

(2) 年齢 ※令和7年3月1日現在 (1つだけに○)



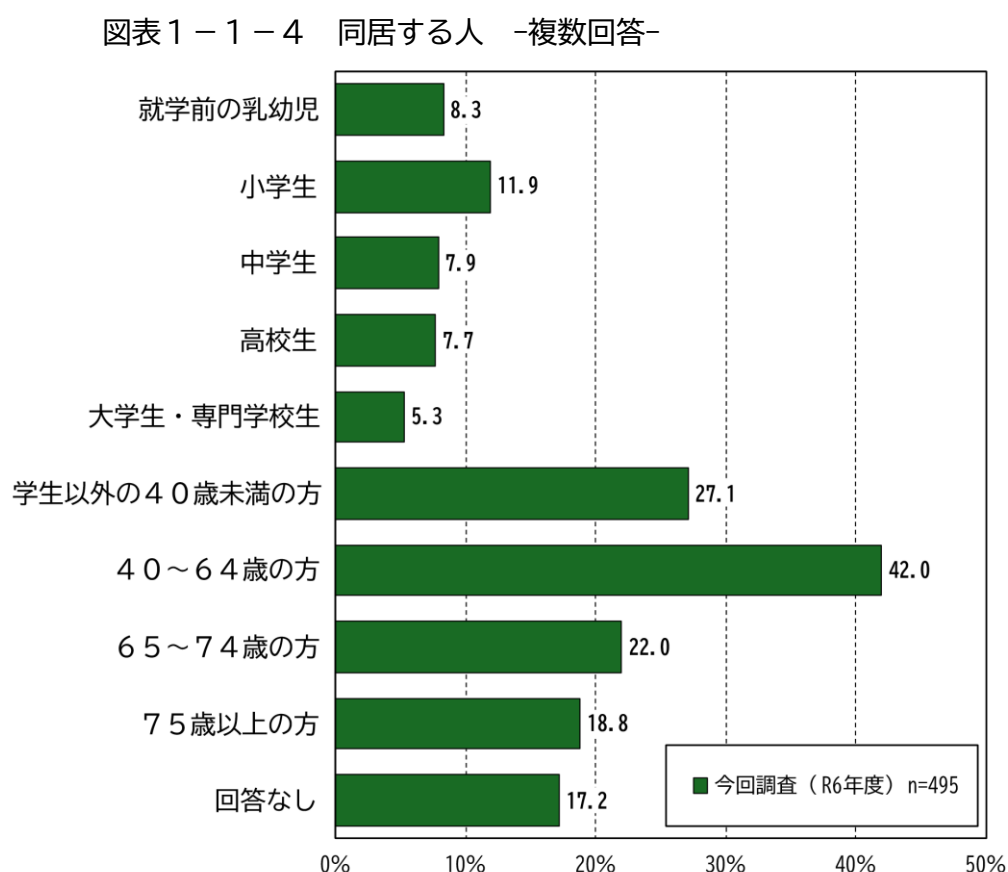
年齢は、「70歳以上」が最も高く22.8%、次いで「60～69歳」が高く20.2%でした。それぞれ2割以上を占めています。

(3) 世帯の構成 ※1つだけに○



世帯構成は、「親と子（2世代）世帯」が最も高く 51.7%と半数以上を占めています。次いで「夫婦のみ」が 22.2%、「親と子と孫（3世代）世帯」11.7%、「ひとり暮らし」が 11.7%となっています。

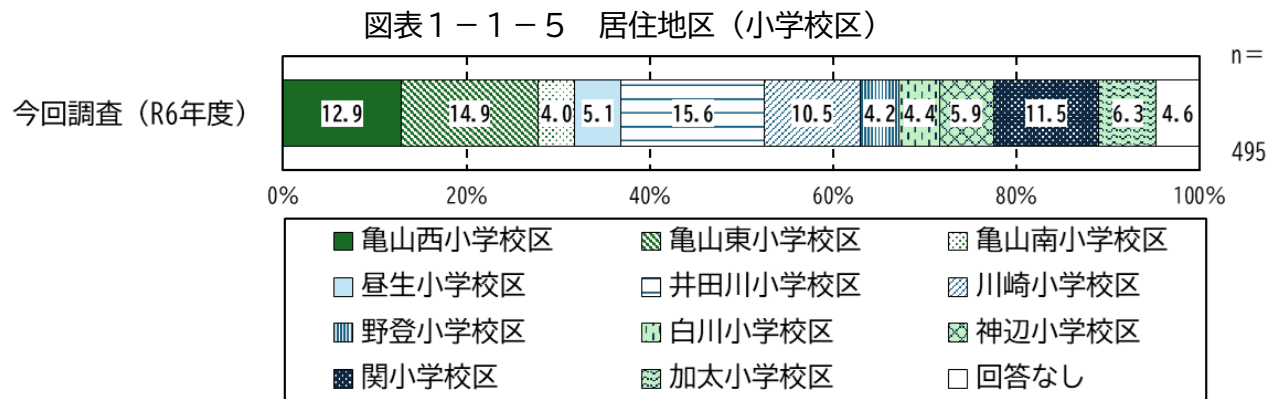
(4) あなた以外で同居する人 ※あてはまるものすべてに○



同居する人は、「就学前の乳幼児」は 8.3%、「小学生」は 11.9%、「中学生」は 7.9%、「高校生」は 7.7%、「大学生・専門学校生」は 5.3%となっています。

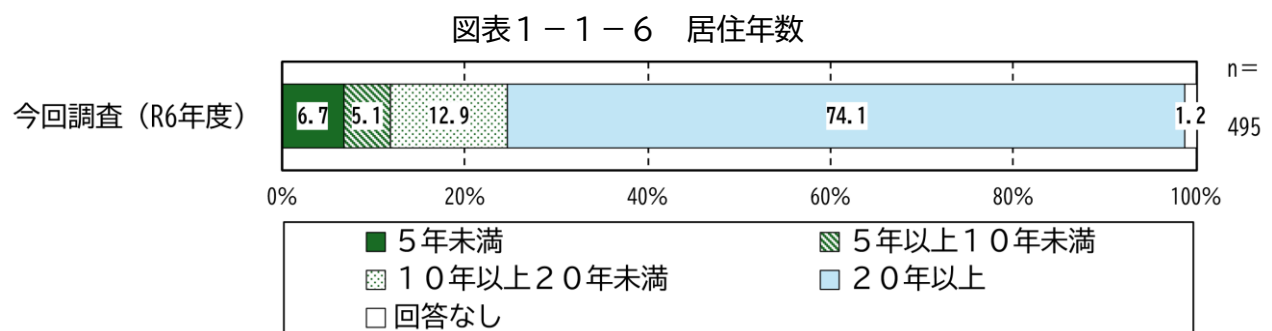
「学生以外の 40 歳未満の方」は 27.1%、「40～64 歳の方」は 42.0%です。また、「65～74 歳の方」（前期高齢者）は 22.0%、「75 歳以上の方」（後期高齢者）は 18.8%となっています。

(5) 居住している小学校区 ※1つだけに○



居住地区は、「井田川小学校区」が最も高く 15.6%です。次いで「亀山東小学校区」の 14.9%、「亀山西小学校区」の 12.9%となっています。

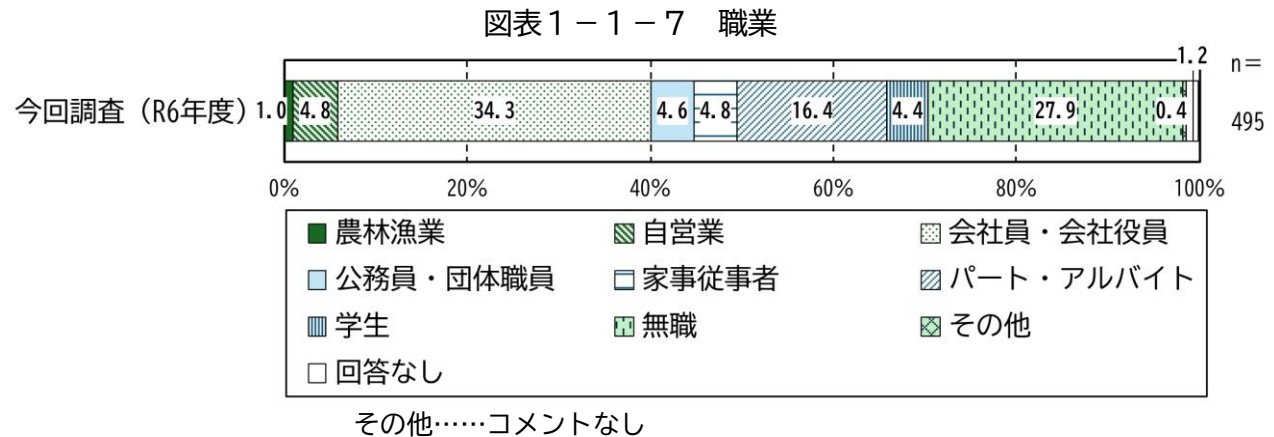
(6) 亀山市での居住年数 ※1つだけに○



亀山市での居住年数は、「20年以上」が最も高く 74.1%で7割以上を占めています。

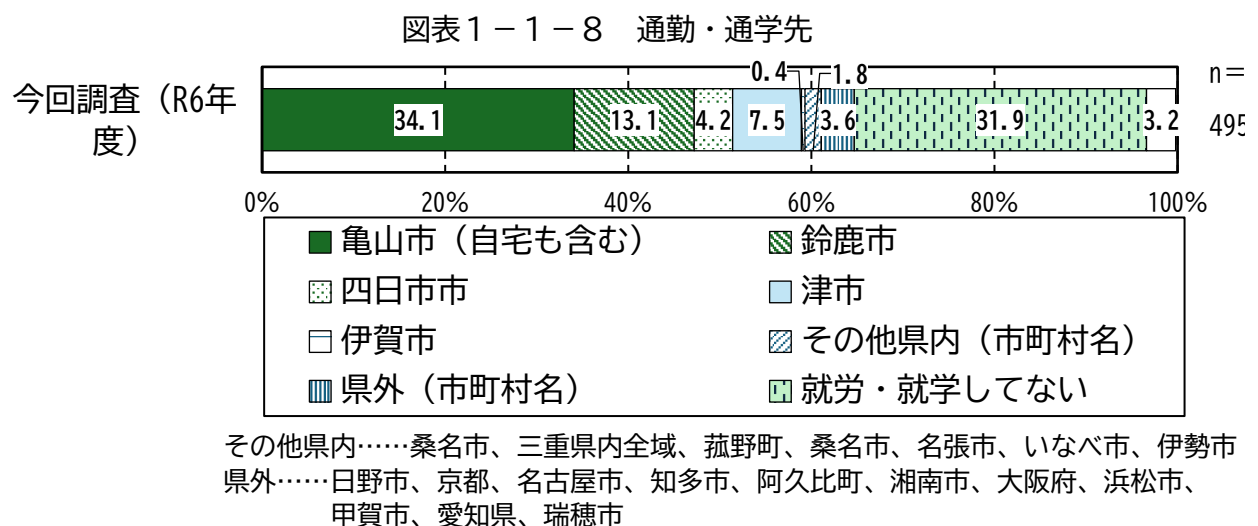
「10年以上20年未満」が 12.9%、「5年未満」が 6.7%、「5年以上10年未満」が 5.1%となっています。

(7) 職業 ※1つだけに○



職業は、「会社員・会社役員」が最も高く 34.3%で3割以上を占めています。次いで「無職」の 27.9%、「パート・アルバイト」の 16.4%が高くなっています。

(8) 通勤・通学先 ※1つだけに○



通勤・通学先は、「亀山市 (自宅も含む)」が最も高く 34.1%、次いで「就労・就学していない」が 31.9%で、この両者は3割以上を占めています。

他で高いのは、「鈴鹿市」の 13.1%、「津市」の 7.5%、「県外」の 3.6%となっています。

2. 亀山市の暮らしの現状

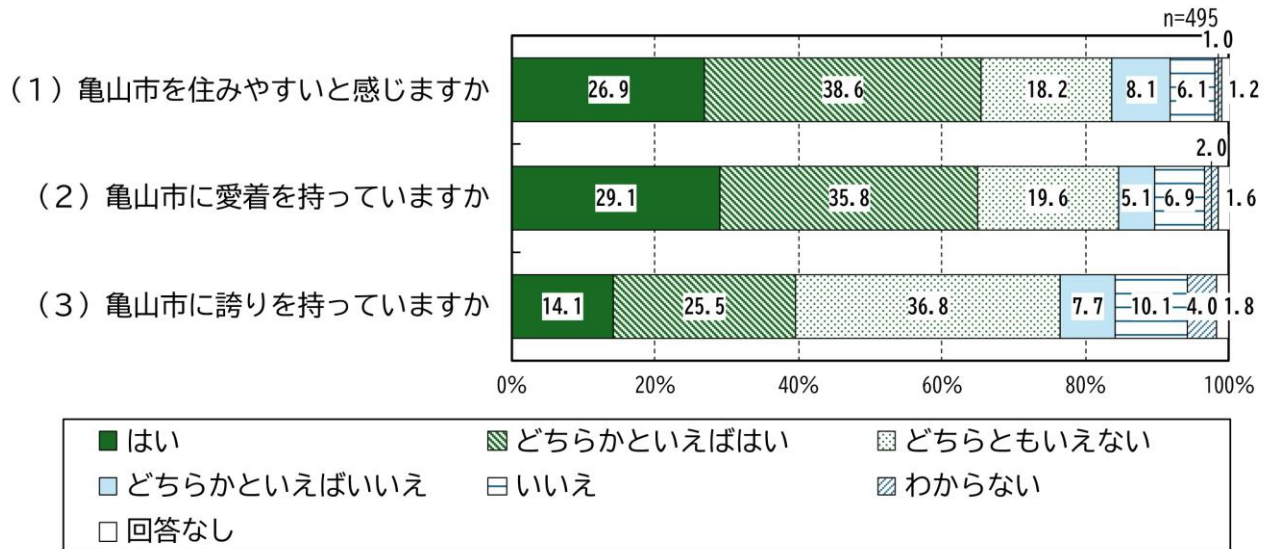
問2 あなたの暮らしの現状や考えについて、お答えください。

※(1)から(28)の項目ごとに、1から6のうちそれぞれ1つずつに○をつける。

(1) 暮らしの現状

【まち全般】

図表2-1-1 暮らしの現状：まち全般



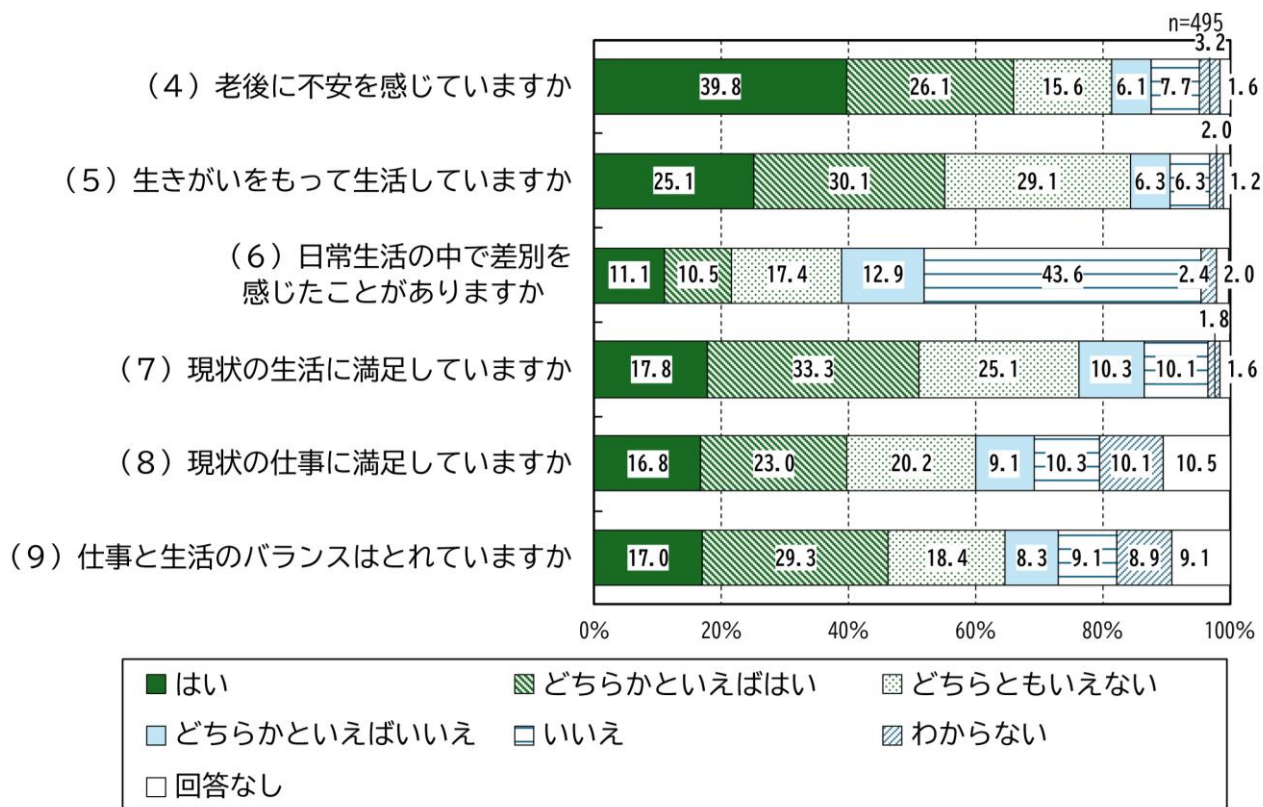
亀山市を住みやすいと感じますかについては、「どちらかといえばはい」が38.6%で最も高く、次いで「はい」が26.9%となっています。『住みやすい（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は65.5%で6割以上を占めています。

亀山市に愛着を持っていますかについては、「どちらかといえばはい」が35.8%で最も高く、次いで「はい」が29.1%となっています。『愛着を持っている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は64.9%でこれも6割以上を占めています。

亀山市に誇りを持っていますかについては、「どちらともいえない」が36.8%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえばはい」が25.5%で、『誇りを持っている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は39.6%と約4割で、『住みやすい』や『愛着を持っている』と比べると低くなっています。

【生きがい】

図表2-1-2 暮らしの現状：生きがい



老後に不安を感じていますかについては、「はい」が39.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばはい」が26.1%となっています。『不安を感じている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は65.9%で6割以上を占めています。

生きがいをもって生活していますかについては、「どちらかといえばはい」が30.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.1%となっています。なお、『生きがいをもって生活している（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は55.2%で5割以上を占めています。

日常生活の中で差別を感じたことがありますかについては、「いいえ」が43.6%で最も高くなっています。「どちらかといえばいいえ」は12.9%で、『差別を感じたことがない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は56.5%と5割以上を占めています。なお、『差別を感じたことがある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は21.6%で約2割となっています。

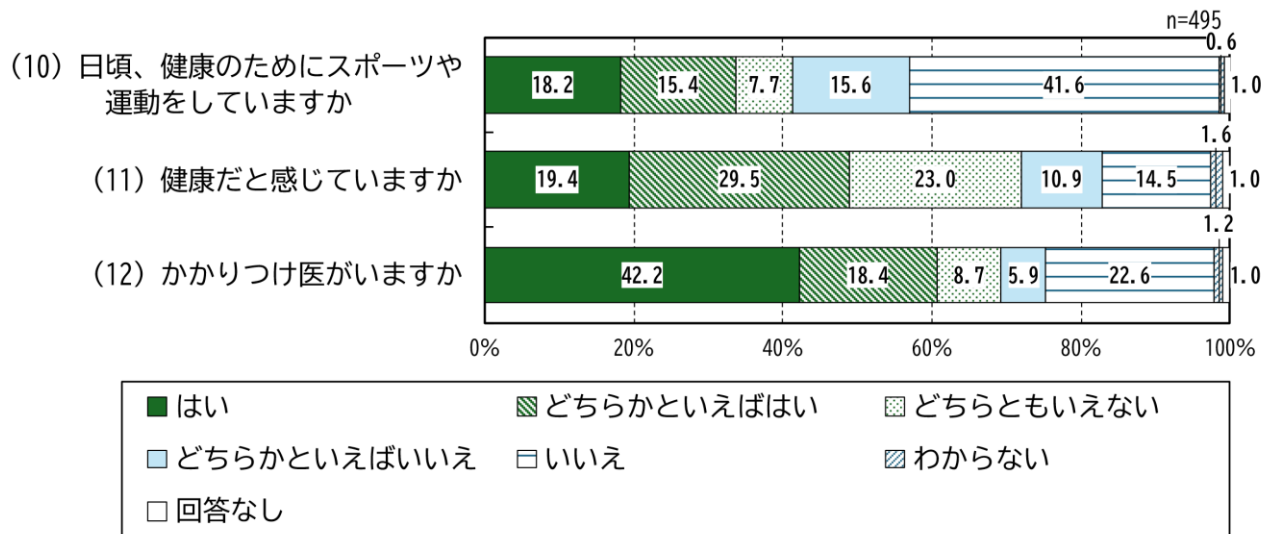
現状の生活に満足していますかについては、「どちらかといえばはい」が33.3%で最も高くなっています。次いで「どちらともいえない」が25.1%となっています。『現状の生活に満足している（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は51.1%でほぼ半数となっています。

現状の仕事に満足していますかについては、「どちらかといえばはい」が23.0%で最も高くなっています。次いで、「どちらともいえない」が20.2%となっています。『現状の仕事に満足している（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は39.8%で4割近くとなっています。

仕事と生活のバランスはとれていますかについては、「どちらかといえばはい」が29.3%で最も高くなっています。次いで「どちらともいえない」が18.4%となっています。『仕事と生活のバランスはとれている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は46.3%で半数近い割合を占めています。

【健康】

図表2－1－3 暮らしの現状：健康



日頃、健康のためにスポーツや運動をしていますかについては、「いいえ」が41.6%で最も高く、次いで「はい」が18.2%となっています。『スポーツや運動をしていない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は57.2%で6割近くを占めています。

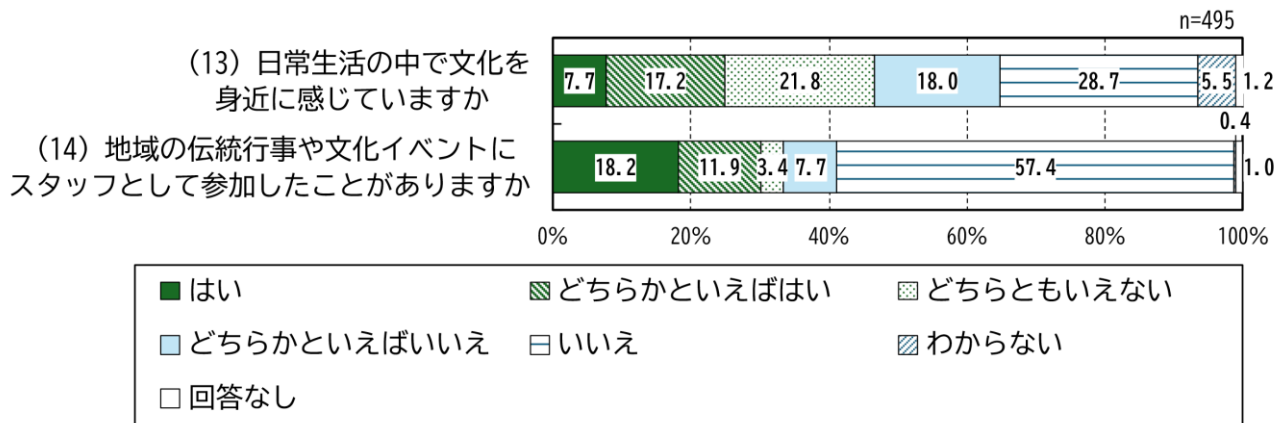
一方、『スポーツや運動をしている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は33.6%で3割超を占めており、『していない』と『している』に2極化しています。

健康だと感じていますかについては、「どちらかといえばはい」が29.5%で最も高くなっています。次いで「どちらともいえない」が23.0%、「はい」が19.4%となっています。『健康だと感じている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は48.9%でほぼ半数となっています。

かかりつけ医がいますかについては、「はい」が42.2%で最も高く、次いで「いいえ」が22.6%となっています。『かかりつけ医がいる（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は60.6%でほぼ6割となっています。

【歴史・文化】

図表2-1-4 暮らしの現状：歴史・文化



日常生活の中で文化を身近に感じていますかについては、「いいえ」が28.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.8%となっています。『文化を身近に感じていない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は46.7%で半数近くを占めています。

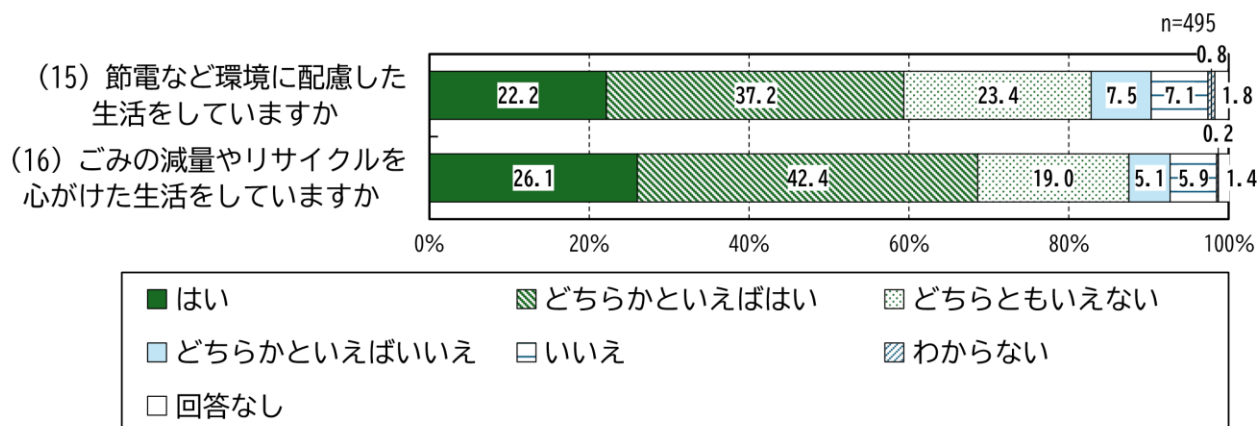
一方、『文化を身近に感じている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は24.9%で3割以下となっています。

地域の伝統行事や文化イベントにスタッフとして参加したことがありますかについては、「いいえ」が57.4%で最も高く、6割近くが参加したことがないと回答しています。

『地域の伝統行事や文化イベントにスタッフとして参加したことがある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は30.1%でほぼ3割となっています。

【環境】

図表2－1－5 暮らしの現状：環境



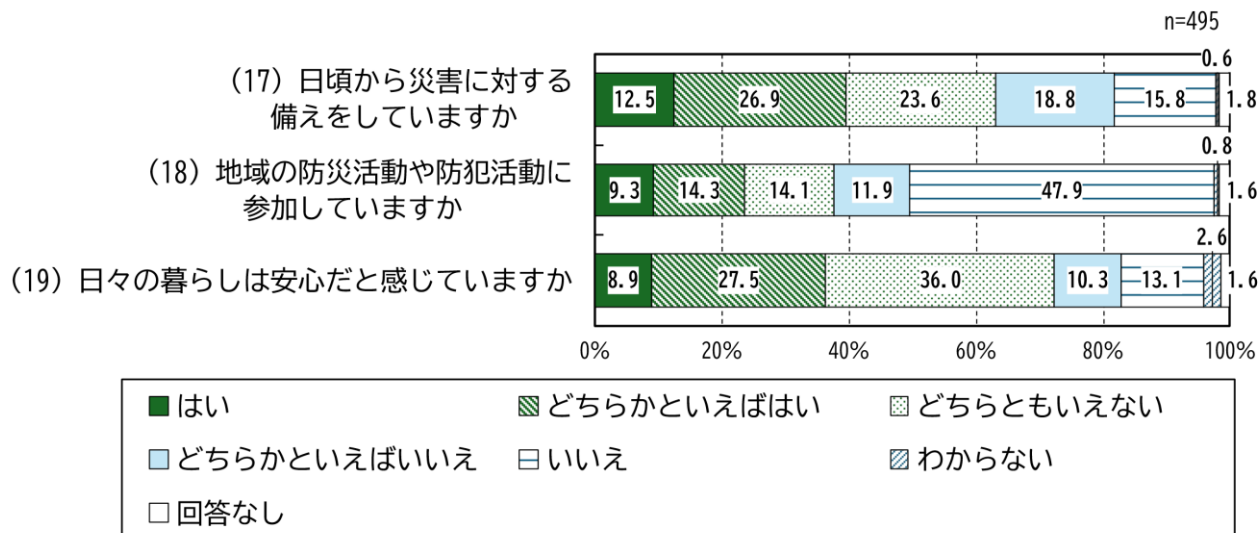
節電など環境に配慮した生活をしていますかについては、「どちらかといえばはい」が37.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.4%となっています。『環境に配慮した生活をしている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は59.4%で6割近くを占めています。

一方、『環境に配慮した生活をしていない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は14.6%でかなり低い割合となっています。

ごみの減量やリサイクルを心がけた生活をしていますかについては、「どちらかといえばはい」が42.4%で最も高く、次いで「はい」が26.1%となっています。『ごみの減量やリサイクルを心がけた生活をしている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は68.5%で7割近くを占めています。

【安心・安全】

図表2-1-6 暮らしの現状：安心・安全



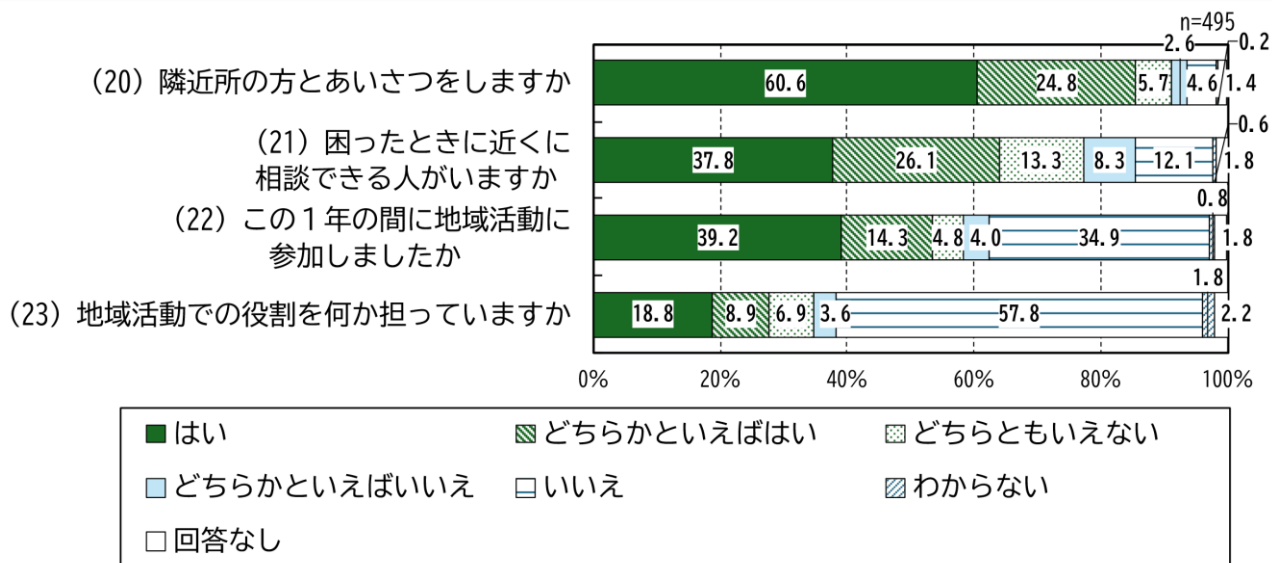
日頃から災害に対する備えをしていますかについては、「どちらかといえばはい」が26.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.6%、「どちらかといえばいいえ」が18.8%となっています。『災害に対する備えをしている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は39.4%で4割近くとなっています。

地域の防災活動や防犯活動に参加していますかについては、「いいえ」が47.9%で最も高く、半数近くは参加していないと回答しています。『地域の防災活動や防犯活動に参加している（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は23.6%で2割超にとどまっています。

日々の暮らしは安心だと感じていますかについては、「どちらともいえない」が36.0%で最も高くなっており、次いで「どちらかといえばはい」が27.5%となっています。『日々の暮らしは安心だと感じている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は36.4%で4割近くとなっています。

【地域との交流】

図表2－1－7 暮らしの現状：地域との交流



隣近所の方とあいさつをしますかについては、「はい」が60.6%で最も高く、約6割はあいさつをしていると回答しています。『隣近所の方とあいさつをしている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は85.4%で8割以上と高い割合を示しています。

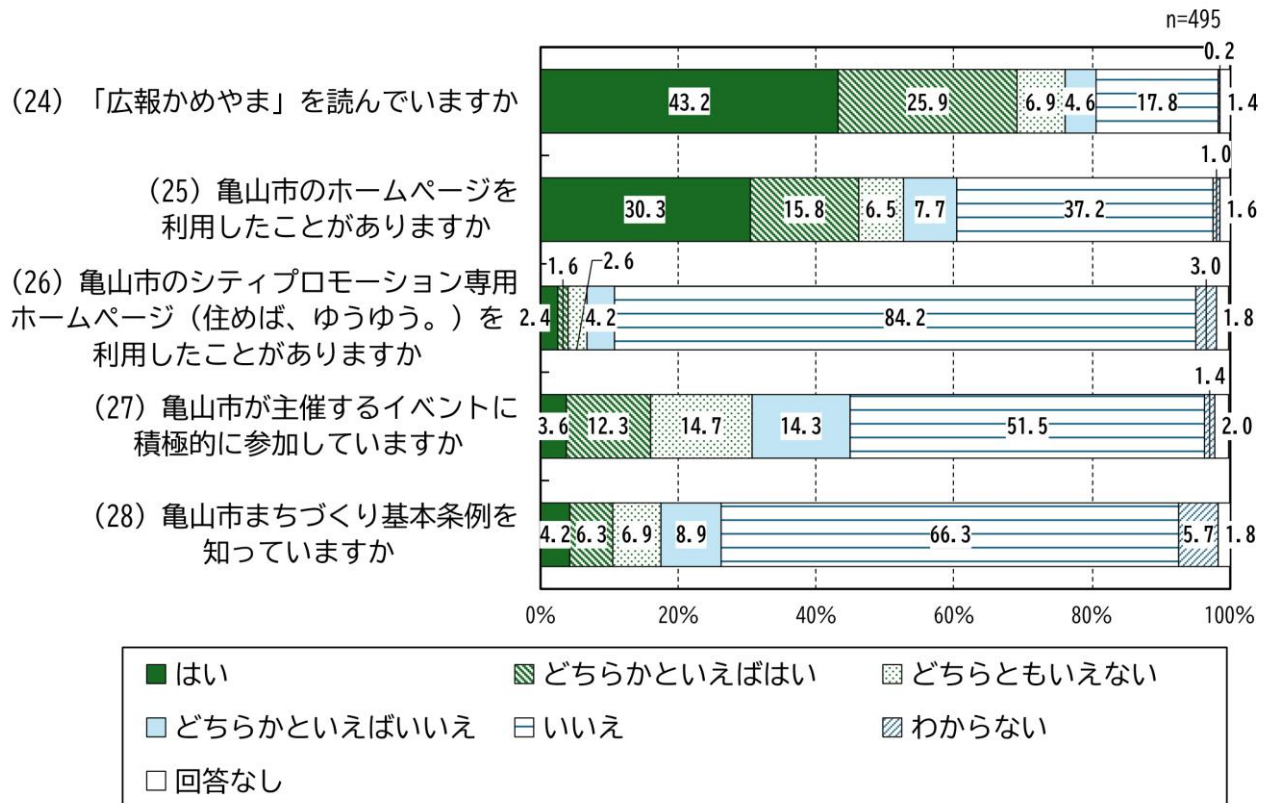
困ったときに近くに相談できる人がいますかについては、「はい」が37.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばはい」が26.1%となっています。『困ったときに近くに相談できる人がいる（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は63.9%で6割以上を占めています。

この1年の間に地域活動に参加しましたかについては、「はい」が39.2%で最も高くなっていますが、「いいえ」も34.9%と高い割合を占めています。『地域活動に参加した（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は53.5%、一方、『地域活動に参加していない（「どちらかというといいいえ」＋「いいえ」）』は38.9%で、「どちらともいえない」は少数で2極化の傾向がみられます。

地域活動での役割を何か担っていますかについては、「いいえ」が57.8%で最も高く、6割近くは担っていないと回答しています。『地域活動での役割を何か担っている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は27.7%で3割以下となっています。

【市政情報・市民参画】

図表2-1-8 暮らしの現状：市政情報・市民参画



「広報かめやま」を読んでいますかについては、「はい」が43.2%で最も高く、次いで「どちらかといえばはい」が25.9%となっています。『「広報かめやま」を読んでいる（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は69.1%と7割近くを占めています。

亀山市のホームページを利用したことがありますかについては、「いいえ」が37.2%で最も高く、次いで「はい」が30.3%となっています。『利用したことがある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は46.1%、『利用したことがない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は44.9%です。「どちらともいえない」は6.5%と少数で、利用したことが「ある」「ない」は2極化しています。

亀山市のシティプロモーション専用ホームページ（住めば、ゆうゆう。）を利用したことがありますかについては、「いいえ」が84.2%で8割以上が利用したことがないと回答しています。なお、『利用したことがある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は4.0%とごく少数にとどまっています。

亀山市が主催するイベントに積極的に参加していますかについては、「いいえ」が51.5%で約半数は参加していないと回答しています。『亀山市が主催するイベントに積極的に参加している（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は15.9%で2割以下にとどまっています。

亀山市まちづくり基本条例を知っていますかについては、「いいえ」が66.3%で7割近くが知らないと回答しています。『基本条例を知っている（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は10.5%で基本条例の認知度は約1割にとどまっています。

(2) 評価得点による各項目の検討

現状の日常生活に対する 28 項目の指標に対して、評価得点により数値化して評価します。

評価得点は、各指標の選択肢に対して、下記に示す点数をつけ得点合計を回答数で割って、平均点（評価得点）にて算出します。算出にあたっては、下記の式を用いて行います。なお、回答数は各項目における全回答数より無回答数「わからない」と回答された数を差し引いた値です。

【各選択肢に対する得点（ウエイト点数）】

選択肢番号	日常生活の評価（満足度）	得点
1	はい	2
2	どちらかといえばはい	1
3	どちらともいえない	0
4	どちらかといえばいいえ	-1
5	いいえ	-2

【評価得点算出式】

$$\text{満足度} = \frac{\begin{array}{l} \text{「はい」} \times 2 \text{点} + \text{「どちらか} \\ \text{といえばはい」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらと} \\ \text{もいえない」} \times 0 \text{点} + \text{「どちらか} \\ \text{といえばいいえ」} \times -1 \text{点} + \text{「いいえ」} \times -2 \text{点} \end{array}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

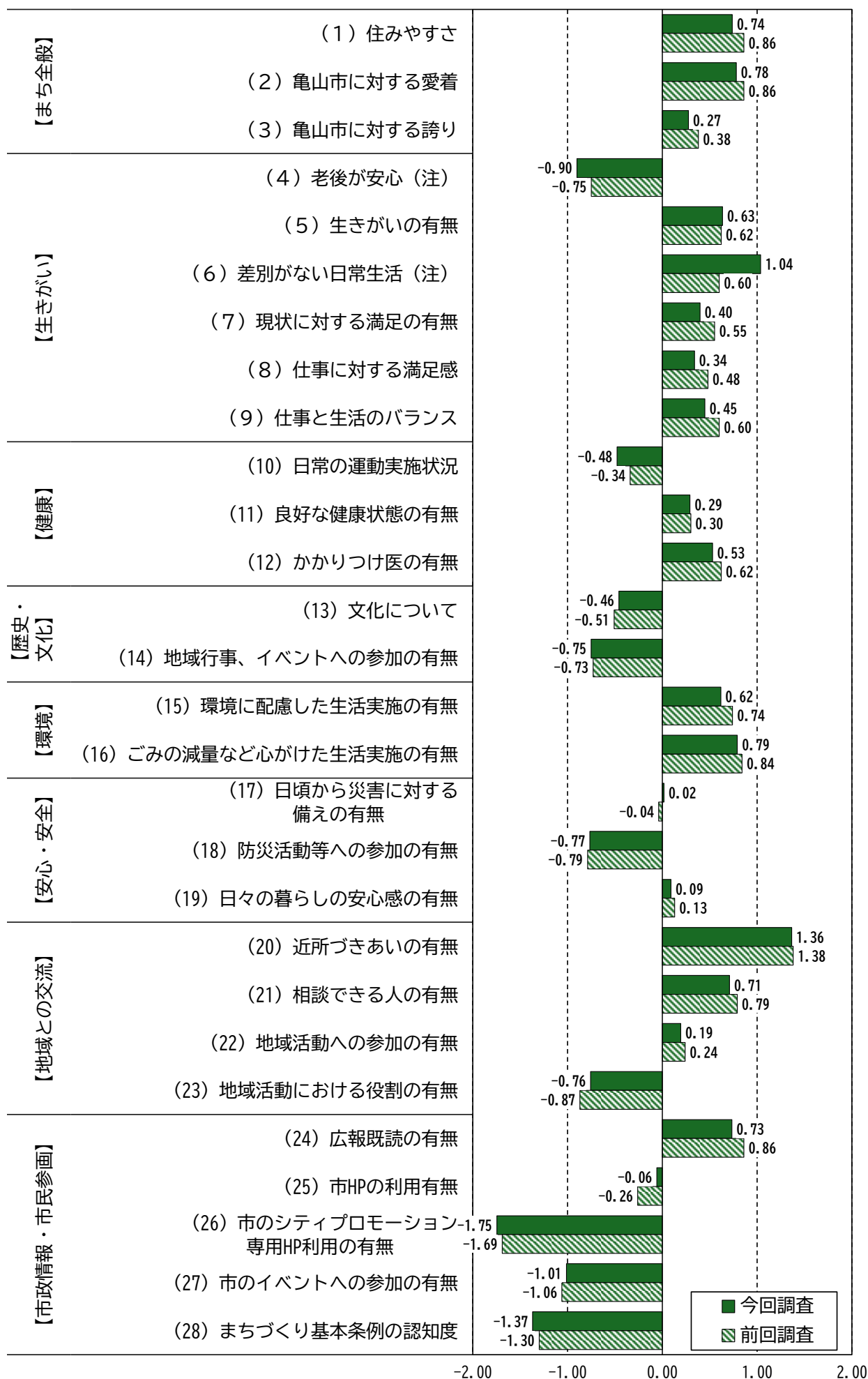
なお、各指標における日常生活の評価は「はい」と回答すれば評価得点は2点となり、満足度が高いことを示します。そこで、(4)老後の不安と(6)差別の有無の2つの項目については、評価軸（満足度）が正反対となるため、「(4)老後が安心」と「(6)差別がない日常生活」に置き換えてとりまとめており、留意する必要があります。（注）図表 2-2-1（対応表）を参照

図表2-2-1 調査票の設問項目と評価（満足度）項目の対応表

	設問項目	評価（満足度）項目
【まち全般】	(1) 亀山市を住みやすいと感じますか	(1) 住みやすさ
	(2) 亀山市に愛着を持っていますか	(2) 亀山市に対する愛着
	(3) 亀山市に誇りを持っていますか	(3) 亀山市に対する誇り
【生きがい】	(4) 老後に不安を感じていますか	(4) 老後が安心（注）
	(5) 生きがいをもって生活していますか	(5) 生きがいの有無
	(6) 日常生活の中で差別を感じたことがありますか	(6) 差別がない日常生活（注）
	(7) 現状の生活に満足していますか	(7) 現状に対する満足の有無
	(8) 現状の仕事に満足していますか	(8) 仕事に対する満足感
	(9) 仕事と生活のバランスはとれていますか	(9) 仕事と生活のバランス
【健康】	(10) 日頃、健康のためにスポーツや運動をしていますか	(10) 日常の運動実施状況
	(11) 健康だと感じていますか	(11) 良好な健康状態の有無
	(12) かかりつけ医がいますか	(12) かかりつけ医の有無
【歴史・文化】	(13) 日常生活の中で文化を身近に感じていますか	(13) 文化について
	(14) 地域の伝統行事や文化イベントにスタッフとして参加したことがありますか	(14) 地域行事、イベントへの参加の有無
【環境】	(15) 節電など環境に配慮した生活をしていますか	(15) 環境に配慮した生活実施の有無
	(16) ごみの減量やリサイクルを心がけた生活をしていますか	(16) ごみの減量など心がけた生活実施の有無
【安心・安全】	(17) 日頃から災害に対する備えをしていますか	(17) 日頃から災害に対する備えの有無
	(18) 地域の防災活動や防犯活動に参加していますか	(18) 防災活動等への参加の有無
	(19) 日々の暮らしは安心だと感じていますか	(19) 日々の暮らしの安心感の有無
【地域との交流】	(20) 隣近所の方とあいさつをしますか	(20) 近所づきあいの有無
	(21) 困ったときに近くに相談できる人がいますか	(21) 相談できる人の有無
	(22) この1年の間に地域活動に参加しましたか	(22) 地域活動への参加の有無
	(23) 地域活動での役割を何か担っていますか	(23) 地域活動における役割の有無
【市政情報・市民参画】	(24) 「広報かめやま」を読んでいますか	(24) 広報既読の有無
	(25) 亀山市のホームページを利用したことがありますか	(25) 市HPの利用有無
	(26) 亀山市のシティプロモーション専用ホームページ（住めば、ゆうゆう。）を利用したことがありますか	(26) 市のシティプロモーション専用HP利用の有無
	(27) 亀山市が主催するイベントに積極的に参加していますか	(27) 市のイベントへの参加の有無
	(28) 亀山市まちづくり基本条例を知っていますか	(28) まちづくり基本条例の認知度

（注）（4）と（6）は評価（満足度）項目の内容が変わっています。

図表 2-2-2 現状の日常生活・個人に対する評価（満足度）（過去調査との比較）



現状の日常生活・個人に対する評価（満足度）については次のとおりです。

日常生活に対する 28 項目の指標のうちプラス評価となっている項目は全部で 18 項目です。このうち「(20) 近所づきあいの有無（近所の方とあいさつをする）」が 1.36 で評価は最も高くなっています。次いで評価が高いのは、「(6)差別がない日常生活」の 1.04、「(16) ごみの減量など心がけた生活実施の有無」の 0.79、「(2)亀山市に対する愛着」の 0.78、「(1) 住みやすさ」の 0.74、「(24)広報既読の有無」の 0.73、「(21)相談できる人の有無」の 0.71 となっています。

一方、マイナス評価となっている項目は全部で 10 項目です。「(26) 市のシティプロモーション専用HP（ホームページ）利用の有無」が-1.75 で最も低く、これに次いで、「(28) まちづくり条例の認知度」の-1.37、「(27)市のイベントへの参加の有無」の-1.01 が相対的に低く、これら 3 項目は-1.00 を下回っています。

「(4)老後が安心」は-0.90 で、老後の生活に対してはマイナス評価となっています。さらに、「(18) 防災活動等への参加の有無」が-0.77、「(23)地域活動における役割の有無」が-0.76、「(14) 地域行事、イベントへの参加の有無」が-0.75 となっており、地域の防災活動や防犯活動、地域活動、行事・イベントなど具体的な参加又は実施行動を伴う項目についてはマイナス評価となっています。

前回調査（令和 5 年度調査）と比較してみると、評価得点が上昇した項目は全部で 8 項目です。このうち「(6)差別がない日常生活」は 0.60 から 1.04 と 0.44 ポイント上昇しており、上昇幅は最も大きくなっています。次いで、「(25)市HPの利用有無」と「(23)地域活動における役割の有無」はそれぞれ 0.20 ポイント、0.11 ポイント上昇しています。

逆に評価得点が低下した項目は全部で 20 項目です。低下の幅が大きいものをみていくと、順に、「(4)老後が安心」、「(7)現状に対する満足の有無」、「(9)仕事と生活のバランス」の 3 項目はマイナス 0.15 ポイント、「(8)仕事に対する満足感」及び「(10)日常の運動実施状況」の 2 項目はマイナス 0.14 ポイントとなっています。現状の生活・仕事、将来（老後）の生活、運動実施状況に関する項目が低下しています。

3. 亀山市の現状評価と今後の取組の重要度

問3 亀山市の現状の評価、今後の取組の重要度についてお答えください。

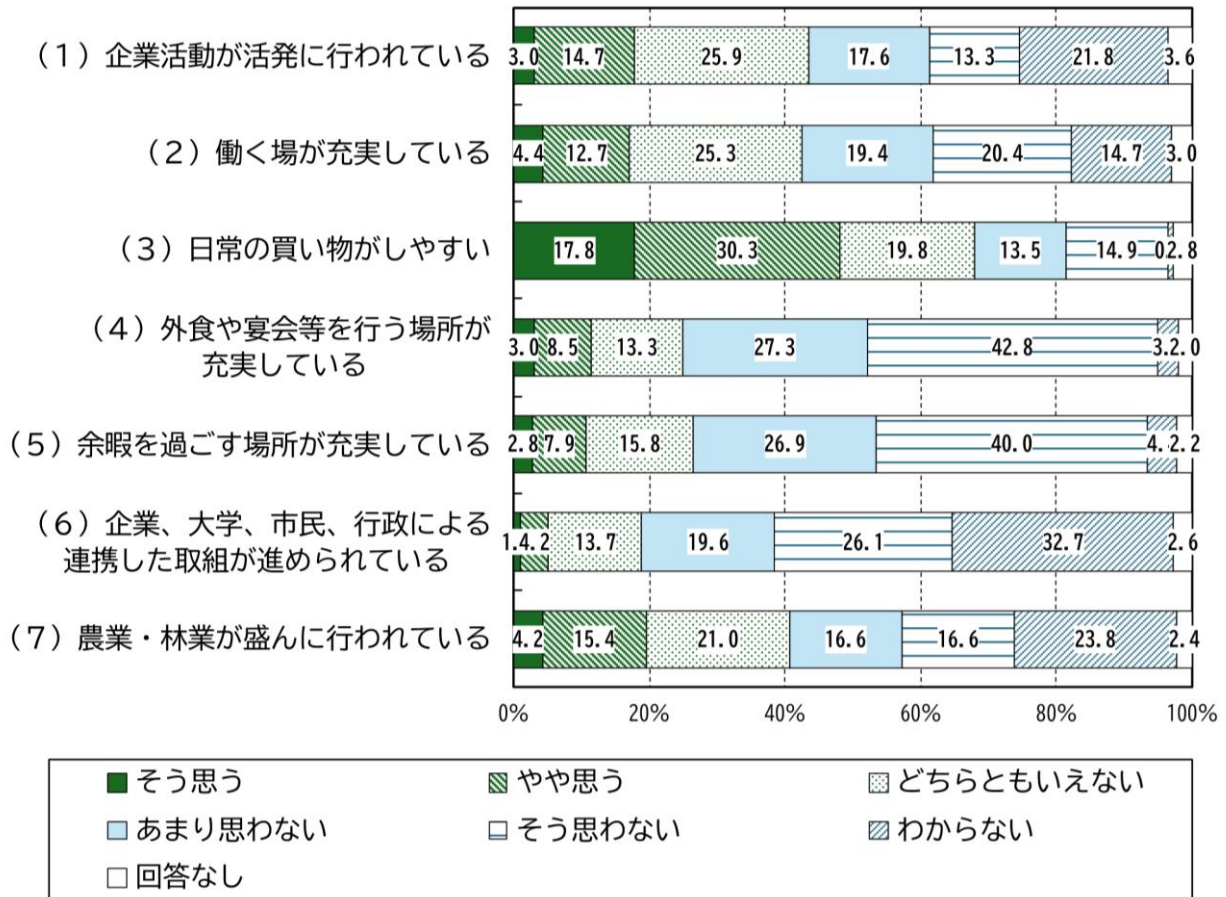
※(1)から(66)のすべての項目の「現状の評価」と「今後の取組の重要度」について、1から6のうちそれぞれ1つずつに○をつける。

(1) 現状の評価

【産業振興】

図表3-1-1 現状の評価：産業振興

n=495



「(3)日常の買い物がしやすい」については、「やや思う」が30.3%で最も高く、次いで「そう思う」が17.8%となっています。両者をあわせた『満足(「そう思う」+「やや思う」)』は48.1%で5割近くを占めています。

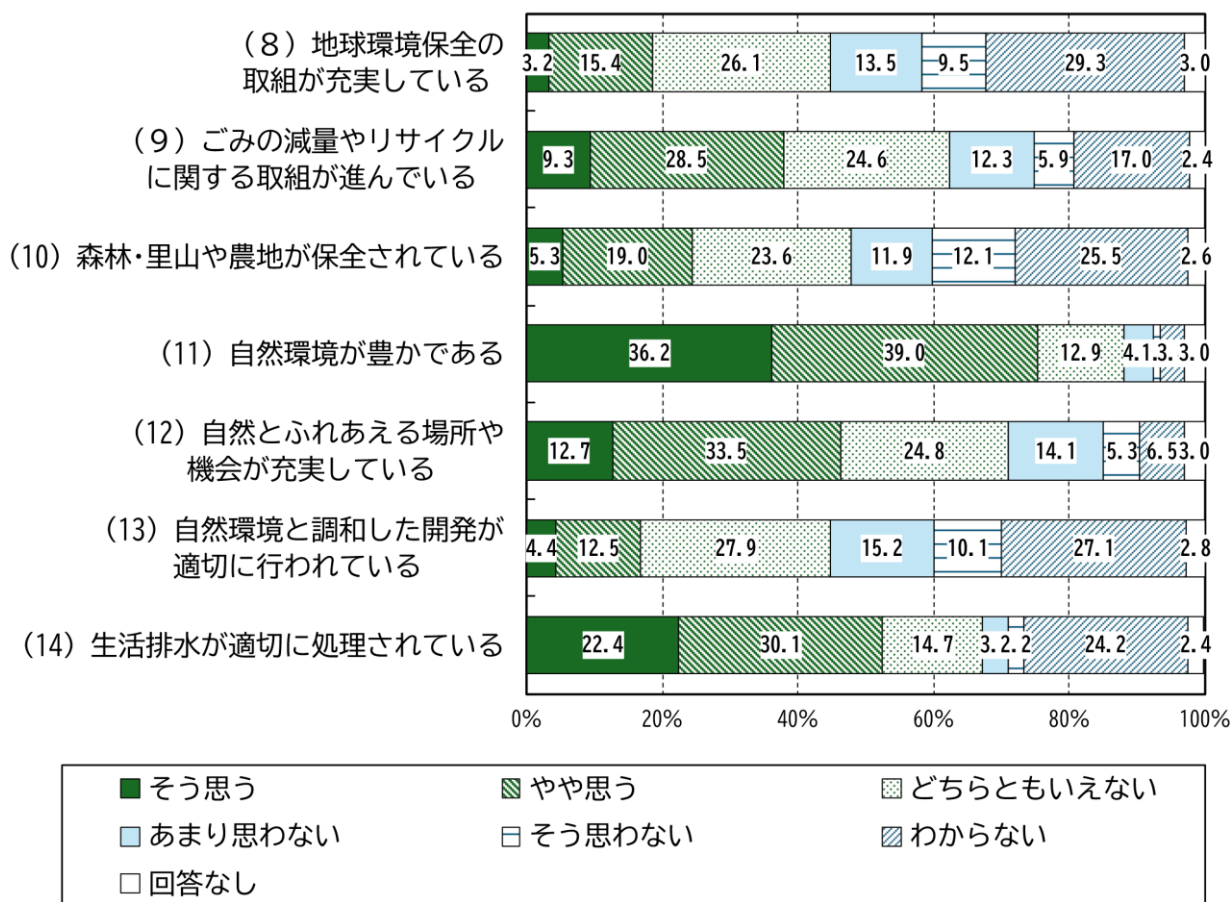
一方、「(4)外食や宴会等を行う場所が充実している」については、「そう思わない」が42.8%で最も高く、次いで「あまり思わない」が27.3%となっています。両者をあわせた『満足していない(「あまり思わない」+「そう思わない」)』は70.1%で7割を占めています。「(5)余暇を過ごす場所が充実している」についても、『満足していない』は66.9%で「(4)外食や宴会等を行う場所が充実している」に次いで高い割合を占めています。

「(7)農業・林業が盛んに行われている」については、『満足』は19.6%と2割近くを占めていますが、『満足していない』は33.2%で、『満足していない』の方が13.6ポイント上回っています。「(1)企業活動が活発に行われている」、「(2)働く場が充実している」についても、『満足』はそれぞれ17.7%、17.1%で相対的に高いものの、『満足していない』はそれぞれ30.9%、39.8%で、『満足していない』の方が上回っています。

【環境創造】

図表3-1-2 現状の評価：環境創造

n=495

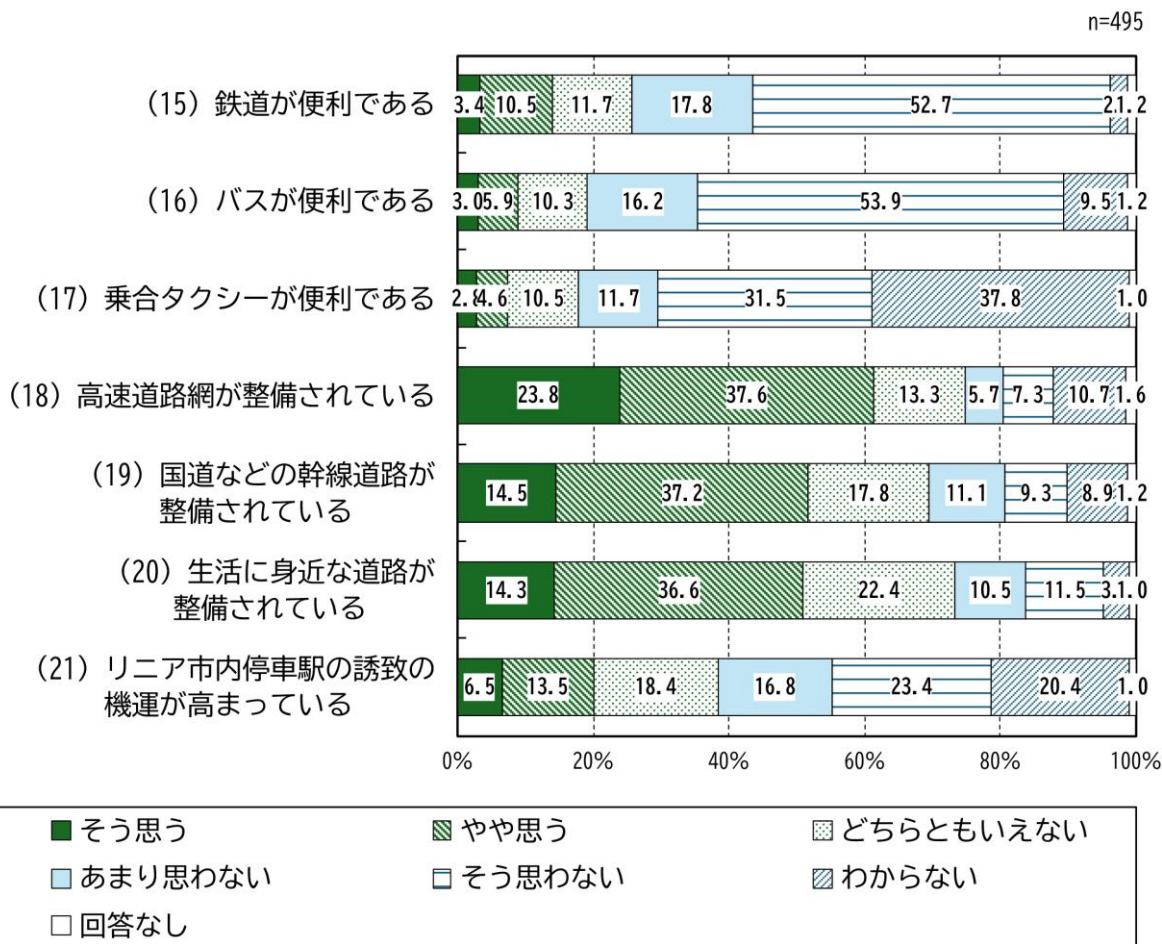


「(11)自然環境が豊かである」については、「やや思う」が39.0%で最も高く、次いで「そう思う」が36.2%となっています。両者をあわせた『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』は75.2%で7割以上の高い割合を占めています。また、「(14)生活排水が適切に処理されている」については『満足』が52.5%で5割以上に、「(12)自然とふれあえる場所や機会が充実している」については『満足』が46.2%で5割近くになっています。

「(10)森林・里山や農地が保全されている」については、『満足』が24.3%、『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』が24.0%で両者が拮抗しています。

「(13) 自然環境と調和した開発が適切に行われている」については、「あまり思わない」が15.2%、「そう思わない」が10.1%となっており、『満足していない』は25.3%と相対的に高くなっています。

図表3－1－3 現状の評価：交通網



「(18)高速道路網が整備されている」については、「やや思う」が37.6%で最も高く、次いで「そう思う」が23.8%となっています。両者をあわせた『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』は61.4%で6割以上の高い割合を占めています。また、「(19)国道などの幹線道路が整備されている」については『満足』が51.7%、「(20)生活に身近な道路が整備されている」については『満足』が50.9%で、ともに5割を占めています。

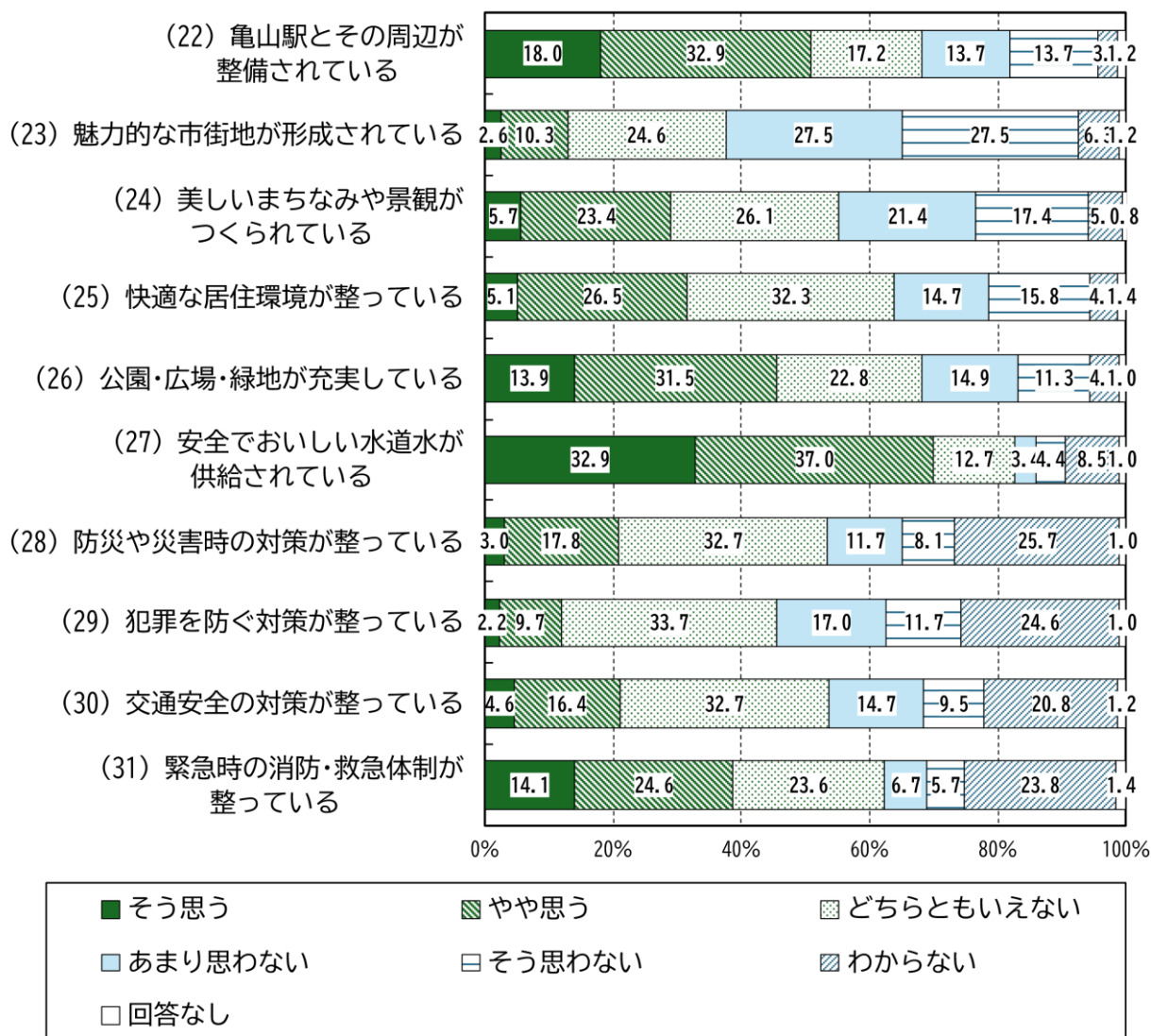
一方、「(15)鉄道が便利である」、「(16)バスが便利である」については、『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』がそれぞれ70.5%、70.1%となっており、ともに7割を超え高い割合を示しています。

なお、「(21)リニア市内停車駅誘致の気運が高まっている」については、『満足』が20.0%、『満足していない』が40.2%で、『満足していない』の方が20.2ポイント高くなっています。

【都市形成】

図表3-1-4 現状の評価：都市形成

n=495

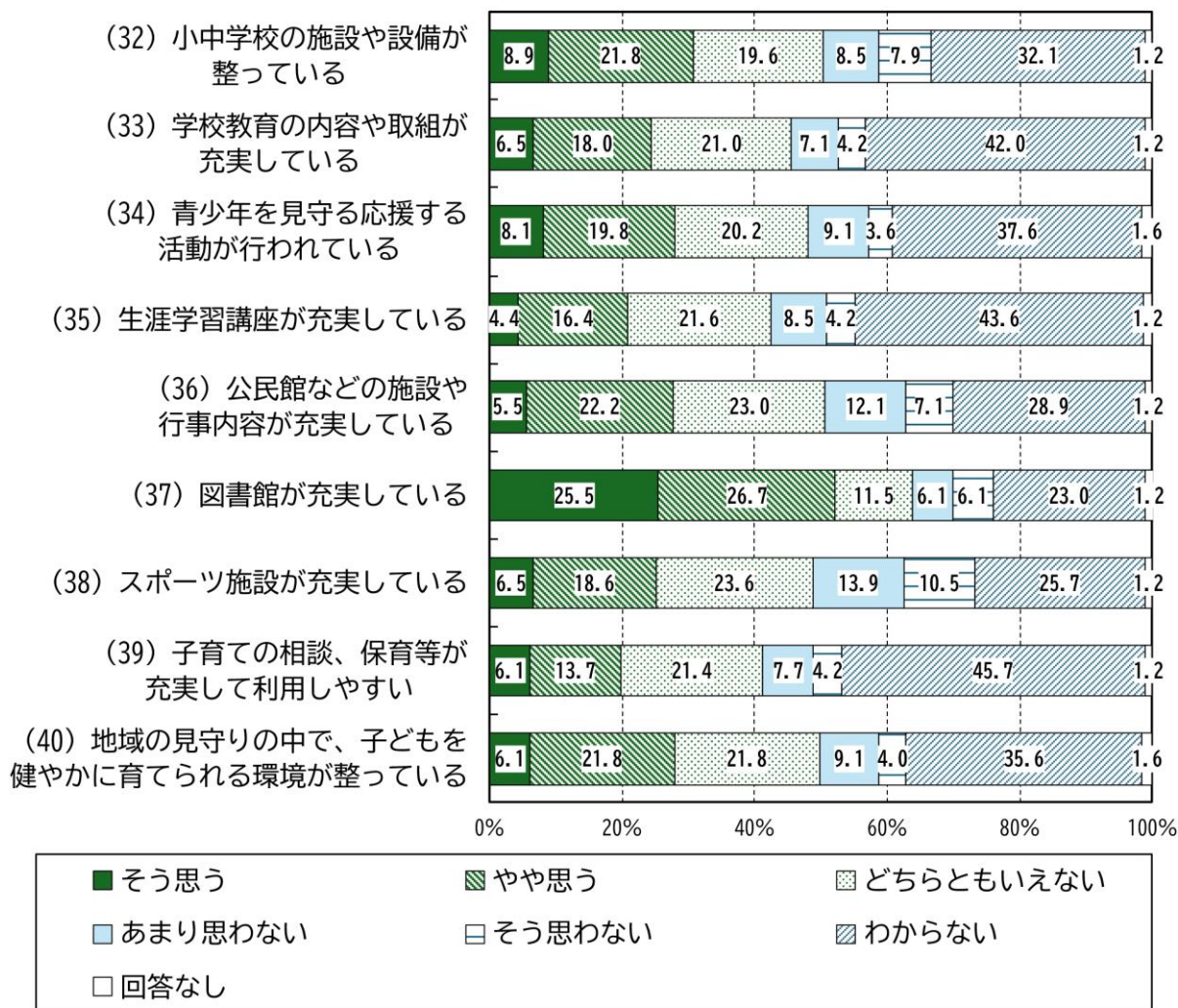


「(27) 安全でおいしい水道水が供給されている」については、「やや思う」が37.0%で最も高く、次いで「そう思う」が32.9%となっています。両者をあわせた『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』は69.9%でほぼ7割を占めています。また、「(22) 亀山駅とその周辺が整備されている」については『満足』が50.9%、「(26) 公園・広場・緑地が充実している」については『満足』が45.4%で、いずれも相対的に高い割合を示しています。

一方、「(23) 魅力的な市街地が形成されている」については、『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』が55.0%と5割を超えており、『満足』は12.9%と1割台にとどまっています。

図表3-1-5 現状の評価：学び・子育て

n=495



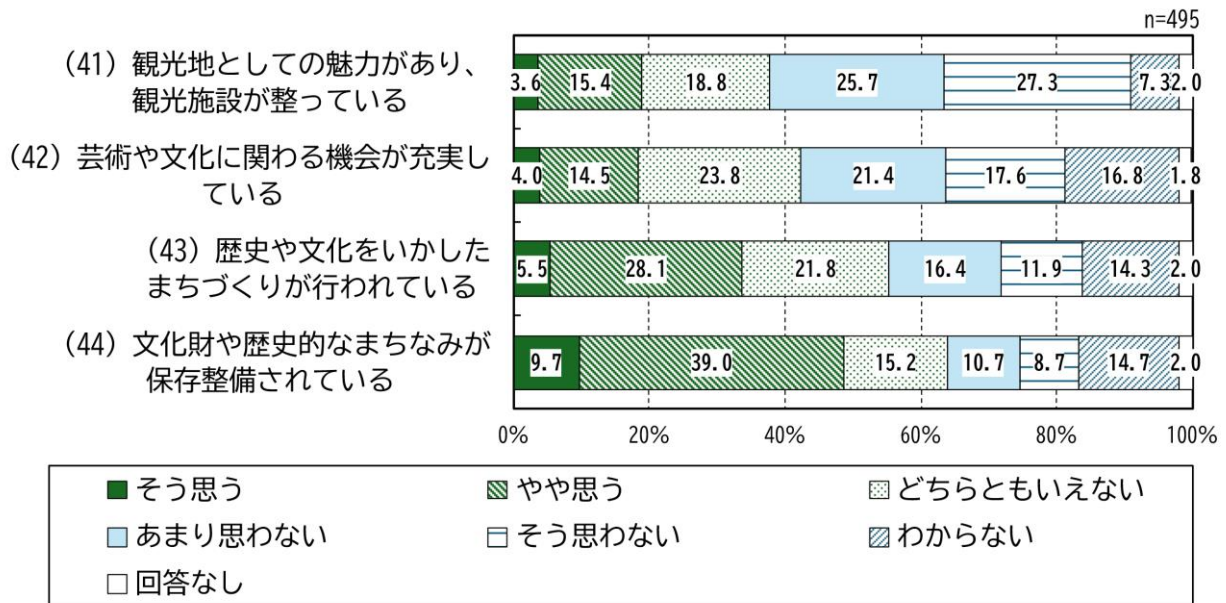
「(37)図書館が充実している」については、「やや思う」が26.7%、「そう思う」が25.5%で、両者をあわせた『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』は52.2%で5割を超えています。また、「(32)小中学校の施設や設備が整っている」については『満足』が30.7%でわずかに3割を超えています。

一方、「(38)スポーツ施設が充実している」については、『満足』が25.1%、『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』が24.4%で、両者が拮抗しています。

「(39)子育ての相談、保育等が充実して利用しやすい」、「(35)生涯学習講座が充実している」、「(33)学校教育の内容や取組が充実している」については、「わからない」がいずれも40%台と高い割合を占めています。学び・子育てに関する項目では、「わからない」が20%台から40%台の高い割合を示しており、総じて『満足していない』の割合は高くありません。

【文化振興】

図表3-1-6 現状の評価：文化振興



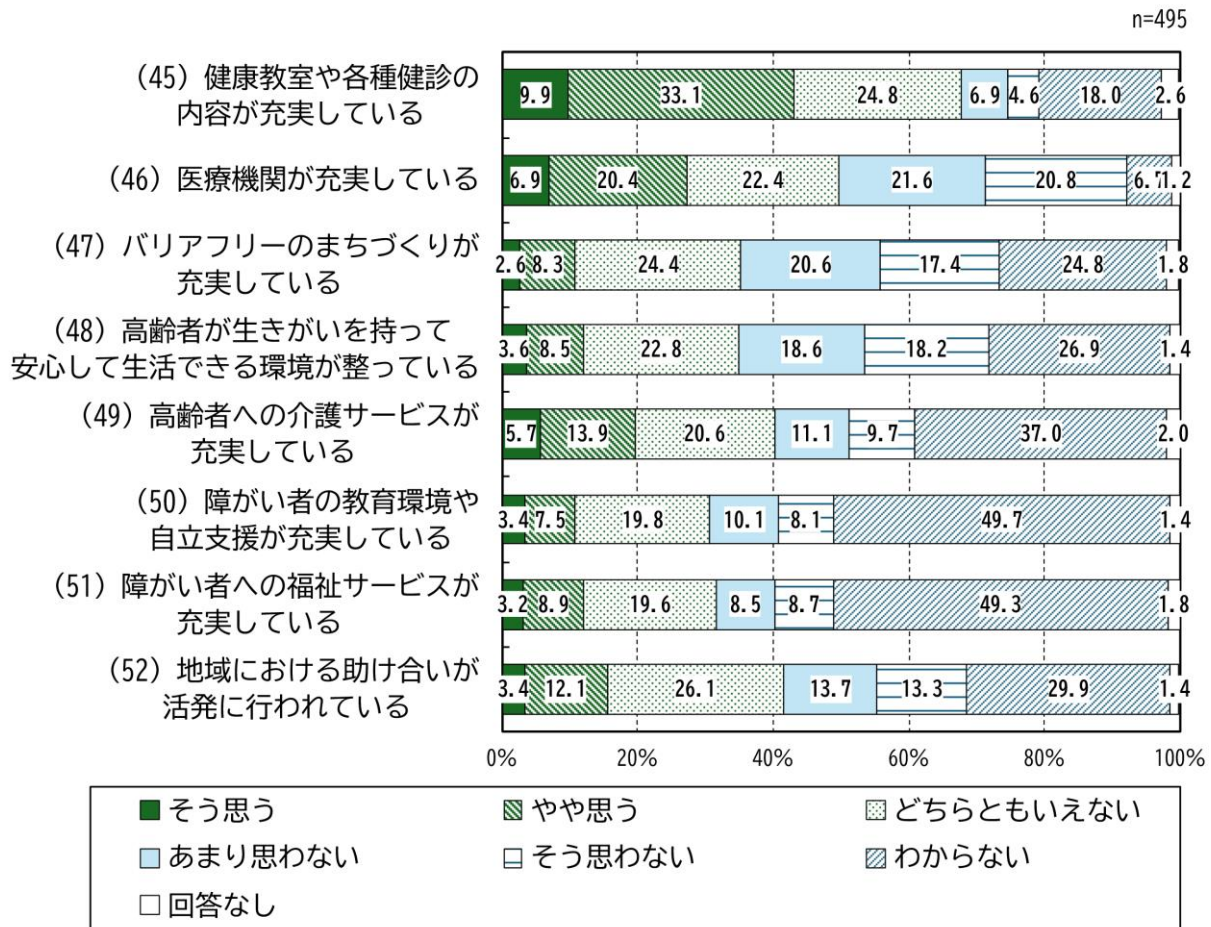
「(44) 文化財や歴史的なまちなみが保存整備されている」については、「やや思う」が39.0%と最も高くなっています。「そう思う」は9.7%で、両者をあわせた『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』は48.7%となり5割近くを占めています。また、「(43) 歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている」については『満足』が33.6%で3割を超えています。

一方、「(41) 観光地としての魅力があり、観光施設が整っている」については、「そう思わない」が27.3%で最も高く、次いで「あまり思わない」が25.7%となっています。両者をあわせた『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』は53.0%で5割を超えており、『満足』は19.0%と2割以下となっています。

「(42) 芸術や文化に関わる機会が充実している」については、「わからない」が23.8%で最も高くなっていますが、『満足』は18.5%、『満足していない』は39.0%で、『満足していない』の方が20.5ポイント高くなっています。

【健康・医療・福祉】

図表3-1-7 現状の評価：健康・医療・福祉



「(45) 健康教室や各種検診の内容が充実している」については、「やや思う」が33.1%と最も高くなっています。「そう思う」は9.9%で、両者をあわせた『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』は43.0%となり4割以上を占めています。

一方、「(46) 医療機関が充実している」については、「あまり思わない」21.6%、「そう思わない」が20.8%で、両者をあわせた『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』は42.4%で4割以上を占めています。『満足』は27.3%となっており、『満足していない』の方が15.1ポイント高くなっています。

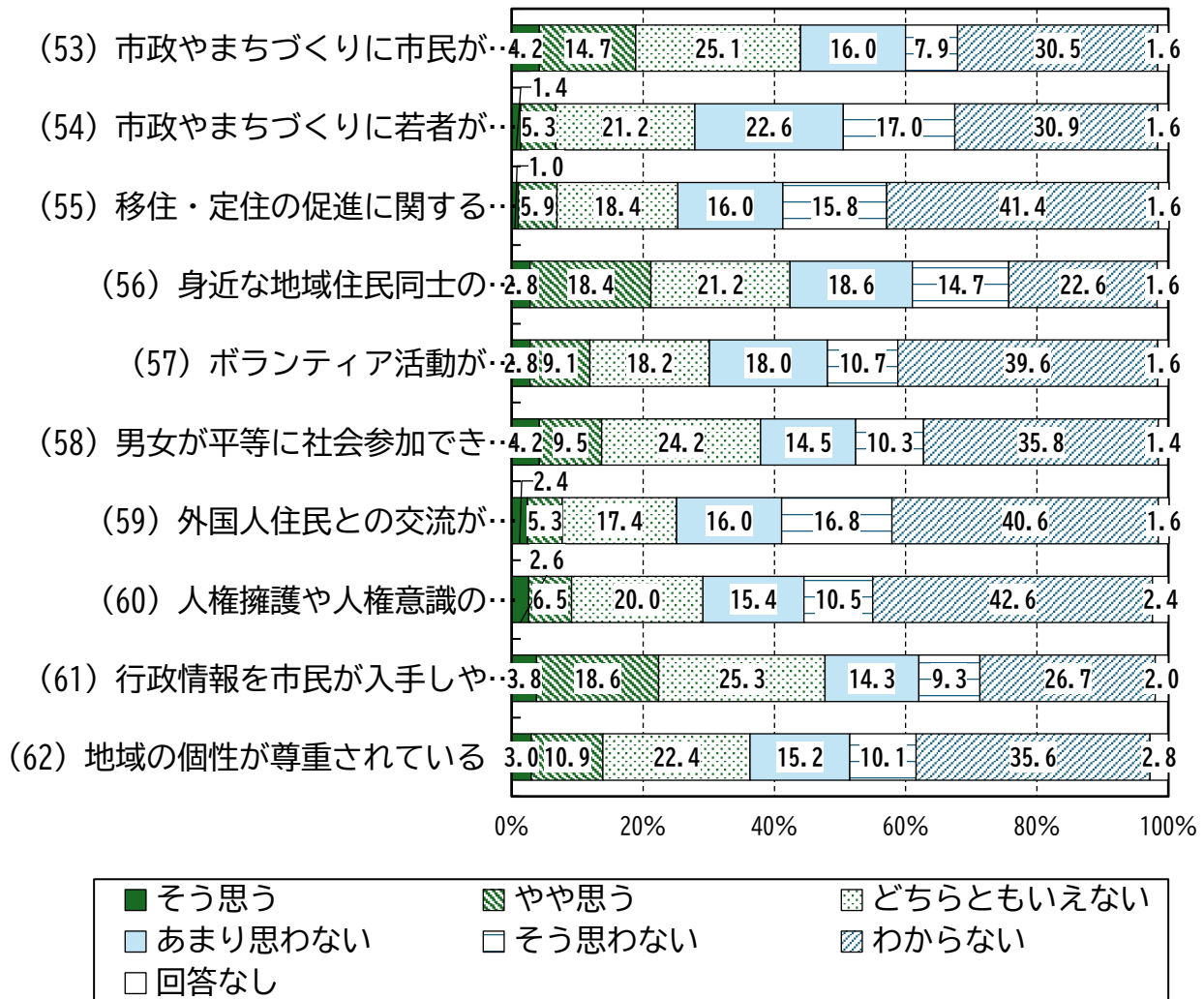
「(47) バリアフリーのまちづくりが充実している」については、『満足』が10.9%、『満足していない』が38.0%で、『満足していない』の方が27.1ポイント高くなっています。同様に「(48) 高齢者が生きがいを持って安心して生活できる環境が整っている」についてみても、『満足』は12.1%、『満足していない』は36.8%で、『満足していない』の方が24.7ポイント高くなっています。

なお、「(50) 障がい者の教育環境や自立支援が充実している」、「(51) 障がい者への福祉サービスが充実している」については、「わからない」がそれぞれ49.7%、49.3%で、ともに半数近くを占めています。

【市民協働】

図表3-1-8 現状の評価：市民協働

n=495



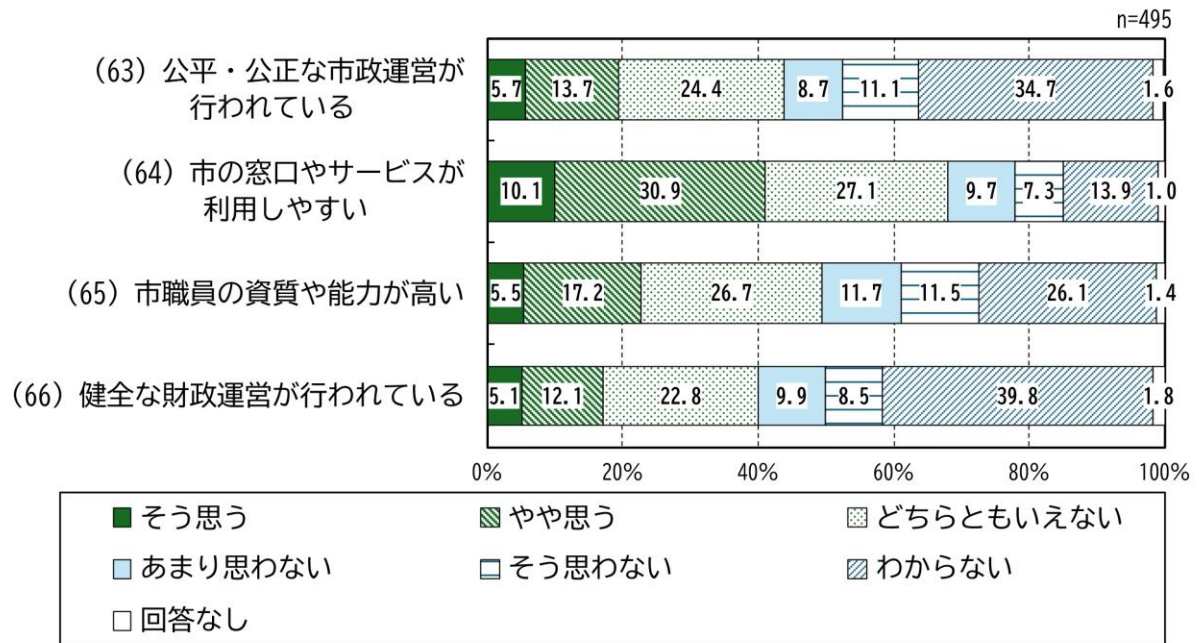
市民協働に関する10項目については、すべての項目で「わからない」が20%台から40%台を示し最も高くなっています。また、すべての項目で『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』が『満足（「そう思う」＋「やや思う」）』を上回っています。

「(54)市政やまちづくりに若者が参加しやすいしくみが整っている」については、「あまり思わない」22.6%、「そう思わない」が17.0%で、両者をあわせた『満足していない（「あまり思わない」＋「そう思わない」）』は39.6%です。『満足』はわずかに6.7%ととどまっております『満足していない』の方が32.9ポイント高くなっています。

「(55)移住・定住の促進に関する取組が充実している」についても、『満足』は6.9%にとどまり、『満足していない』は31.8%となっています。『満足していない』の方が24.9ポイント高くなっています。同様に「(59)外国人住民との交流が活発に行われている」についても、『満足』は7.7%でしかなく、『満足していない』は32.8%で、『満足していない』の方が25.1ポイント高くなっています。

【行政運営】

図表3－1－9 現状の評価：行政運営



「(64) 市の窓口やサービスが利用しやすい」については、「やや思う」が30.9%で最も高く、「そう思う」の10.1%とあわせた『満足している（「そう思う」＋「やや思う」）』は41.0%と約4割を占めています。

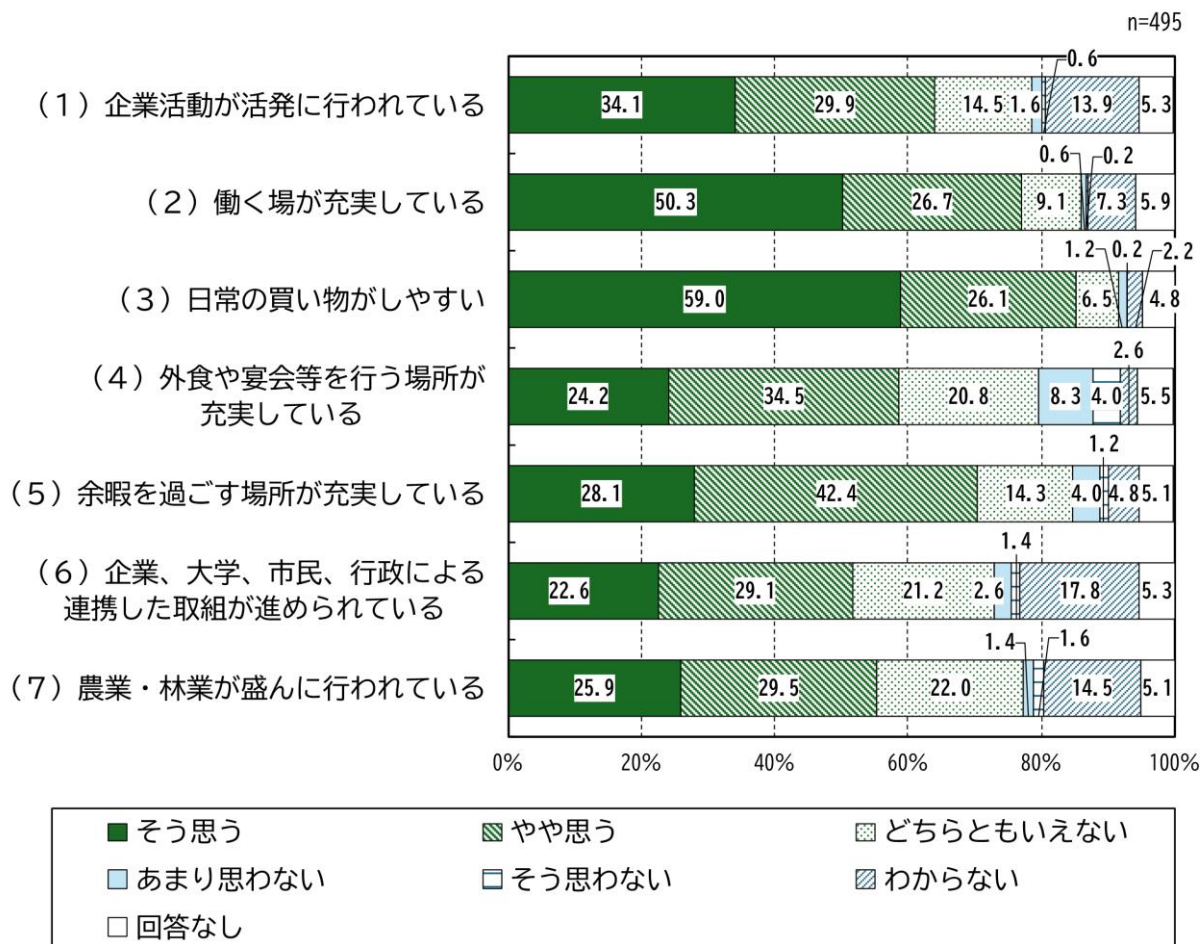
行政運営に関する4項目については、総じて「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、「(64) 市の窓口やサービスが利用しやすい」を除く3項目では、「わからない」の割合も高くなっています。

(2) 今後の取組の重要度

ここでは、問3において「重要」と「やや重要」をあわせた重要度を『重要』と表記して傾向をみていきます。

【産業振興】

図表3-2-1 今後の取組の重要度：産業振興

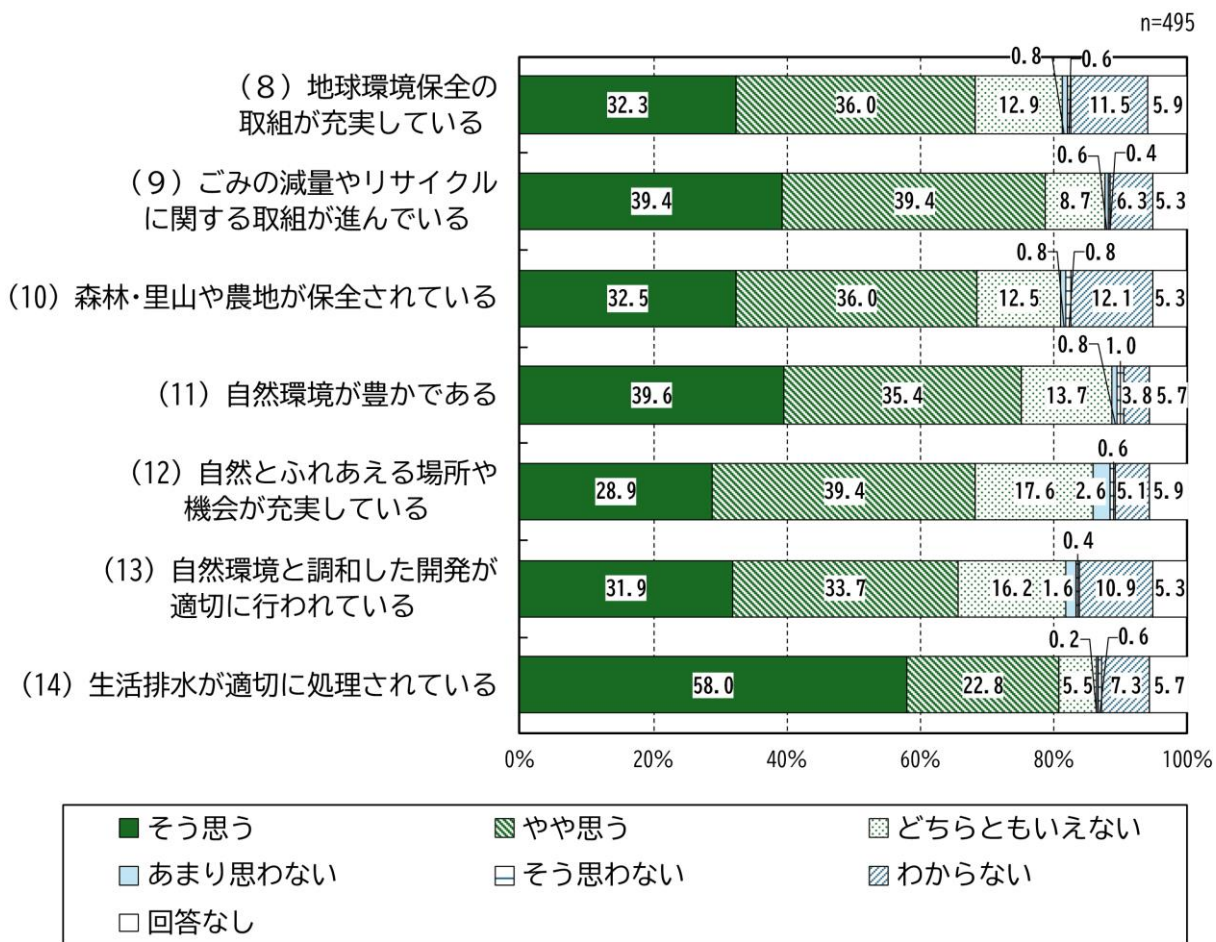


産業振興に関する7項目の中で『重要（「重要」＋「やや重要」）』の割合をみていくと、「(3) 日常の買い物がしやすい」が85.1%で最も高くなっています。次いで、「(2) 働く場が充実している」の77.0%、「(5) 余暇を過ごす場所が充実している」の70.5%が高くなっています。

一方、「(6) 企業、大学、市民、行政による連携した取組が進められている」は51.7%、「(7) 農業・林業が盛んに行われている」は55.4%、「(4) 外食や宴会等を行う場所が充実している」は58.7%といずれも5割台で、相対的に低くなっています。

【環境創造】

図表3-2-2 今後の取組の重要度：環境創造

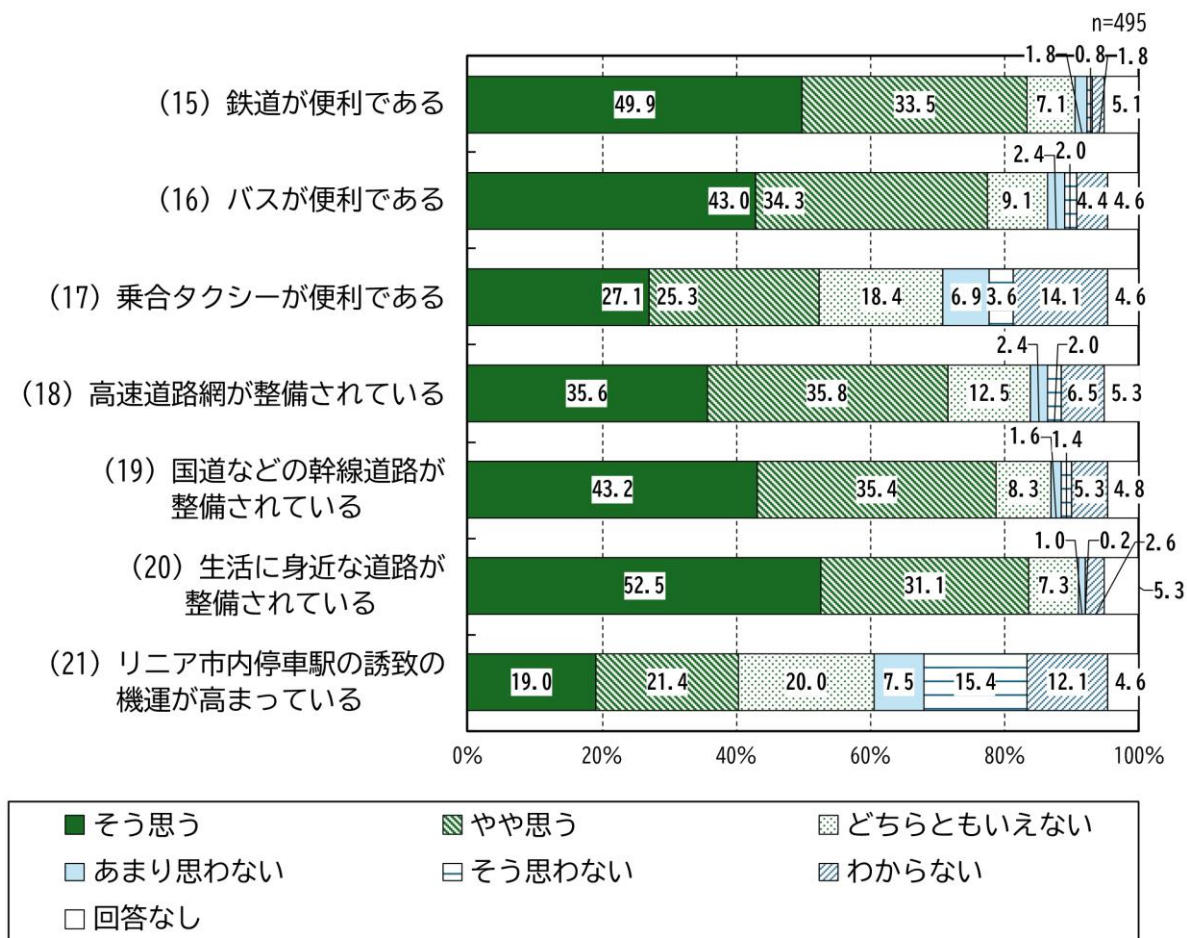


環境創造に関する7項目について『重要』の割合をみていくと、「(14)生活排水が適正に処理されている」が80.8%で最も高くなっています。次いで、「(9) ごみの減量やリサイクルに関する取組が進んでいる」の78.8%、「(11)自然環境が豊かである」の75.0%が高くなっています。

このほかの4項目をみても、「(10)森林・里山や農地が保全されている」は68.5%、「(8)地球環境保全の取組が充実している」と「(12)自然とふれあえる場所や機会が充実している」はともに68.3%、「(13)自然環境と調和した開発が適切に行われている」は65.6%で、いずれも6割を上回っています。

【交通網】

図表3-2-3 今後の取組の重要度：交通網



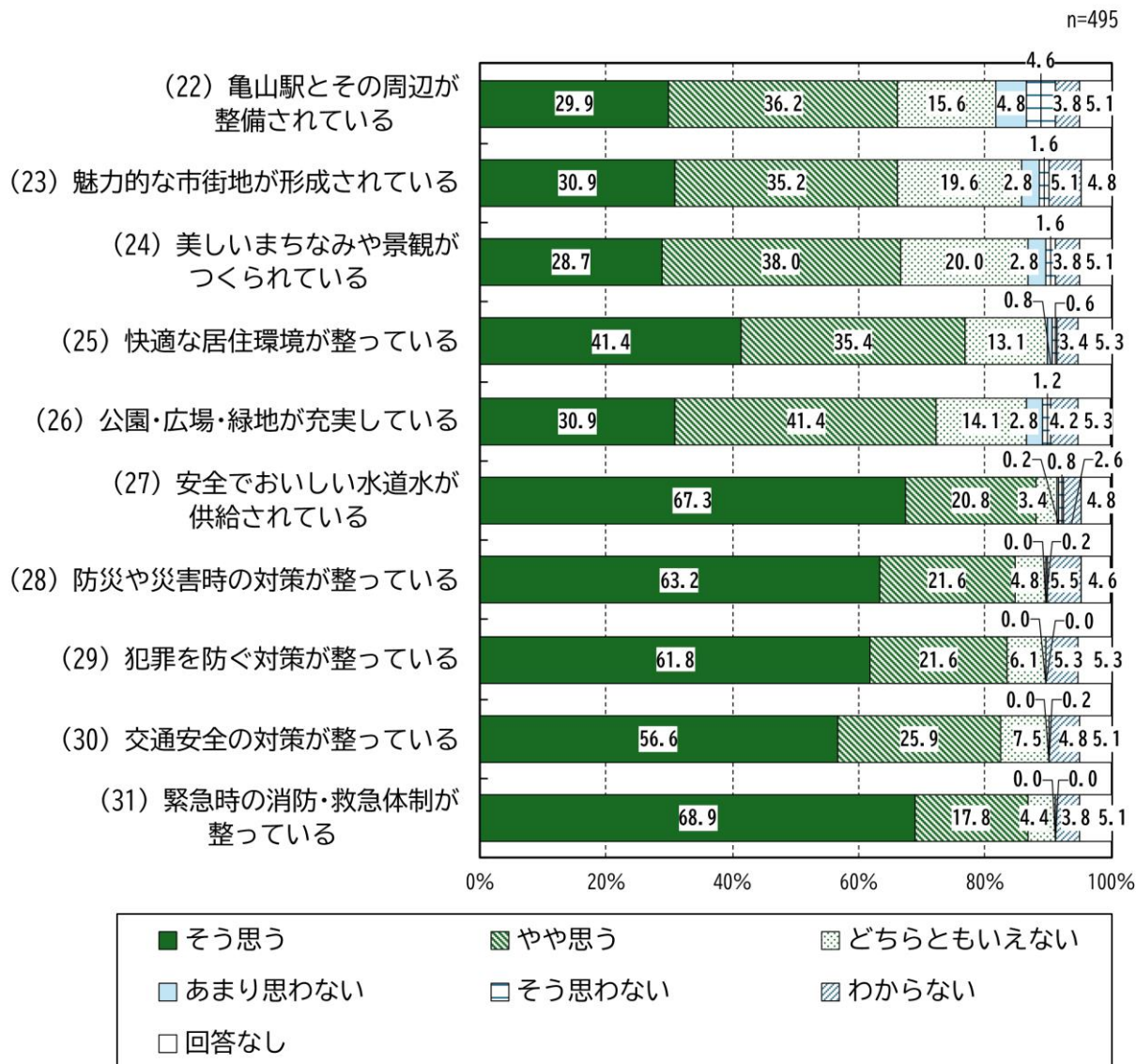
交通網に関する7項目について『重要』の割合をみていくと、「(20)生活に身近な道路が整備されている」が83.6%最も高くなっています。次いで、「(15)鉄道が便利である」の83.4%が高くなっています。

さらに、「(19)国道などの幹線道路が整備されている」は78.6%、「(16)バスが便利である」は77.3%、「(18)高速道路網が整備されている」は71.4%で、これら3項目はいずれも7割を超えています。

一方、「(21)リニア市内停車駅誘致の気運が高まっている」は40.4%と最も低く、「(17)乗合タクシーが便利である」も52.4%で相対的に低くなっています。

【都市形成】

図表3-2-4 今後の取組の重要度：都市形成



都市形成に関する10項目について『重要』の割合をみていくと、「(27) 安全でおいしい水道水が供給されている」が88.1%で最も高くなっています。これに、「(31)緊急時の消防・救急体制が整っている」の86.7%、「(28)防災や災害時の対策が整っている」の84.8%、「(29)犯罪を防ぐ対策が整っている」の83.4%、「(30)交通安全の対策が整っている」の82.5%が続いており、以上の5項目はいずれも8割以上の高い割合を示しています。

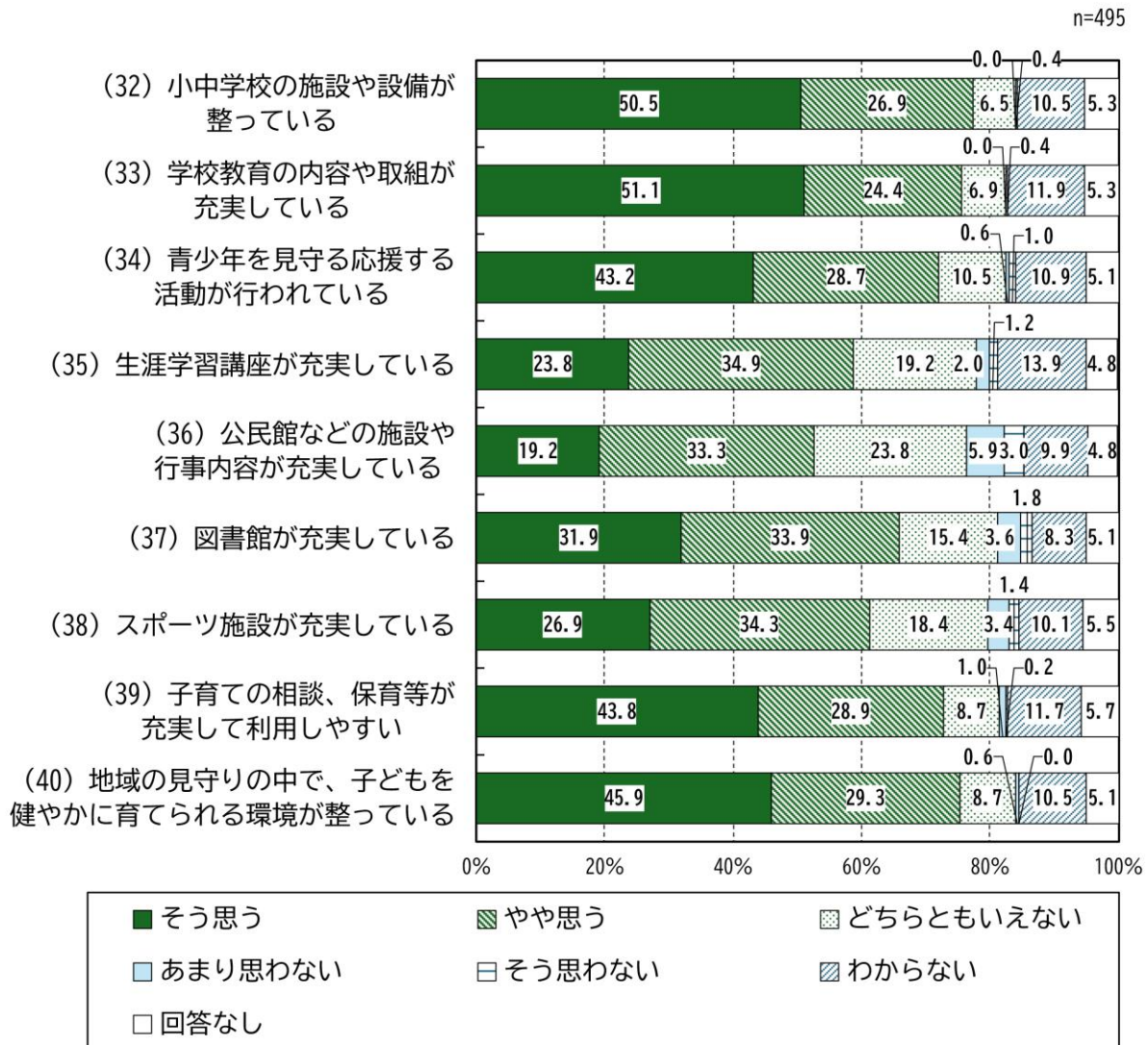
次いで、「(25)快適な居住環境が整っている」は76.8%、「(26) 公園・広場・緑地が充実している」は72.3%で、これらも7割を上回っています。

さらに、このほかの3項目をみても、「(24)美しいまちなみや景観がつけられている」が66.7%、「(22)亀山駅とその周辺が整備されている」と「(23)魅力的な市街地が形成されている」はともに66.1%で、いずれも6割を上回っています。

都市形成に関わる項目は、総じて『重要』の割合は高くなっています。

【学び・子育て】

図表3-2-5 今後の取組の重要度：学び子育て



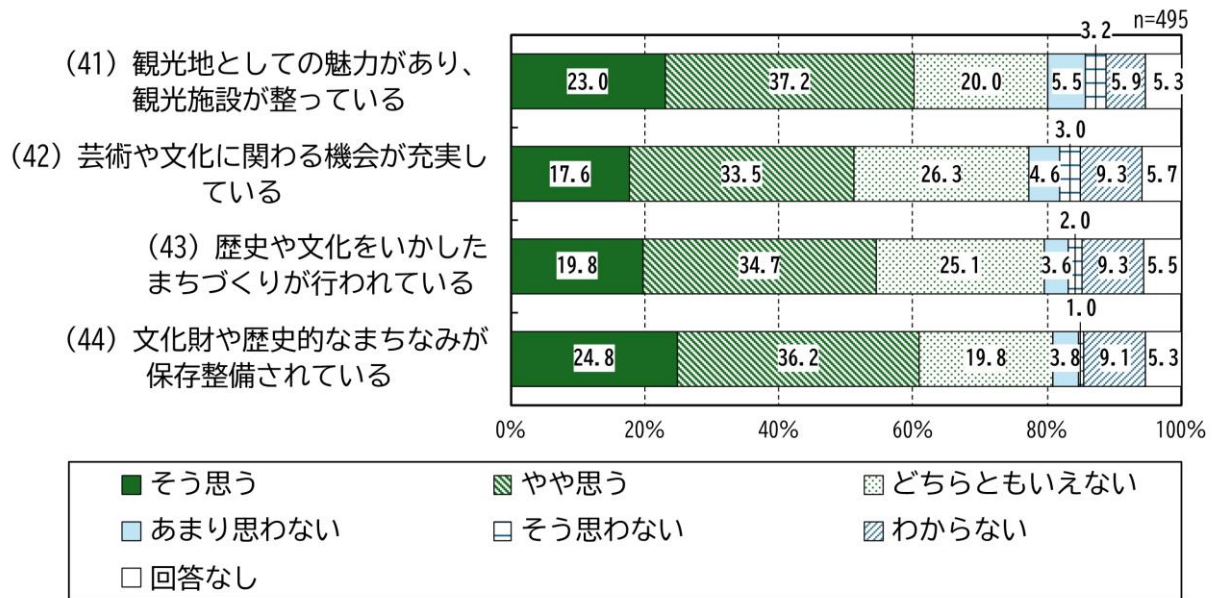
学び・子育てに関する9項目について『重要』の割合をみていくと、「(32)小中学校の施設や設備が整っている」が77.4%で最も高くなっています。これに、「(33)学校教育の内容や取組が充実している」の75.5%、「(40)地域の見守りの中で、子どもを健やかに育てられる環境が整っている」の75.2%、「(39)子育ての相談、保育等が充実して利用しやすい」の72.7%、「(34)青少年を見守る応援する活動が行われている」の71.9%が続いています。以上の5項目はいずれも7割を上回っています。

次いで、「(37)図書館が充実している」は65.8%、「(38)スポーツ施設が充実している」は61.2%で、これらは6割を上回っています。

残りの「(35)生涯学習講座が充実している」は58.7%、「(36)公民館などの施設や行事内容が充実している」は52.5%で、この2項目はやや低くなっています。

【文化振興】

図表3-2-6 今後の取組の重要度：文化振興

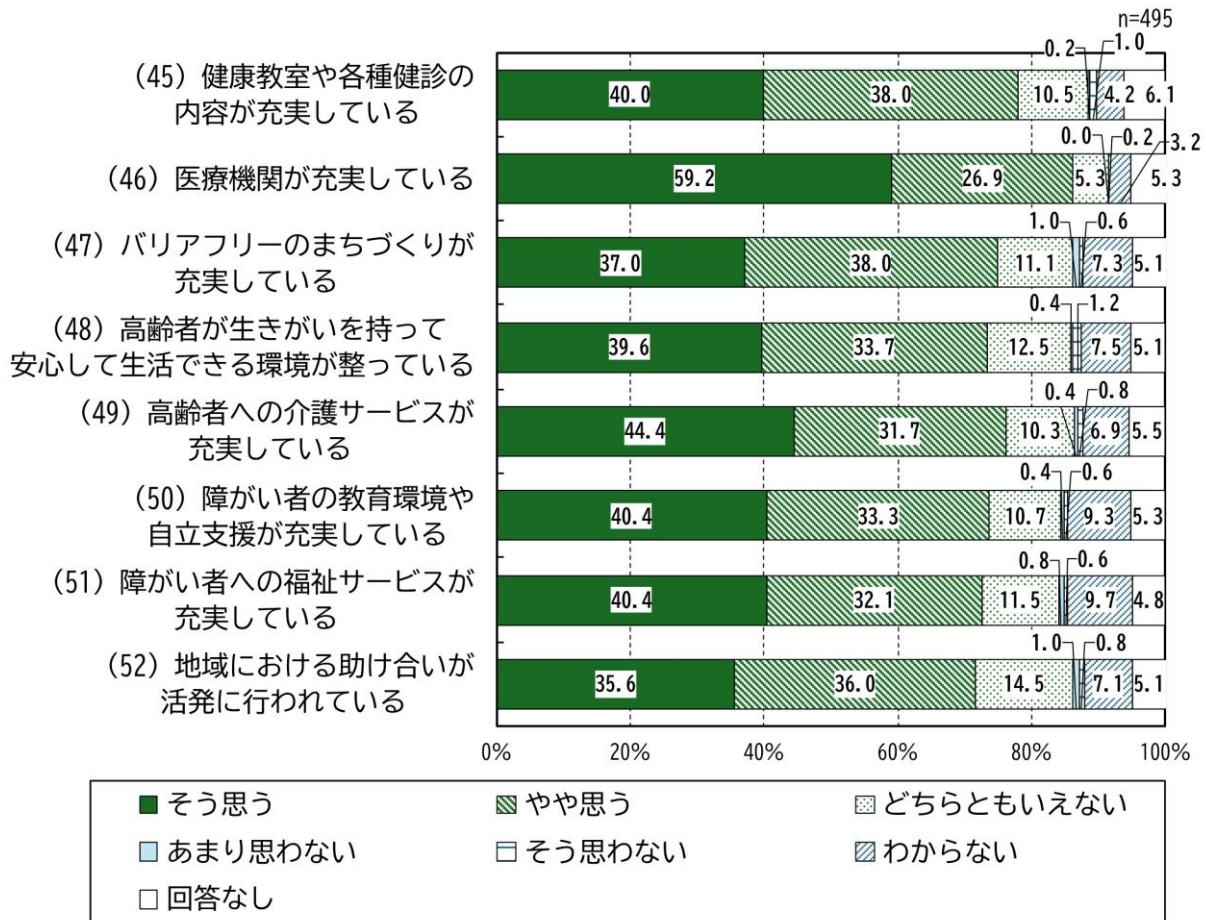


文化振興に関する4項目について『重要』の割合をみていくと、「(44) 文化財や歴史的なまちなみが保存整備されている」が61.0%で最も高くなっています。次いで、「(41) 観光地としての魅力があり、観光施設が整っている」が60.2%で、この2項目が6割を上回っています。

残りの「(42) 芸術や文化に関わる機会が充実している」は51.1%、「(43) 歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている」は54.5%で、この2項目はやや低くなっています。

【健康・医療・福祉】

図表3-2-7 今後の取組の重要度：健康・医療・福祉



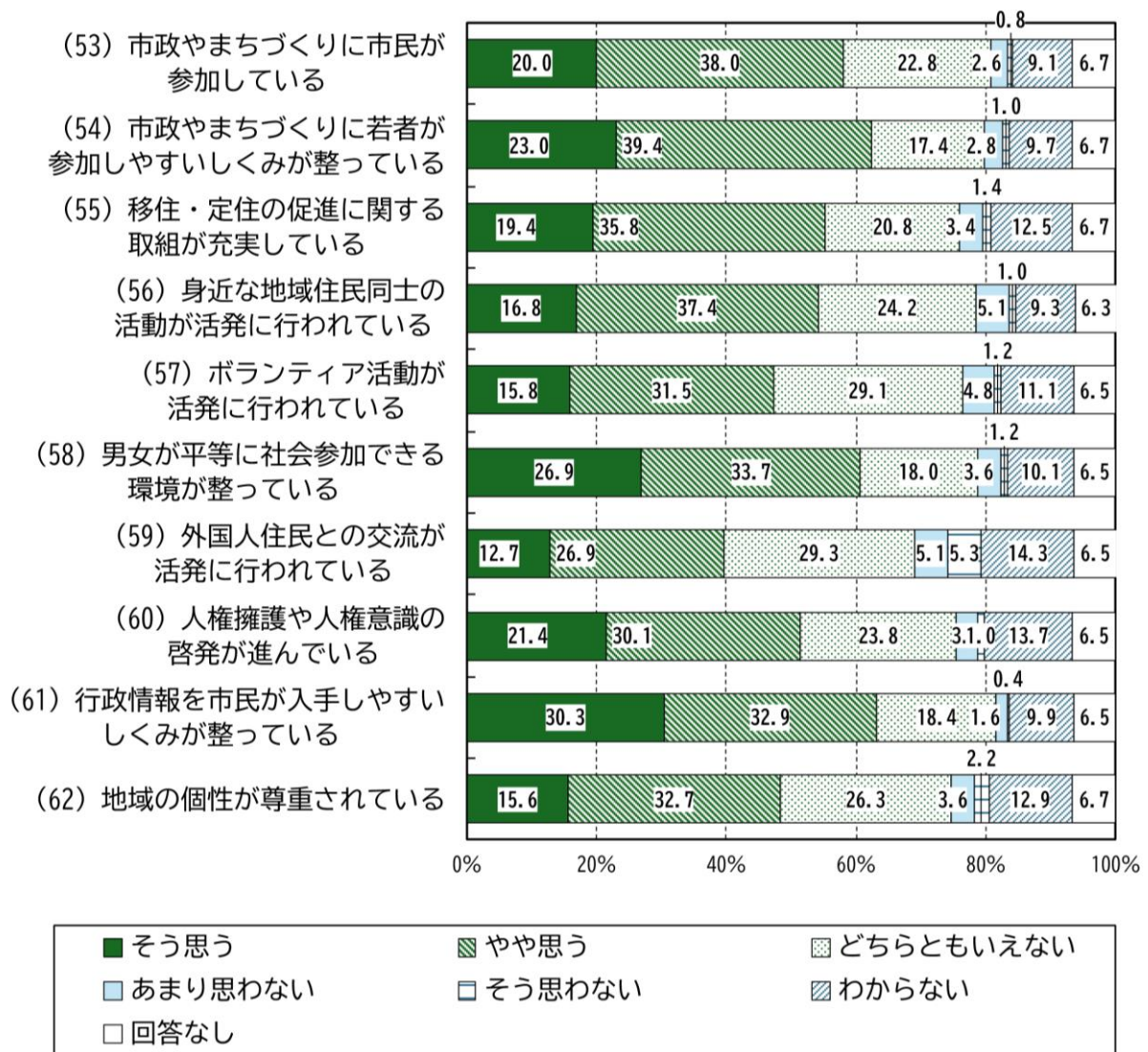
健康・医療・福祉に関する8項目について『重要』の割合をみていくと、「(46)医療機関が充実している」が86.1%で最も高くなっています。

このほかの7項目については、「(45)健康教室や各種検診の内容が充実している」が78.0%、「(49)高齢者への介護サービスが充実している」が76.1%、「(47)バリアフリーのまちづくりが充実している」が75.0%、「(50)障がい者の教育環境や自立支援が充実している」が73.7%、「(48)高齢者が生きがいを持って安心して生活できる環境が整っている」が73.3%、「(51)障がい者への福祉サービスが充実している」が72.5%、「(52)地域における助け合いが活発に行われている」が71.6%で、いずれも7割を上回っています。

健康・医療・福祉に関わる項目は、総じて『重要』の割合は高くなっています。

【市民協働】

図表3-2-8 今後の取組の重要度：市民協働



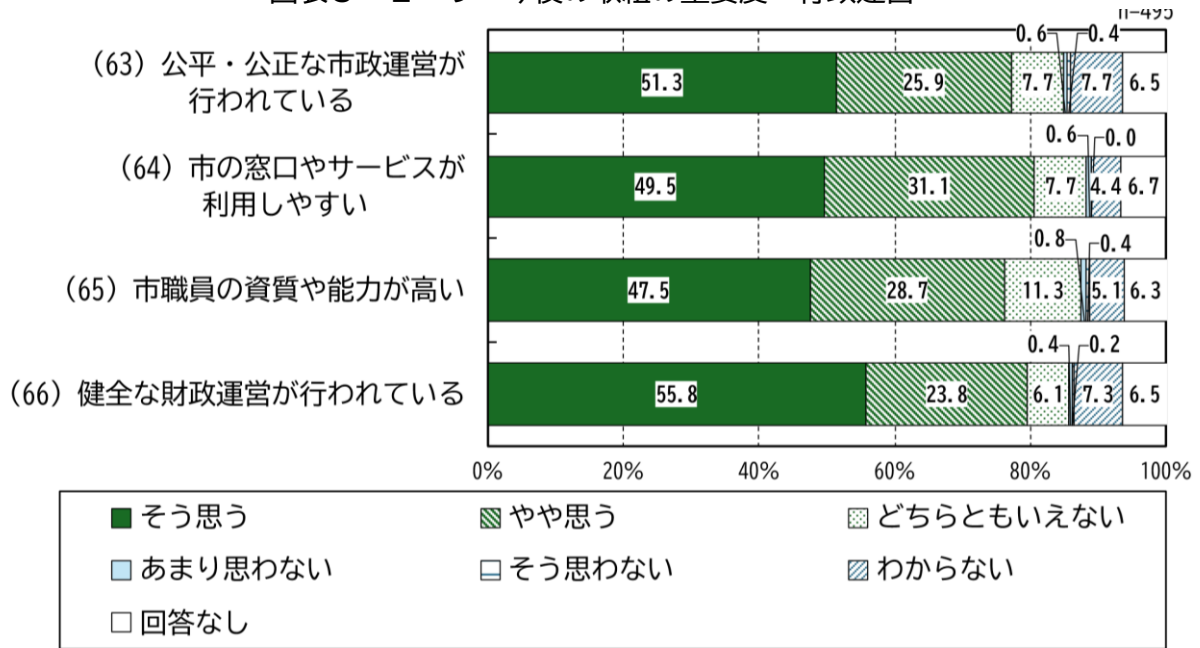
市民協働に関する10項目について『重要』の割合をみていくと、「(54)市政やまちづくりに若者が参加しやすいしくみが整っている」が62.4%で、市民協働の10項目の中では最も高くなっています。次いで、「(61)行政情報を市民が入手しやすいしくみが整っている」が63.2%、「(58)男女が平等に社会参加できる環境が整っている」が60.6%となっています。

一方、「(59)外国人住民との交流が活発に行われている」は39.6%で4割以下にとどまっています。また、「(57)ボランティア活動が活発に行われている」が47.3%、「(62)地域の個性が尊重されている」が48.3%で、これらも5割以下と低い水準になっています。

このほかの4項目はいずれも50%台であり、市民協働に関わる項目は、総じて『重要』の割合が低くなっています。

【行政運営】

図表3-2-9 今後の取組の重要度：行政運営



行政運営に関する10項目について『重要』の割合をみていくと、「(64) 市の窓口やサービスが利用しやすい」が80.6%で最も高くなっています。次いで、「(66)健全な財政運営が行われている」が79.6%、「(63)公平・公正な市政運営が行われている」が77.2%と続いています。

最も低い「(65)市職員の資質や能力が高い」でも76.2%となっており、行政運営に関わる項目はいずれも『重要』の割合が高くなっています。

(3) 満足度・重要度

66の質問項目に対して、現状の評価（満足度）と今後の取組の重要度（重要度）それぞれに評価得点により数値化して評価します。

評価得点は、各指標の選択肢に対して、下記に示す点数をつけ得点合計を回答数で割って、平均点（評価得点）を算出します。算出にあたっては、下記の式を用いています。なお、回答数は各項目における全回答数より無回答数、「わからない」と回答された数を差し引いた値です。

【現状の評価（満足度）と今後の取組の重要度（重要度）の点数】

選択肢	現状の評価（満足度）	今後の取組の重要度（重要度）	点数
1	そう思う	重要	2
2	ややそう思う	やや重要	1
3	どちらともいえない	どちらともいえない	0
4	あまり思わない	あまり重要ではない	-1
5	そう思わない	重要でない	-2

【評価得点算出式】

$$\text{満足度} = \frac{\begin{array}{l} \text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「ややそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \text{「あまり思わない」} \times -1 \text{点} + \text{「そう思わない」} \times -2 \text{点} \end{array}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \text{「あまり重要でない」} \times -1 \text{点} + \text{「重要でない」} \times -2 \text{点} \end{array}}{\text{全回答数} - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

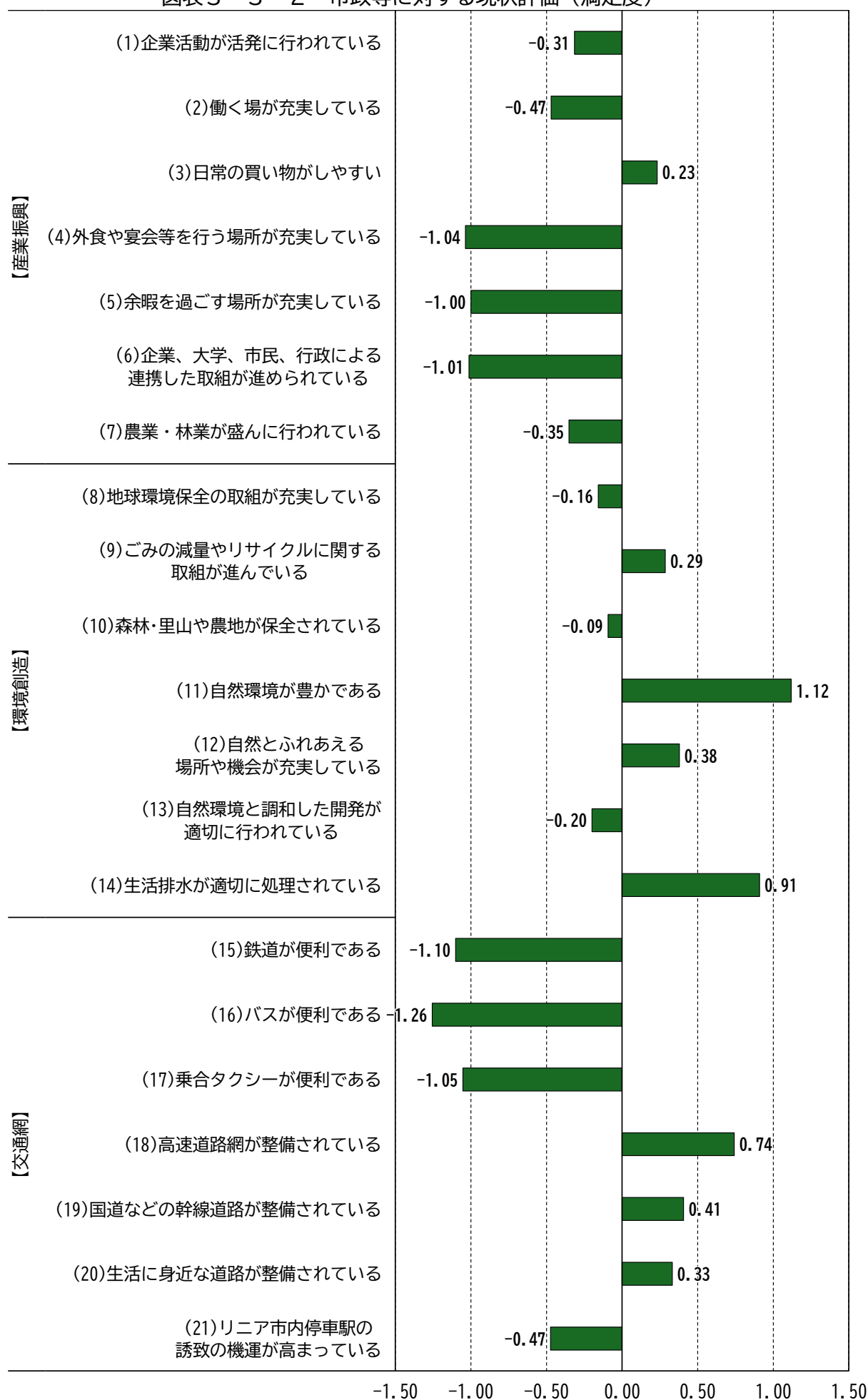
図表3-3-1 現状の評価（満足度）と今後の取組の重要度（重要度）

	No	質問項目	満足度	重要度
【産業振興】	1	企業活動が活発に行われている	-0.31	1.18
	2	働く場が充実している	-0.47	1.45
	3	日常の買い物がしやすい	0.23	1.53
	4	外食や宴会等を行う場所が充実している	-1.04	0.73
	5	余暇を過ごす場所が充実している	-1.00	1.02
	6	企業、大学、市民、行政による連携した取組が進められている	-1.01	0.90
	7	農業・林業が盛んに行われている	-0.35	0.95
【環境創造】	8	地球環境保全の取組が充実している	-0.16	1.19
	9	ごみの減量やリサイクルに関する取組が進んでいる	0.29	1.32
	10	森林・里山や農地が保全されている	-0.09	1.19
	11	自然環境が豊かである	1.12	1.23
	12	自然とふれあえる場所や機会が充実している	0.38	1.05
	13	自然環境と調和した開発が適切に行われている	-0.20	1.13
	14	生活排水が適切に処理されている	0.91	1.58
【交通網】	15	鉄道が便利である	-1.10	1.39
	16	バスが便利である	-1.26	1.25
	17	乗合タクシーが便利である	-1.05	0.80
	18	高速道路網が整備されている	0.74	1.14
	19	国道などの幹線道路が整備されている	0.41	1.31
	20	生活に身近な道路が整備されている	0.33	1.46
	21	リニア市内停車駅の誘致の機運が高まっている	-0.47	0.25
【都市形成】	22	亀山駅とその周辺が整備されている	0.29	0.90
	23	魅力的な市街地が形成されている	-0.72	1.01
	24	美しいまちなみや景観がつけられている	-0.23	0.98
	25	快適な居住環境が整っている	-0.10	1.27
	26	公園・広場・緑地が充実している	0.23	1.08
	27	安全でおいしい水道水が供給されている	1.00	1.66
	28	防災や災害時の対策が整っている	-0.06	1.64
	29	犯罪を防ぐ対策が整っている	-0.35	1.62
	30	交通安全の対策が整っている	-0.10	1.54
	31	緊急時の消防・救急体制が整っている	0.47	1.71
	32	小中学校の施設や設備が整っている	0.23	1.51
【学び・子育て】	33	学校教育の内容や取組が充実している	0.27	1.52
	34	青少年を見守る応援する活動が行われている	0.32	1.34
	35	生涯学習講座が充実している	0.15	0.96
	36	公民館などの施設や行事内容が充実している	0.10	0.70
	37	図書館が充実している	0.78	1.04
	38	スポーツ施設が充実している	-0.05	0.97
	39	子育ての相談、保育等が充実して利用しやすい	0.18	1.39
	40	地域の見守りの中で、子どもを健やかに育てられる環境が整っている	0.27	1.43
	41	観光地としての魅力があり、観光施設が整っている	-0.63	0.80
【文化振興】	42	芸術や文化に関わる機会が充実している	-0.42	0.68
	43	歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている	-0.01	0.78
	44	文化財や歴史的なまちなみが保存整備されている	0.36	0.93
	45	健康教室や各種健診の内容が充実している	0.46	1.29
【健康・医療・福祉】	46	医療機関が充実している	-0.32	1.58
	47	バリアフリーのまちづくりが充実している	-0.57	1.25
	48	高齢者が生きがいを持って安心して生活できる環境が整っている	-0.55	1.26
	49	高齢者への介護サービスが充実している	-0.09	1.35
	50	障がい者の教育環境や自立支援が充実している	-0.24	1.32
	51	障がい者への福祉サービスが充実している	-0.21	1.30
	52	地域における助け合いが活発に行われている	-0.31	1.19

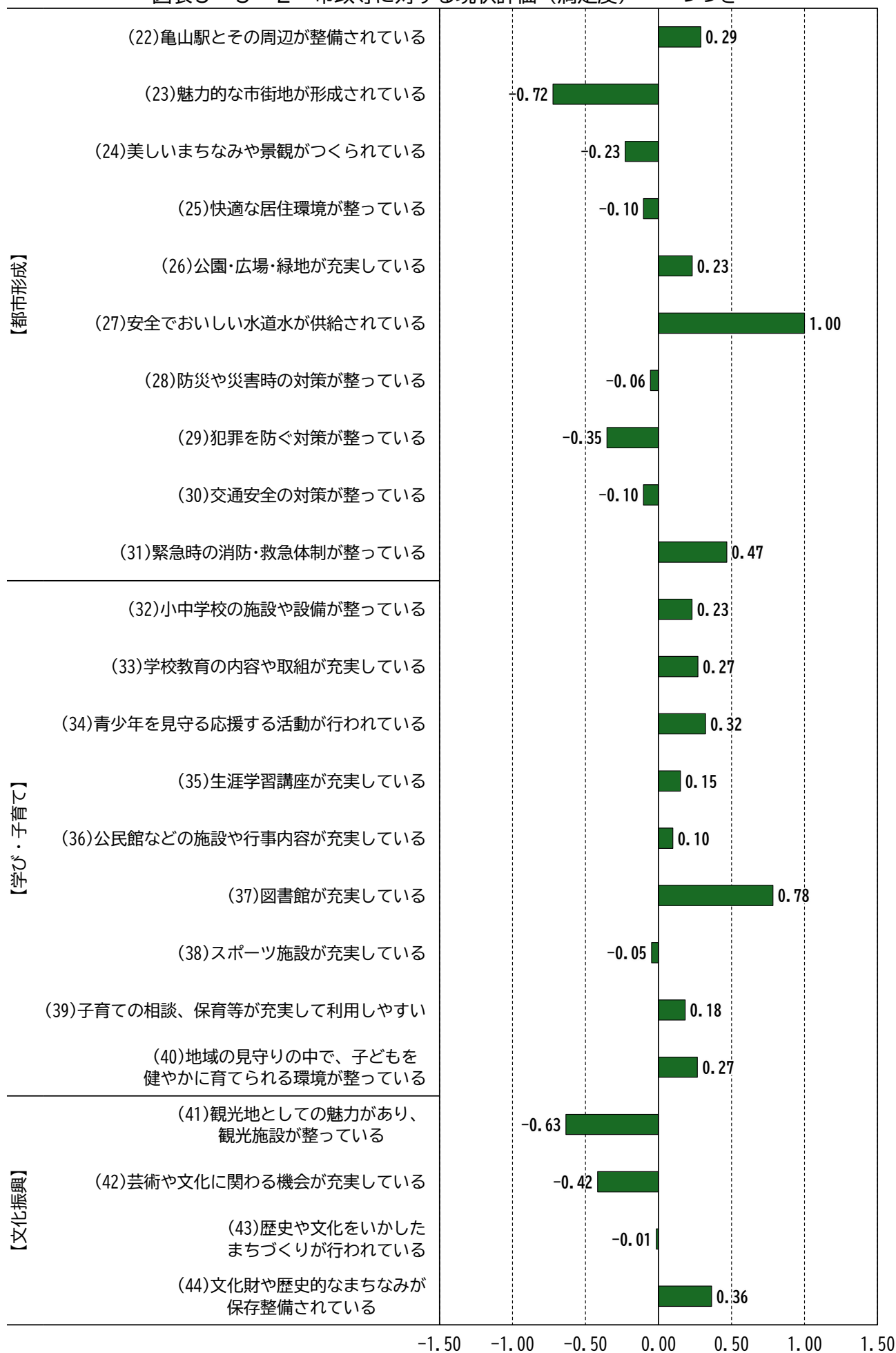
図表３－３－１ 現状の評価（満足度）と今後の取組の重要度（重要度） ーつづきー

	No	質問項目	満足度	重要度
【市民協働】	53	市政やまちづくりに市民が参加している	-0.13	0.88
	54	市政やまちづくりに若者が参加しやすいしくみが整っている	-0.72	0.96
	55	移住・定住の促進に関する取組が充実している	-0.70	0.85
	56	身近な地域住民同士の活動が活発に行われている	-0.32	0.76
	57	ボランティア活動が活発に行われている	-0.42	0.68
	58	男女が平等に社会参加できる環境が整っている	-0.27	0.98
	59	外国人住民との交流が活発に行われている	-0.68	0.46
	60	人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	-0.45	0.85
	61	行政情報を市民が入手しやすいしくみが整っている	-0.09	1.09
	62	地域の個性が尊重されている	-0.30	0.69
【行政運営】	63	公平・公正な市政運営が行われている	-0.09	1.48
	64	市の窓口やサービスが利用しやすい	0.32	1.46
	65	市職員の資質や能力が高い	-0.09	1.38
	66	健全な財政運営が行われている	-0.08	1.56
平均評価得点			-0.12	1.15

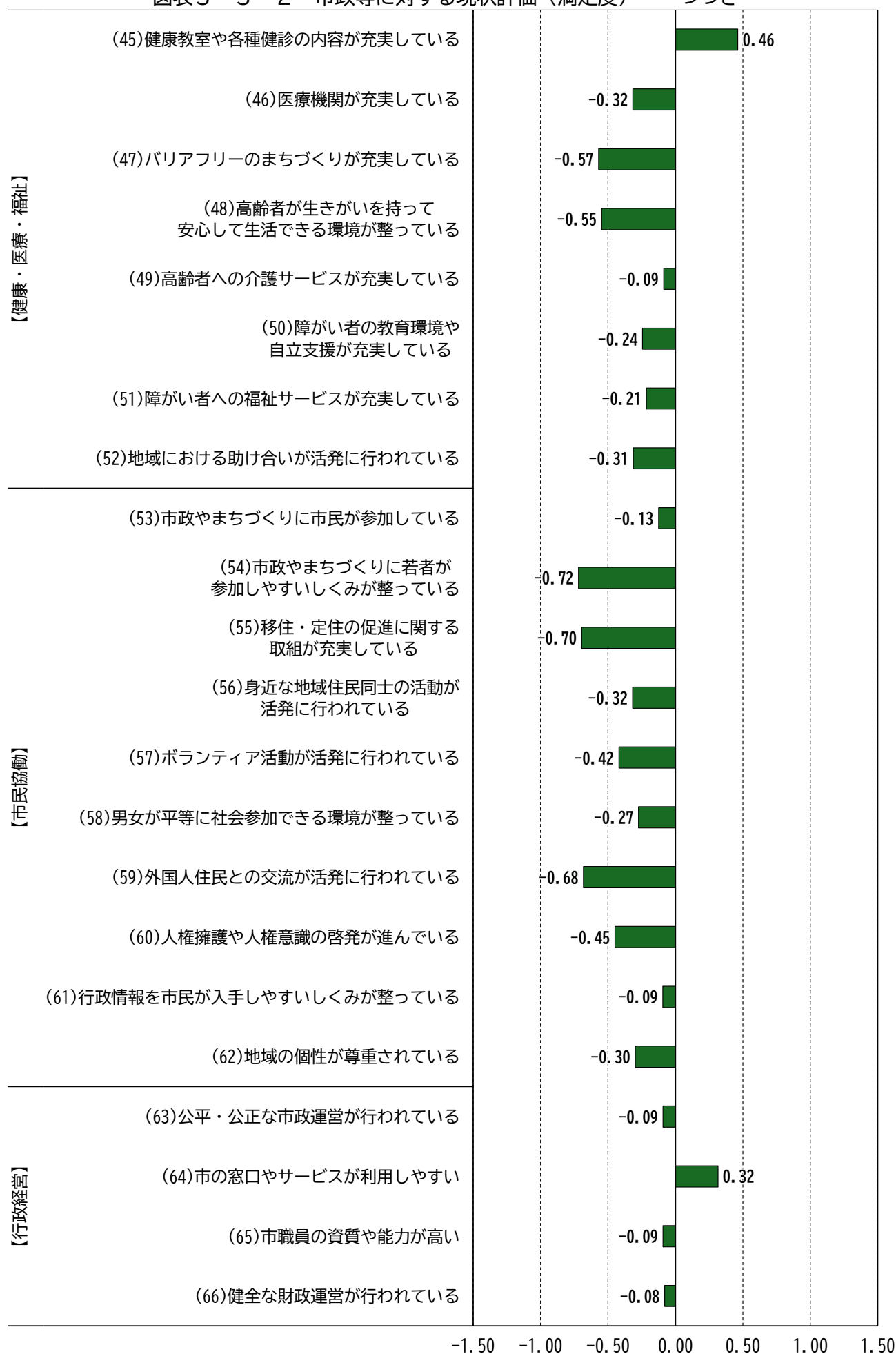
図表３－３－２ 市政等に対する現状評価（満足度）



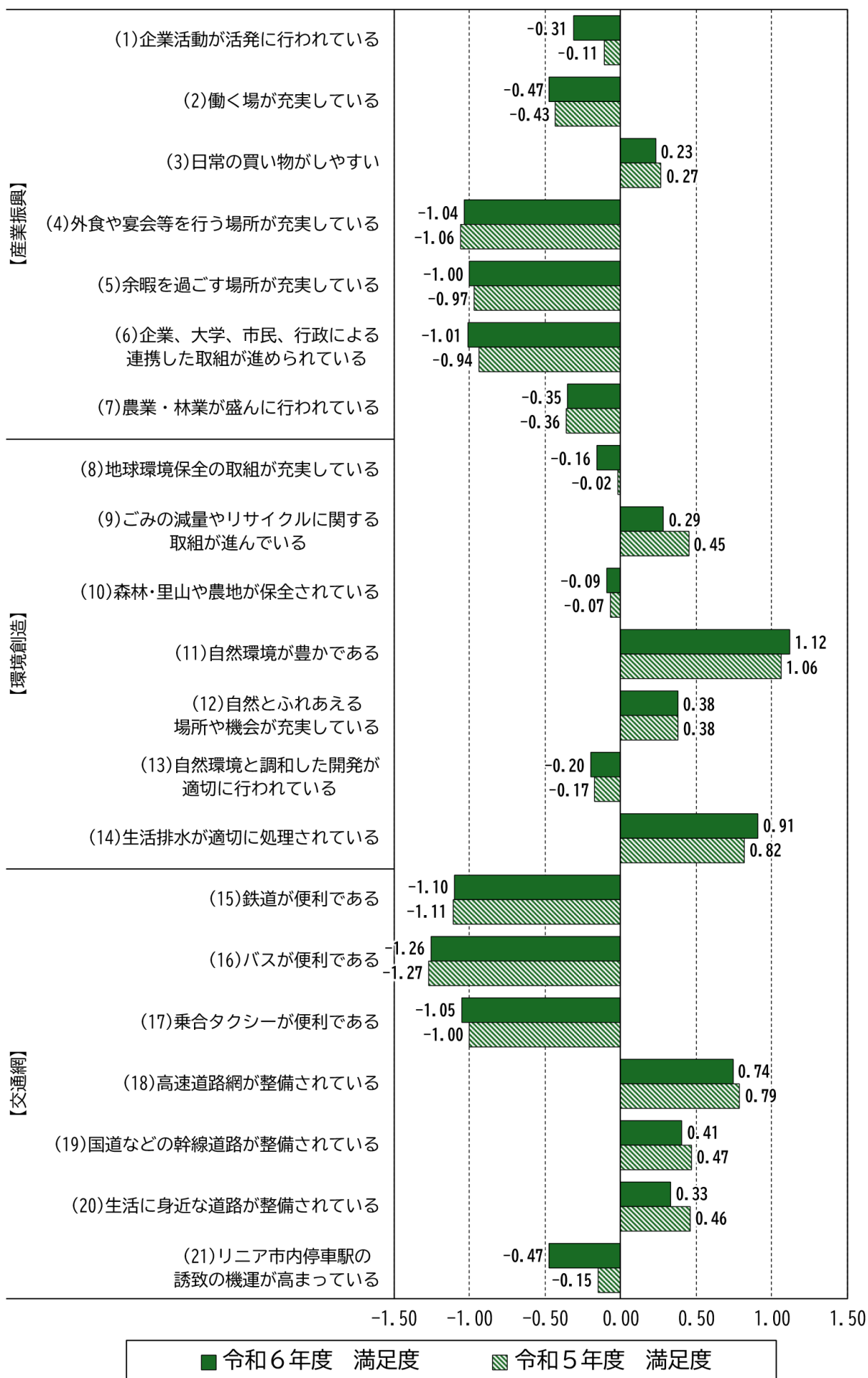
図表3-3-2 市政等に対する現状評価（満足度） -つづき-



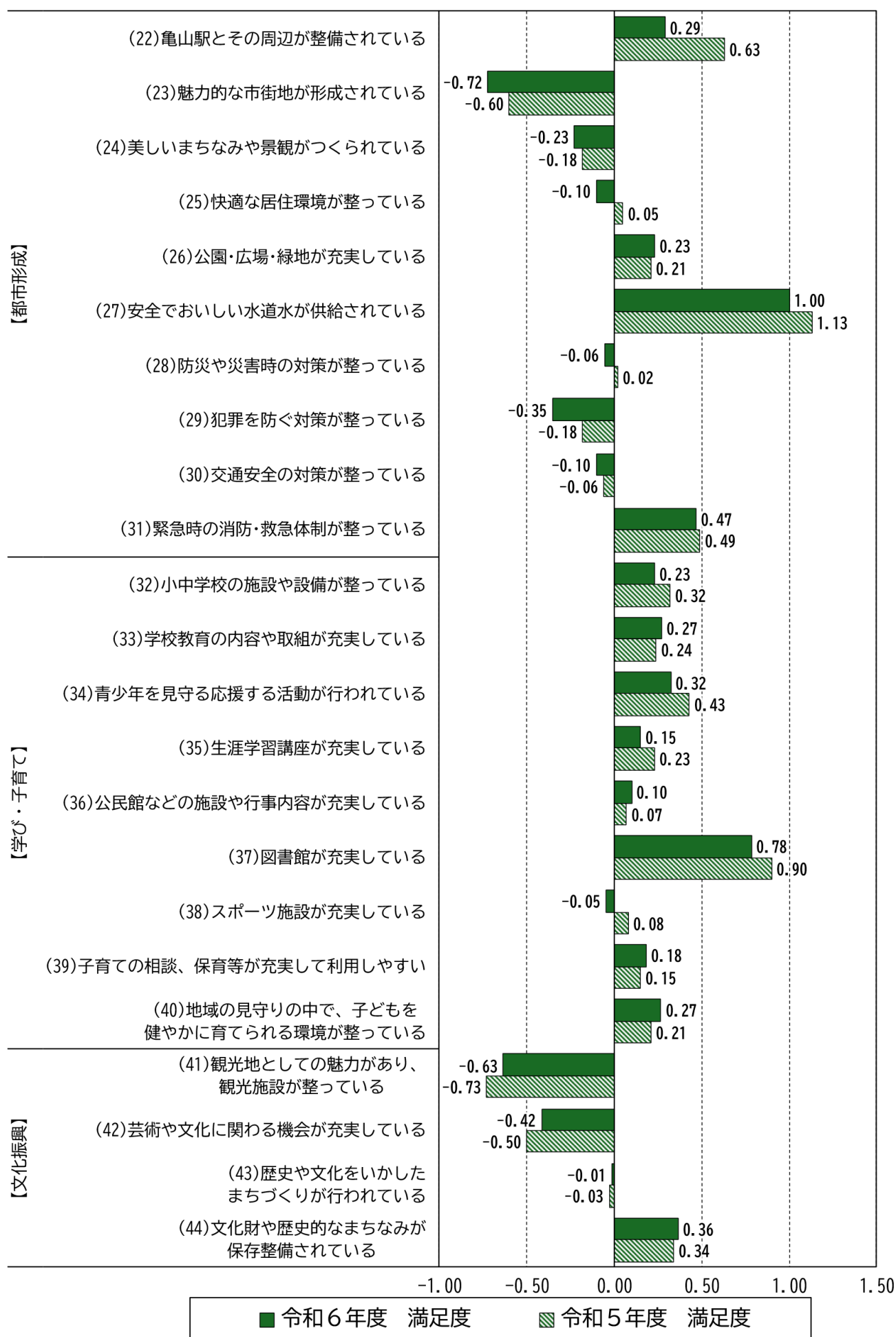
図表3-3-2 市政等に対する現状評価（満足度） ーつづきー



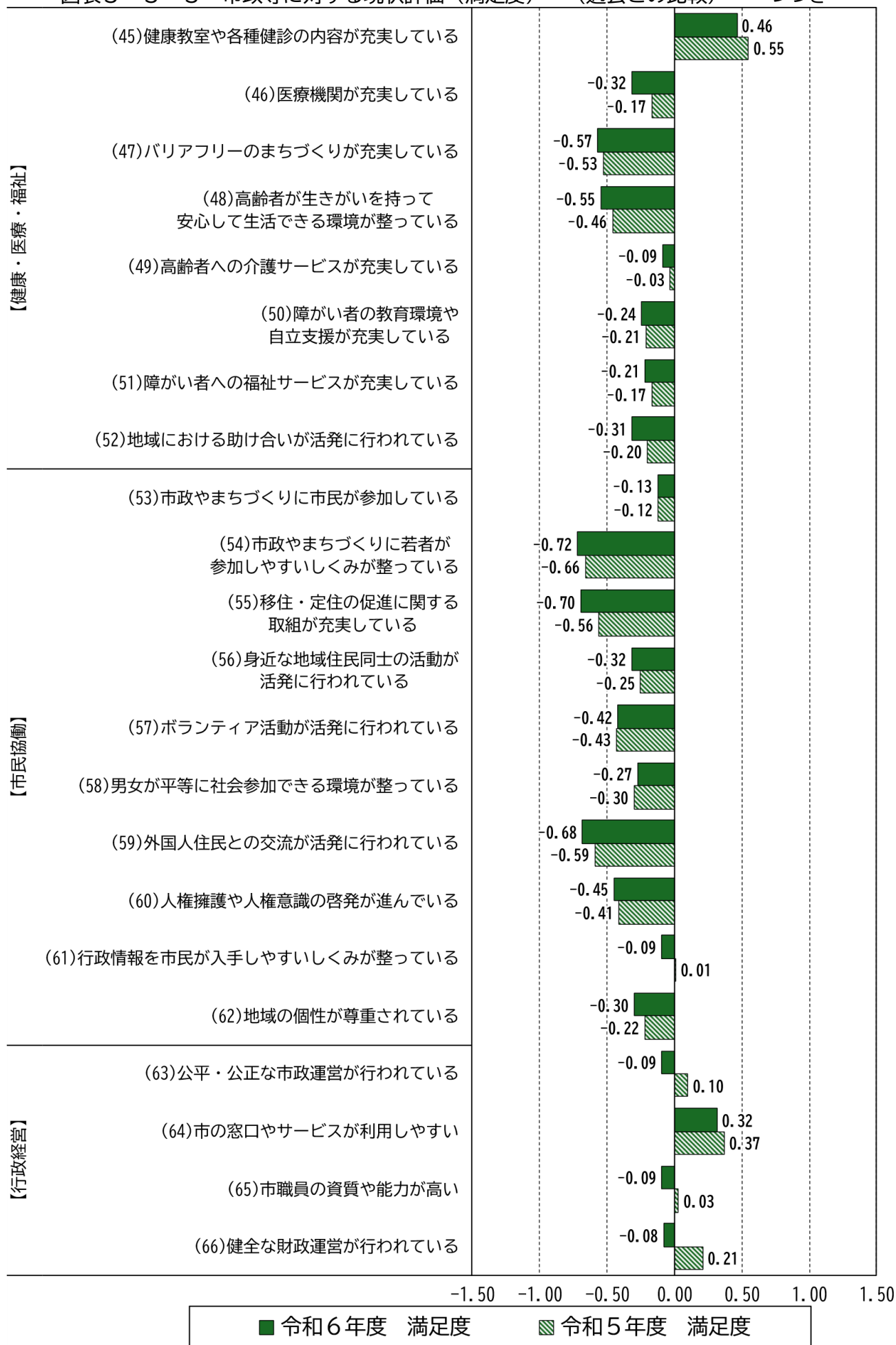
図表3-3-3 市政等に対する現状評価（満足度）（過去との比較）



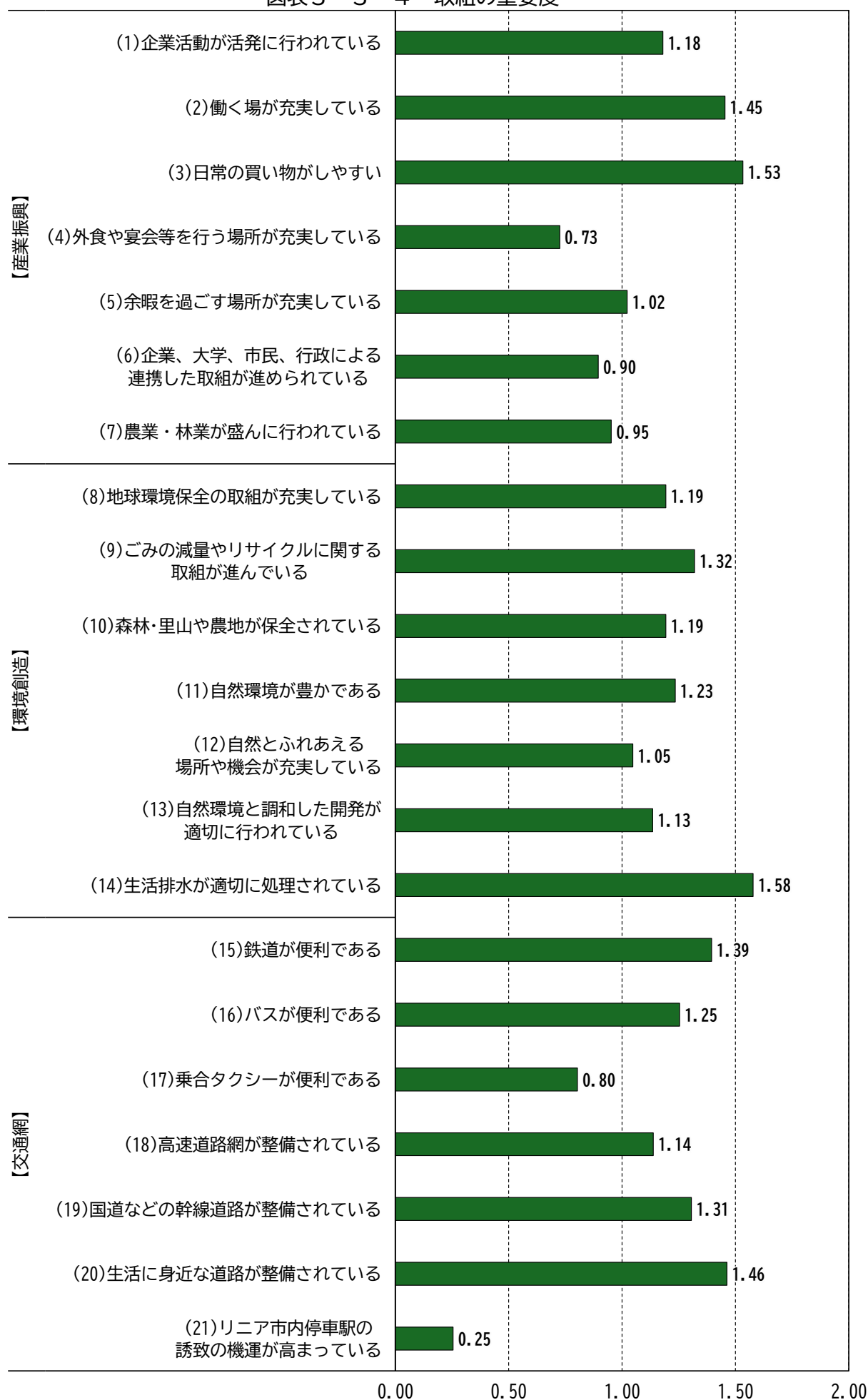
図表3-3-3 市政等に対する現状評価（満足度）（過去との比較）－つづき－



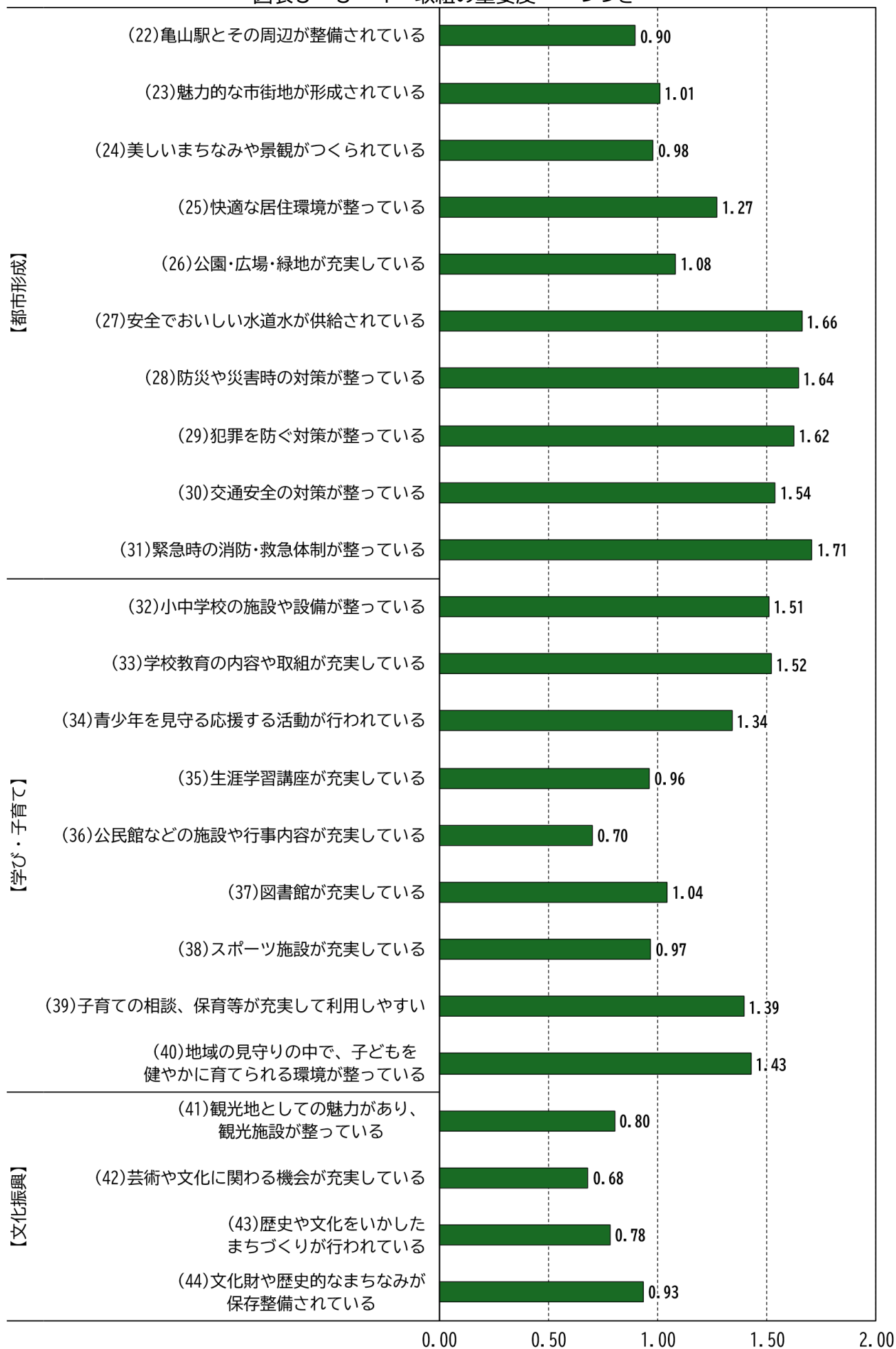
図表3-3-3 市政等に対する現状評価（満足度）（過去との比較） つづき



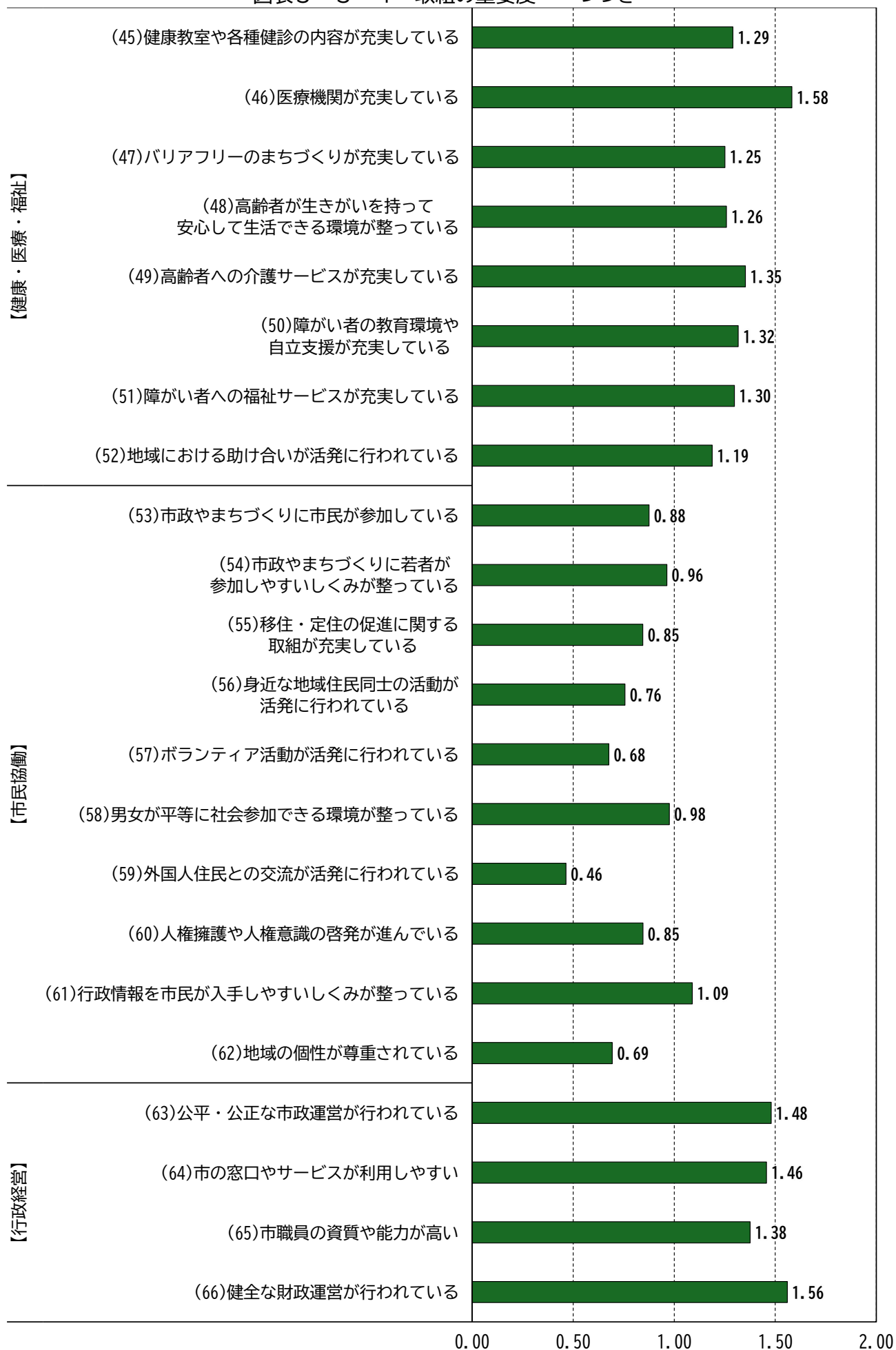
図表3-3-4 取組の重要度



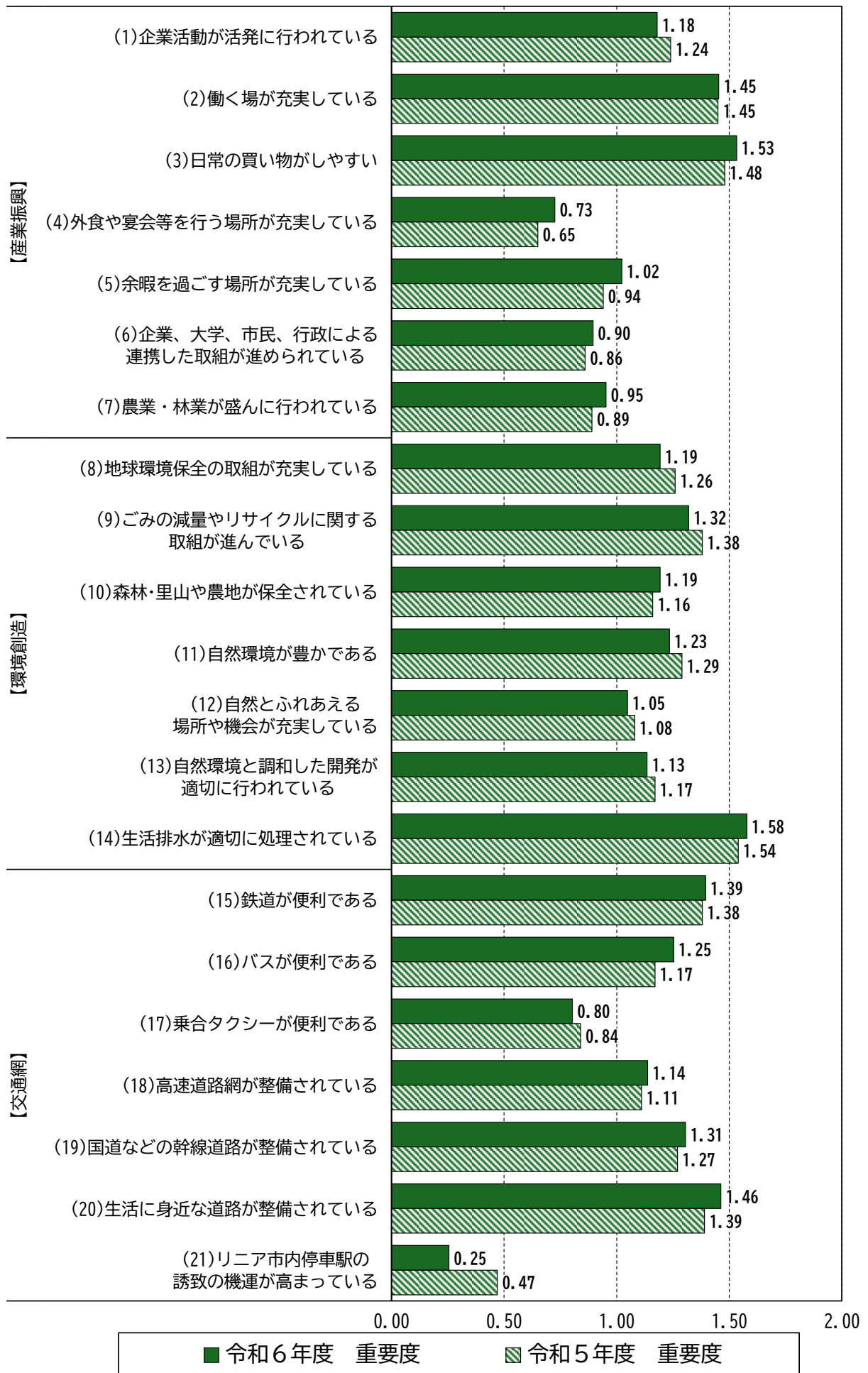
図表3-3-4 取組の重要度 -つづき-



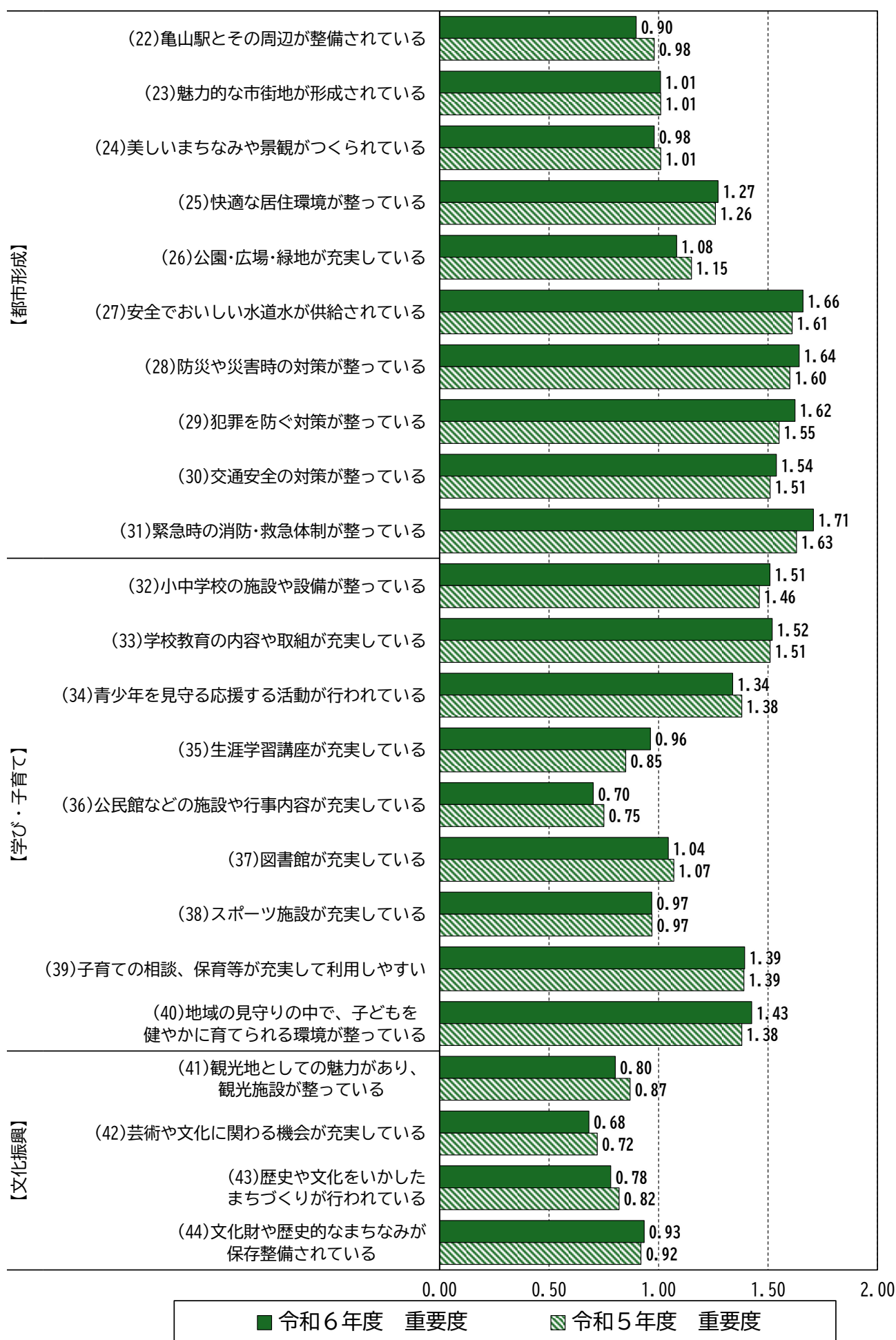
図表 3-3-4 取組の重要度 -つづき-



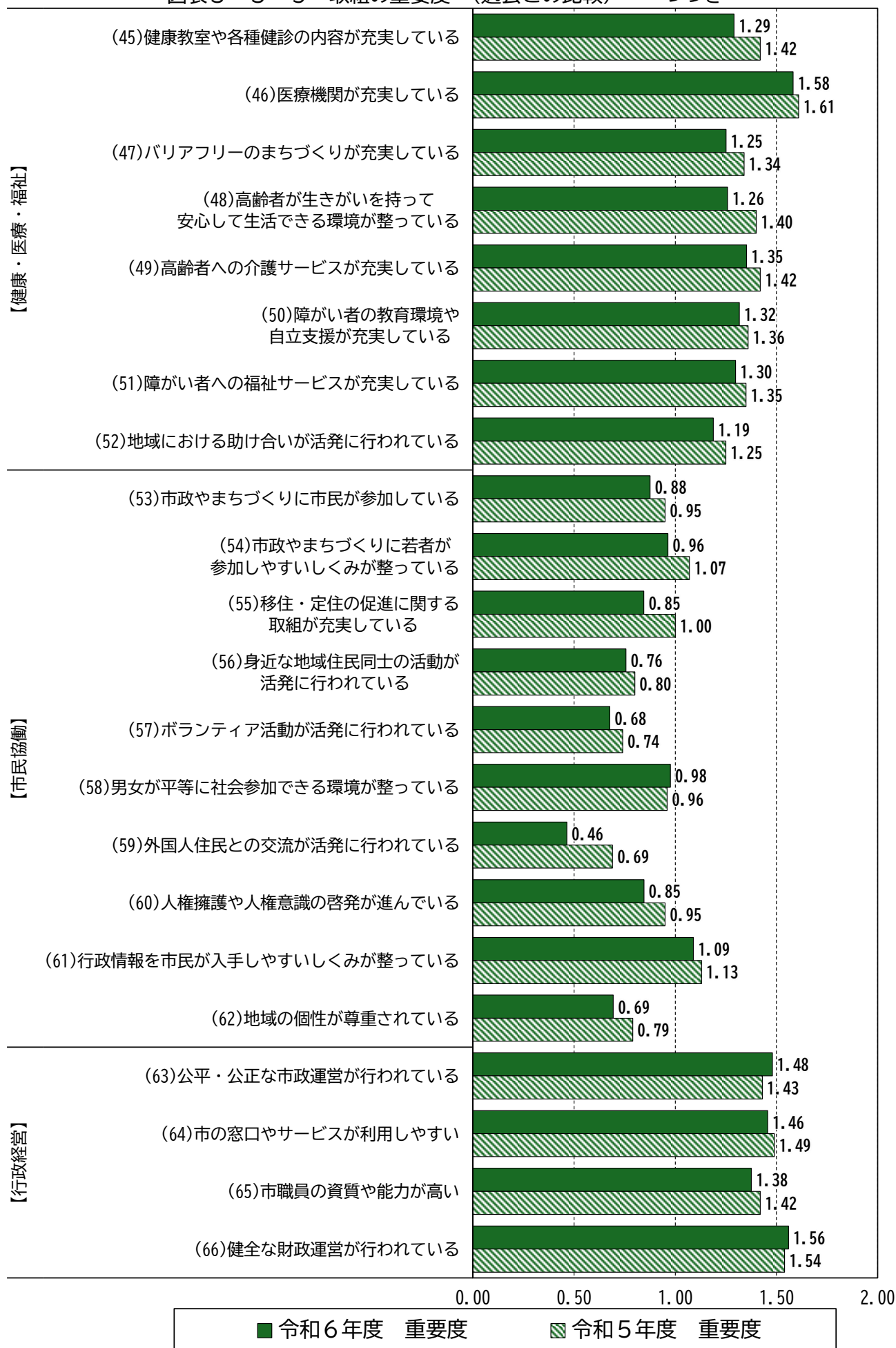
図表3-3-5 取組の重要度（過去との比較）



図表 3-3-5 取組の重要度（過去との比較） - つづき -



図表3-3-5 取組の重要度（過去との比較） -つづき-



【現状の評価(満足度)】

図表3-3-6 現状の評価(満足度) -上位10・下位10-

【上位10】

NO.	分野	質問項目	満足度
11	【環境創造】	自然環境が豊かである	1.12
27	【都市形成】	安全でおいしい水道水が供給されている	1.00
14	【環境創造】	生活排水が適切に処理されている	0.91
37	【学び・子育て】	図書館が充実している	0.78
18	【交通網】	高速道路網が整備されている	0.74
31	【都市形成】	緊急時の消防・救急体制が整っている	0.47
45	【健康・医療・福祉】	健康教室や各種健診の内容が充実している	0.46
19	【交通網】	国道などの幹線道路が整備されている	0.41
12	【環境創造】	自然とふれあえる場所や機会が充実している	0.38
44	【文化振興】	文化財や歴史的なまちなみが保存整備されている	0.36

【下位10】

NO.	分野	質問項目	満足度
16	【交通網】	バスが便利である	-1.26
15	【交通網】	鉄道が便利である	-1.10
17	【交通網】	乗合タクシーが便利である	-1.05
4	【産業振興】	外食や宴会等を行う場所が充実している	-1.04
6	【産業振興】	企業、大学、市民、行政による連携した取組が進められている	-1.01
5	【産業振興】	余暇を過ごす場所が充実している	-1.00
23	【都市形成】	魅力的な市街地が形成されている	-0.72
54	【市民協働】	市政やまちづくりに若者が参加しやすいしくみが整っている	-0.72
55	【市民協働】	移住・定住の促進に関する取組が充実している	-0.70
59	【市民協働】	外国人住民との交流が活発に行われている	-0.68

66の質問項目全ての平均評価得点は-0.12(前回:-0.06)で、マイナス評価となっています。評価得点が高い項目をみると、「(11)自然環境が豊かである」が1.12で最も高く、次いで「(27)安全でおいしい水道水が供給されている」の1.00となっています。この2項目は1.00以上となっています。

評価得点が低い項目は、「(16)バスが便利である」の-1.26が最も低く、次いで「(15)鉄道が便利である」の-1.10、「(17)乗合タクシーが便利である」の-1.05が続いています。いずれも交通網に関する項目となっています。

さらに、「(4)外食や宴会等を行う場所が充実している」の-1.04、「(6)企業、大学、市民、行政による連携した取組が進められている」の-1.01、「(5)余暇を過ごす場所が充実している」の-1.00が続いています。これら3項目は産業振興に関する項目となっています。

分野別にみると、【市民協働】では10項目中9項目が平均以下の評価となっています。また、【健康・医療・福祉】では8項目中6項目が、【産業振興】では7項目中6項目が平均以下の評価となっています。一方、【学び・子育て】では9項目全てが平均以上の評価となっています。

【今後の取組の重要度(重要度)】

図表3-3-7 今後の取組の重要度(重要度) -上位10・下位10-

【上位10】

NO.	分野	質問項目	重要度
31	【都市形成】	緊急時の消防・救急体制が整っている	1.71
27	【都市形成】	安全でおいしい水道水が供給されている	1.66
28	【都市形成】	防災や災害時の対策が整っている	1.64
29	【都市形成】	犯罪を防ぐ対策が整っている	1.62
46	【健康・医療・福祉】	医療機関が充実している	1.58
14	【環境創造】	生活排水が適切に処理されている	1.58
66	【行政運営】	健全な財政運営が行われている	1.56
30	【都市形成】	交通安全の対策が整っている	1.54
3	【産業振興】	日常の買い物しやすい	1.53
33	【学び・子育て】	学校教育の内容や取組が充実している	1.52

【下位10】

NO.	分野	質問項目	重要度
21	【交通網】	リニア市内停車駅の誘致の機運が高まっている	0.25
59	【市民協働】	外国人住民との交流が活発に行われている	0.46
57	【市民協働】	ボランティア活動が活発に行われている	0.68
42	【文化振興】	芸術や文化に関わる機会が充実している	0.68
62	【市民協働】	地域の個性が尊重されている	0.69
36	【学び・子育て】	公民館などの施設や行事内容が充実している	0.70
4	【産業振興】	外食や宴会等を行う場所が充実している	0.73
56	【市民協働】	身近な地域住民同士の活動が活発に行われている	0.76
43	【文化振興】	歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている	0.78
41	【文化振興】	観光地としての魅力があり、観光施設が整っている	0.80

66の質問項目全ての平均評価得点は1.15(前回:1.17)となっています。

評価得点が高い項目をみると、「(31)緊急時の消防・救急体制が整っている」が1.71で最も高く、次いで「(27)安全でおいしい水道水が供給されている」の1.66、「(28)防災や災害時の対策が整っている」の1.64、「(29)犯罪を防ぐ対策が整っている」の1.62となっています。以上の4項目は全て【都市形成】に関する項目となっています。

評価得点が低い項目では、「(21)リニア市内停車駅の誘致の機運が高まっている」が0.25で最も低くなっています。次いで「(59)外国人住民との交流が活発に行われている」の0.46が続いています。この2項目は0.50を下回っており、とりわけ重要度が低くなっています。

分野別にみると、【文化振興】では4項目全てが、【市民協働】でも10項目全てが平均以下の得点となっており重要度は低いと評価されています。また、【産業振興】でも7項目中4項目が平均以下の得点となっており重要度はやや低いと評価されています。一方、【健康・医療・福祉】では8項目全てが平均以上の得点となっており、重要度が高いと評価されています。

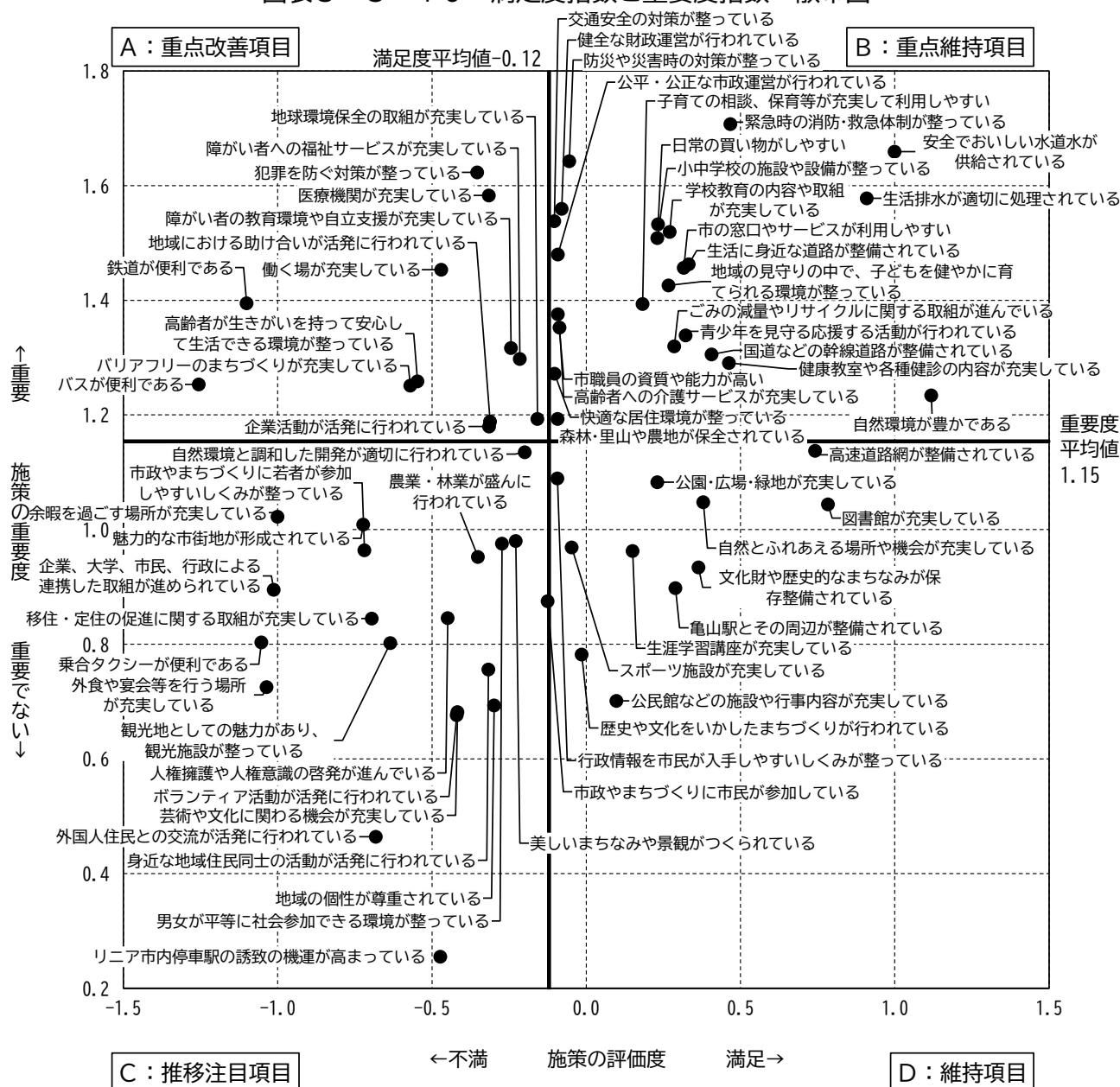
図表３－３－８ 満足度指数と重要度指数（過去調査との比較）

調査年 区 分		前々回調査 (R2)	前回調査 (R5)	今回調査 (R6)
現状の評価（満足度）	平均評価得点	▲0.15	▲0.06	▲0.12
取組の重要度（重要度）	平均評価得点	1.10	1.17	1.15

なお、66 項目の満足度平均評価得点は、前々回調査（R2）調査では-0.15、前回調査(R5)調査では-0.06 と 0.09 ポイント上昇しましたが、今回調査(R6)では-0.12 となり 0.06 ポイント低下しました。

同様に、66 項目の取組の重要度平均評価得点は、前々回調査（R2）調査では 1.10、前回調査(R5)調査では 1.17 と 0.07 ポイント上昇しましたが、今回調査(R6)では 1.15 となり 0.02 ポイント低下しています。

図表3-3-10 満足度指数と重要度指数 散布図



図表3-3-11 満足度と重要度からみた施策評価の考え方

高い 重要性 低い	A 重点改善項目 市民が重要と感じている項目でありながら満足度が低い。重点的に課題解決に取り組む必要がある項目。	B 重点維持項目 市民が重要と感じており、満足度も高い。現在の施策水準を維持または増進していく必要がある項目。
	C 推移注目項目 市民は重要と感じていない項目で満足度も低い。事業の必要性の検証や内容の見直し等の改善が必要となる項目。	D 維持項目 市民は重要と感じていない項目であるが満足度は高い。事業の必要性を検証し、満足度を維持していく項目。
	低い	高い

現状の評価（満足度）を横軸、今後の取組の重要度（重要度）を縦軸として、質問項目ごとの評価得点をプロットしたものが図表 3-3-10 の散布図です。

全質問項目の満足度の平均評価得点は-0.12、重要度の平均評価得点は 1.15 となり、この平均値を基準に区分される 4 つの領域のどこに位置しているかで各々の調査項目は図表 3-3-11 のように評価されます。

図表 3-3-12 「A. 重点改善項目」に分類された項目

【今回調査(R6)で「A. 重点改善項目」に分類された項目】

No	質問項目	前々回調査 (R2)	前回調査 (R5)	今回調査 (R6)
1	企業活動が活発に行われている	A	A	A
2	働く場が充実している	A	A	A
8	地球環境保全の取組が充実している	B	B	A
15	鉄道が便利である	A	A	A
16	バスが便利である	A	A	A
29	犯罪を防ぐ対策が整っている	A	A	A
46	医療機関が充実している	A	A	A
47	バリアフリーのまちづくりが充実している	A	A	A
48	高齢者が生きがいを持って安心して生活できる環境が整っている	A	A	A
50	障がい者の教育環境や自立支援が充実している	A	A	A
51	障がい者への福祉サービスが充実している	A	A	A
52	地域における助け合いが活発に行われている	A	A	A

【前回調査 (R5)で「A. 重点改善項目」に分類されたが、今回調査 (R6)でA以外となった項目】

No	質問項目	前々回調査 (R2)	前回調査 (R5)	今回調査 (R6)
13	自然環境と調和した開発が適切に行われている	C	A	C
30	交通安全の対策が整っている	A	A	B

重要度が高いにもかかわらず満足度指数が低い「重点改善項目」に分類される項目としては、以下の 12 項目が該当します。

「(8)地球環境保全の取組が充実している」は前回調査(R5)では「B. 重点維持項目」に分類されましたが、今回調査(R6)で「A. 重点改善項目」に追加されました。

これを除く他の 11 項目は、前回調査(R5)の時点でも「A. 重点改善項目」に分類されていた項目となります。

なお、前回調査 (R5) では、「(13)自然環境と調和した開発が適切に行われている」が「A. 重点改善項目」に分類されていましたが、今回調査では「C. 推移注目項目」に移行しました。また、「(30)交通安全の対策が整っている」についても、前回調査 (R5) では「A. 重点改善項目」に分類されていましたが、今回調査では「B. 重点維持項目」に移行しています。

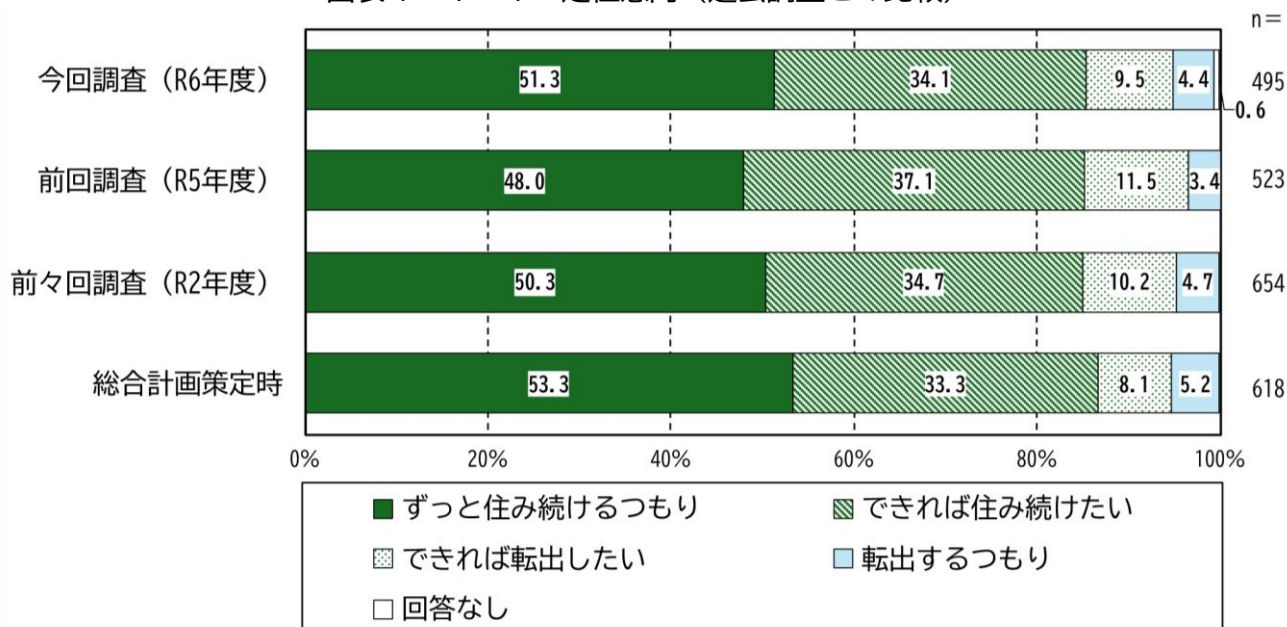
4. 亀山市での定住意向について

(1) 定住意向

問4 あなた自身の亀山市への定住意向について、お答えください。

(1) あなたは将来も亀山市に住み続けたいと思いますか。 ※1つだけに○

図表4-1-1 定住意向（過去調査との比較）

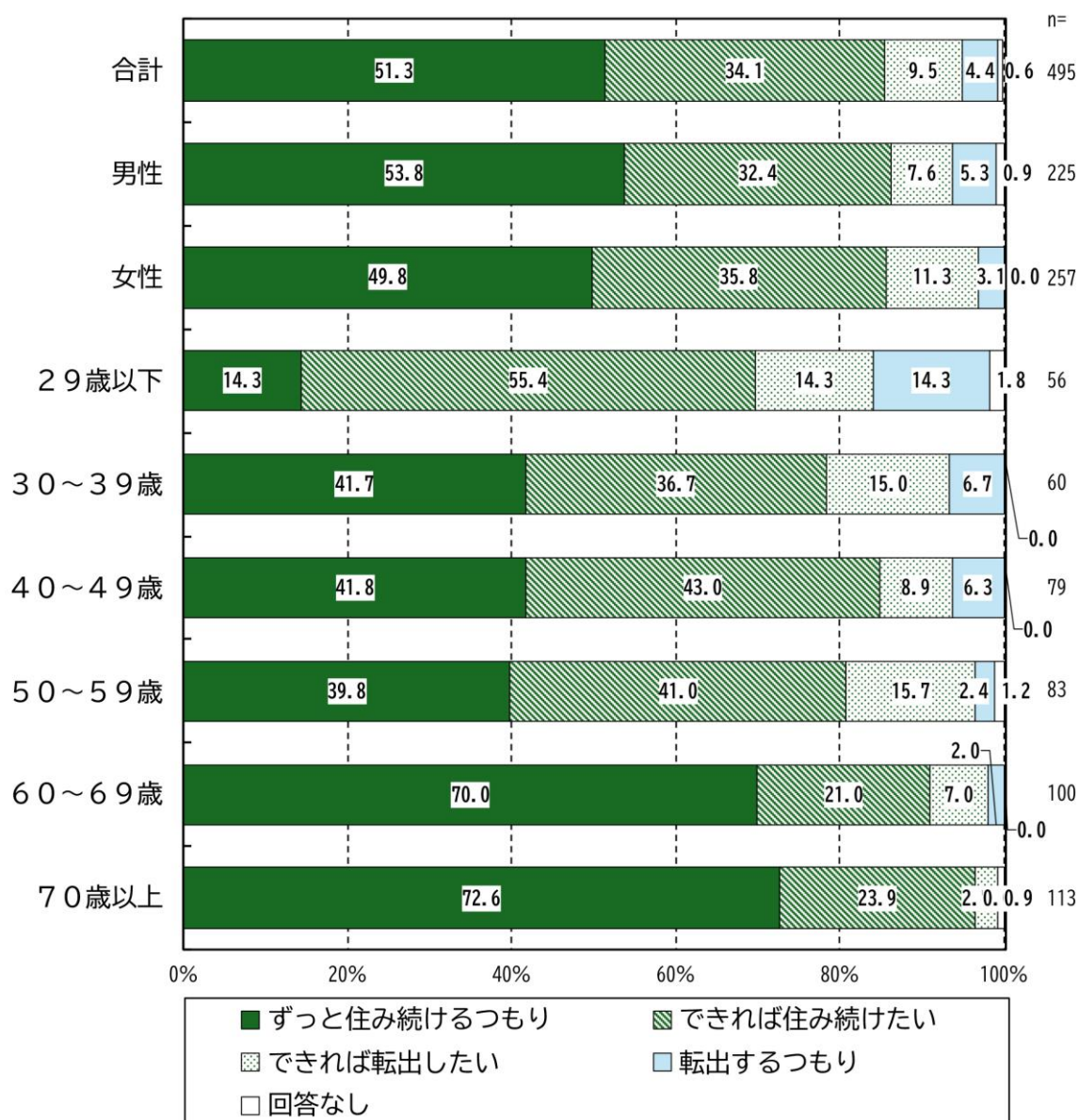


「ずっと住み続けるつもり」が51.3%で最も高く5割を超えています。次いで「できれば住み続けたい」が34.1%となっています。「ずっと住み続けるつもり」と「できれば住み続けたい」をあわせた『住み続けたい』は85.4%となっています。

なお、「できれば転出したい」は9.5%、「転出するつもり」は4.4%です。これらをあわせた『転出したい』は13.9%となっています。

前回調査（R5）では、「ずっと住み続けるつもり」の48.0%と「できれば住み続けたい」の37.1%をあわせた『住み続けたい』は85.1%でした。前回調査とほぼ同様に結果となっています。

図表4-1-2 属性別、定住意向



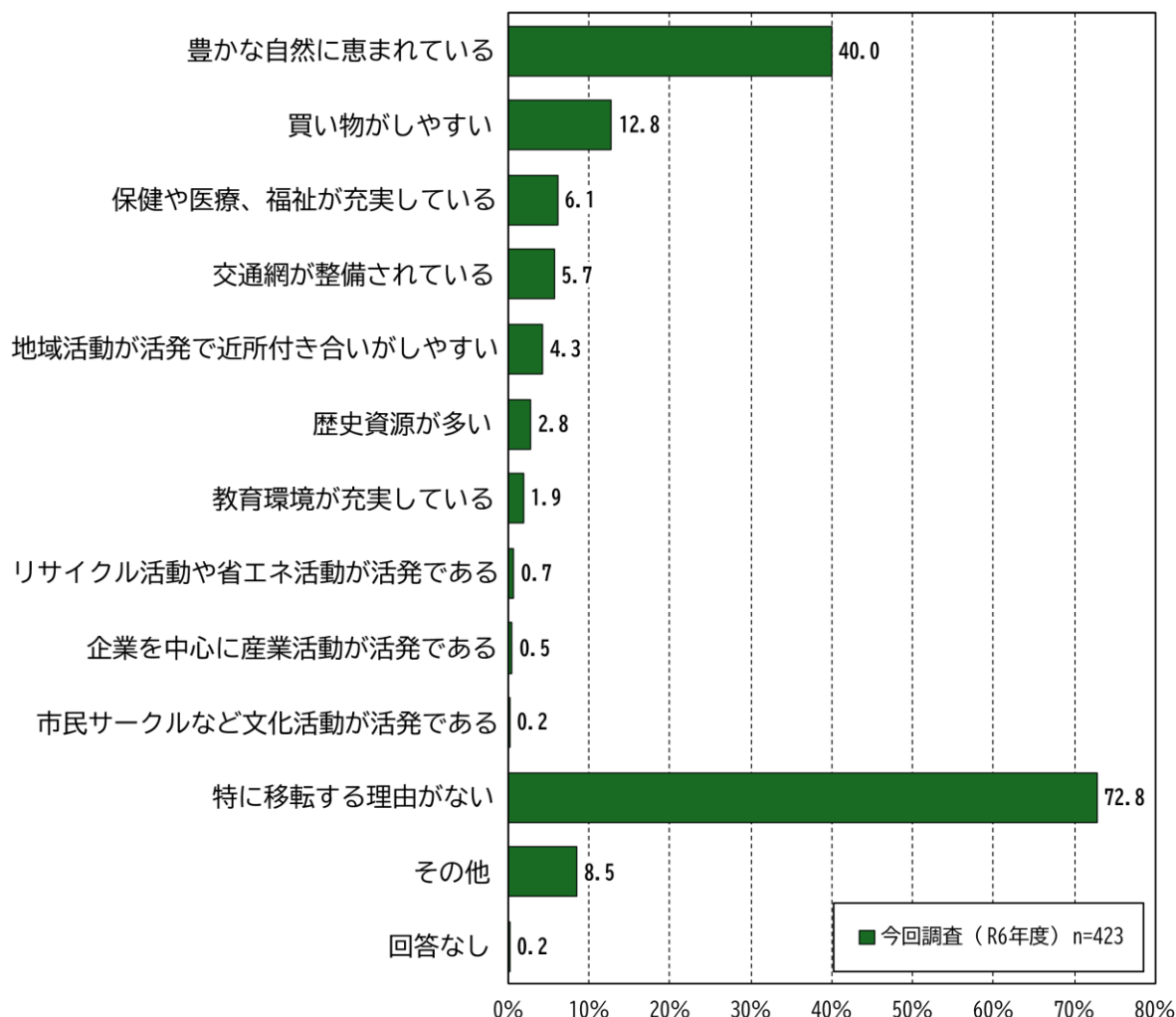
男女別に『住み続けたい』の割合をみると、男性が86.2%、女性が85.6%で、男女ともに『住み続けたい』の割合は高く、若干男性の方が高くなっています。

年齢別に『住み続けたい』の割合をみると、29歳以下では69.7%と約7割となっていますが、30～39歳では78.4%と8割近くになっています。40～49歳、50～59歳はそれぞれ84.8%、80.8%と8割台となり、60～69歳、70歳以上となると、91.0%、96.5%と9割以上が『住み続けたい』と回答しています。年齢が高くなるにつれて『住み続けたい』の割合が高くなっています。

(2) 住みたい理由

問4 あなた自身の亀山市への定住意向について、お答えください。
 (2)「1. ずっと住み続けるつもり」「2. できれば住み続けたい」を選んだ方にお聞きします。住み続けたいと思う理由は何ですか。 ※2つまでに○

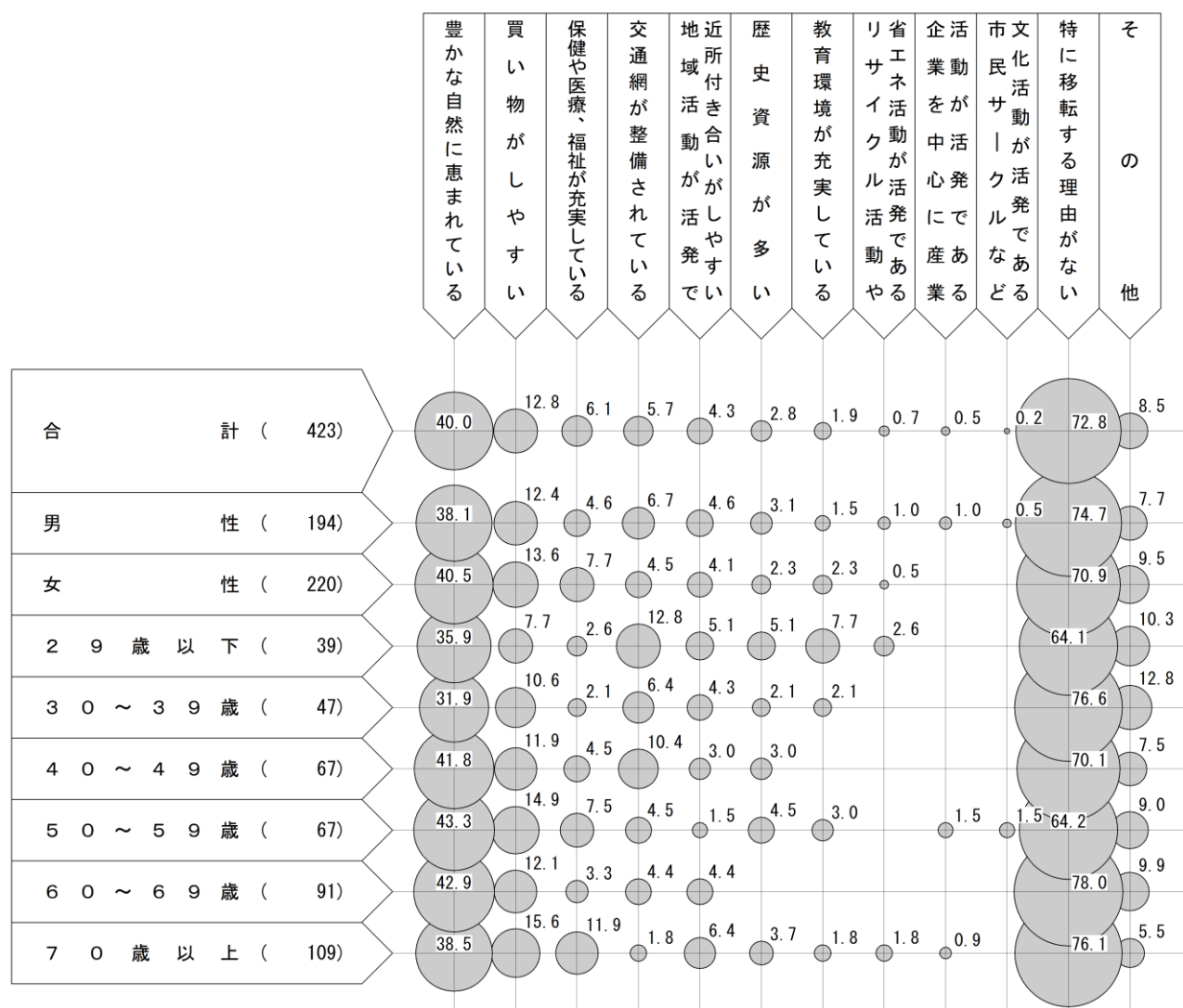
図表2-2-1 住みたい理由 -複数回答-



その他……災害が少ない、移転費用がない、年齢的な問題、愛着がある、移動がしやすい、住み慣れている、ゴミ出しが楽、先祖代々の土地、面倒だから、住むしかない、ほどよくまちでも田舎でもない、人口が多すぎない、免許がない、子ども家族との同居、規模が大きいことが良いまちだと思わない、住むしかない

定住意向で『住み続けたい』と回答した 423 人を対象に、住み続けたい理由を聞いたところ、「特に移転する理由がない」が 72.8%最も高くなっています。これを除くと、「豊かな自然に恵まれている」が 40.0%で高く、次いで「買い物がしやすい」が 12.8%となっています。

図表4-2-2 属性別、住みたい理由 -複数回答-



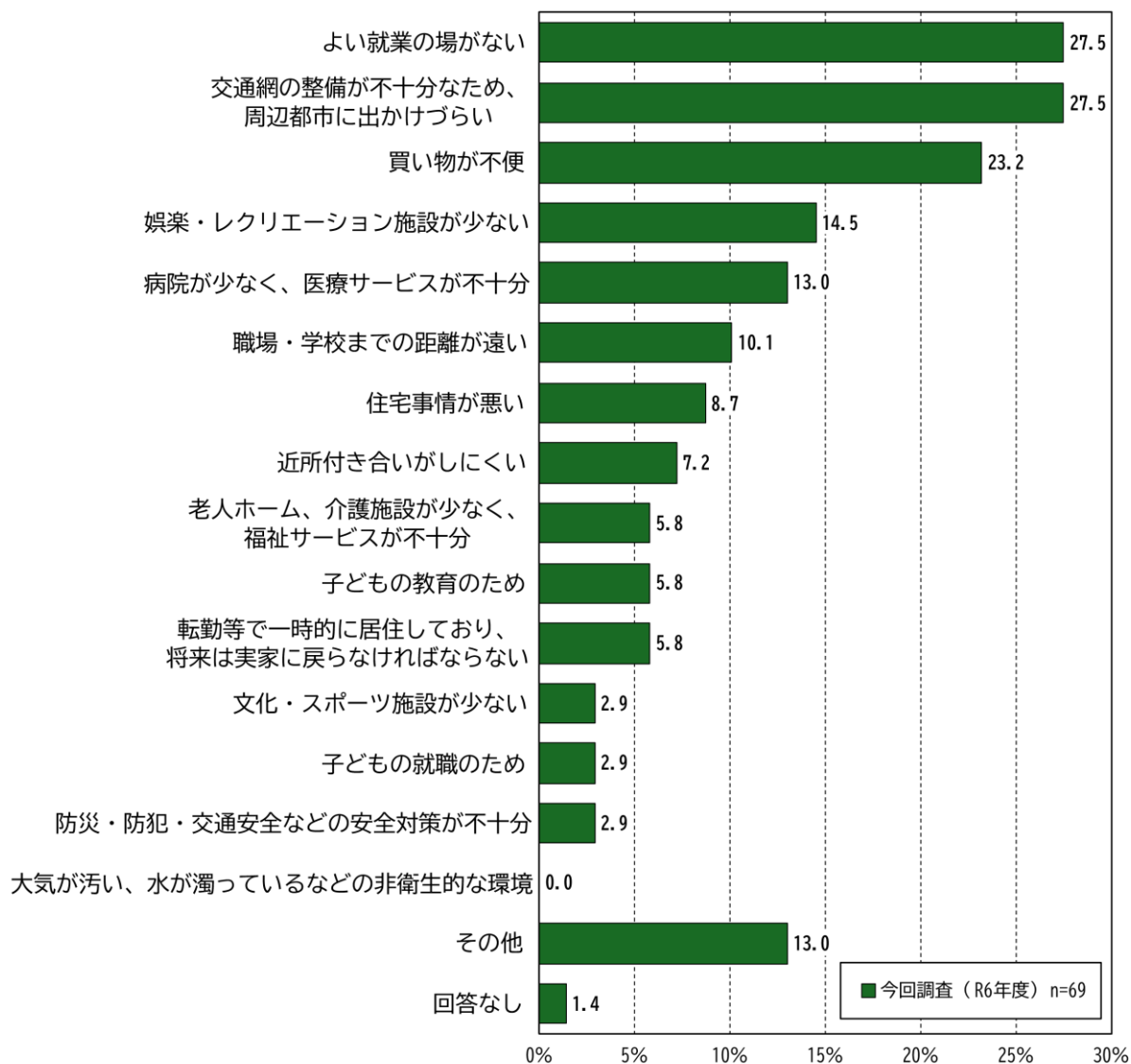
男女別にみると、「特に移転する理由がない」は男性の方がわずかに高く、「豊かな自然に恵まれている」は女性の方がわずかに高くなっていますが、男女間での顕著な相違はみられません。

年齢別にみると、どの年齢層でも、「特に移転する理由がない」が最も高く、次いで「豊かな自然に恵まれている」が2番目に高くなっている点は共通しています。そのなかで、29歳以下では「交通網が整備されている」が12.8%で3番目に高くなっており、30～39歳では「その他」が12.8%で3番目に高くなっています。40歳以上ではどの年齢層でも「買物がしやすい」が3番目に高くなっています。

(3) 転出したい理由

問4 あなた自身の亀山市への定住意向について、お答えください。
 (3)「3. できれば転出したい」「4. 転出するつもり」を選んだ方にお聞きします。
 転出したいと思う理由は何ですか。 ※2つまでに○

図表4-3-1 転出したい理由 -複数回答-

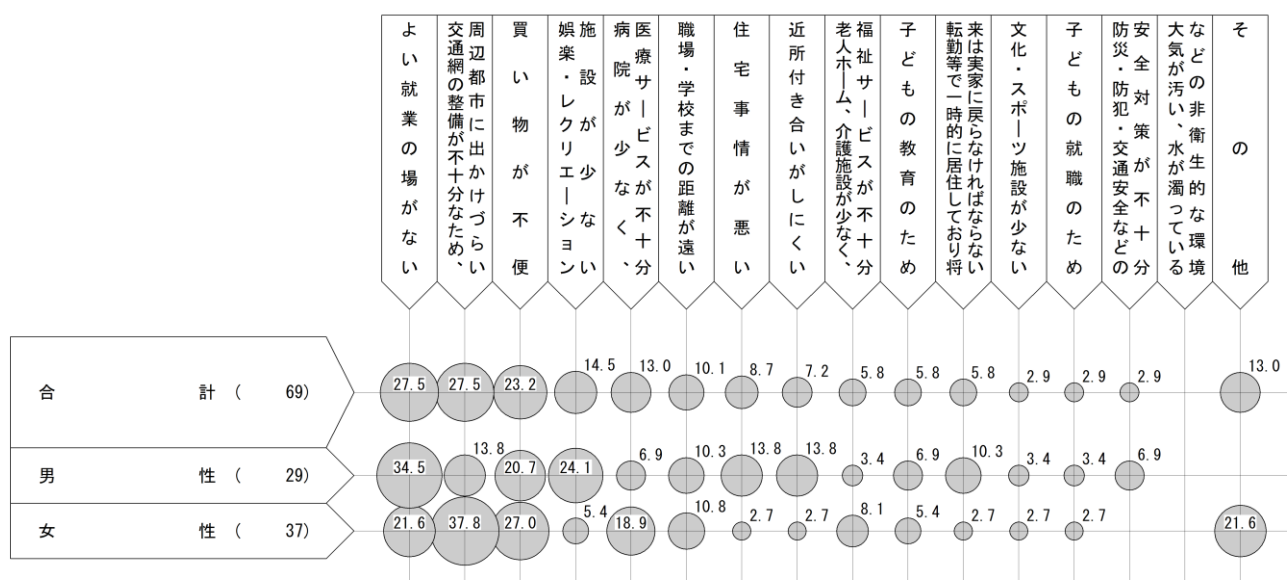


その他……住んだことのない土地で人生経験を積みたい、他に住みたい場所がある、地区の行事が多く昔からの風習が嫌、移動が不便、分娩施設がない、高齢者が増加し若者に魅力がない、婚姻等で市外に住む可能性がある、市外に出たい、愛着がない、考えが古い（男尊女卑）、女性の正社員職が少ない、給料が安い

定住意向で『転出したい』と回答した 69 人を対象に、転出したい理由を聞いたところ、「よい就業の場がない」と「交通網の整備が不十分のため、周辺都市に出かけづらい」がともに 27.5% で最も高くなっています。次いで「買い物が不便」が 23.2% となっており、これら上位 3 つは 20% 台の比較的高い割合を示しています。

さらに、「娯楽・レクリエーション施設が少ない」の 14.5%、「病院が少なく、医療サービスが不十分」と「その他」の 13.0%、「職場・学校までの距離が通り」の 10.1%が続いています。

図表4-3-2 属性別、転出したい理由 -複数回答-



注：対象者が69人と少ないため、年齢別の比較分析はできません。

男女別にみると、男性では、「よい就業の場がない」が34.5%で最も高く、次いで「娯楽・レクリエーション施設が少ない」の24.1%、「買物が不便」の20.7%が高くなっています。

女性では、「交通網の整備が不十分のため、周辺都市に出かけづらい」が37.8%で最も高く、次いで、「買物が不便」の27.0%、「よい就業の場がない」の21.6%が高くなっています。また、女性では「その他」も21.6%と比較的高くなっています。

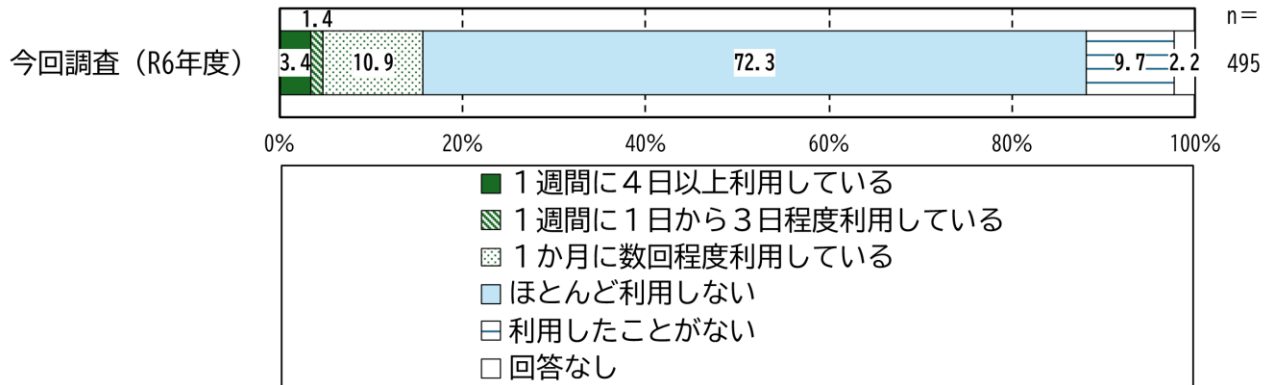
5. 亀山市の公共交通

(1) 鉄道(JR線)の利用状況

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

(1) 鉄道(JR線)を亀山市内の駅から利用していますか。 ※1つだけに○

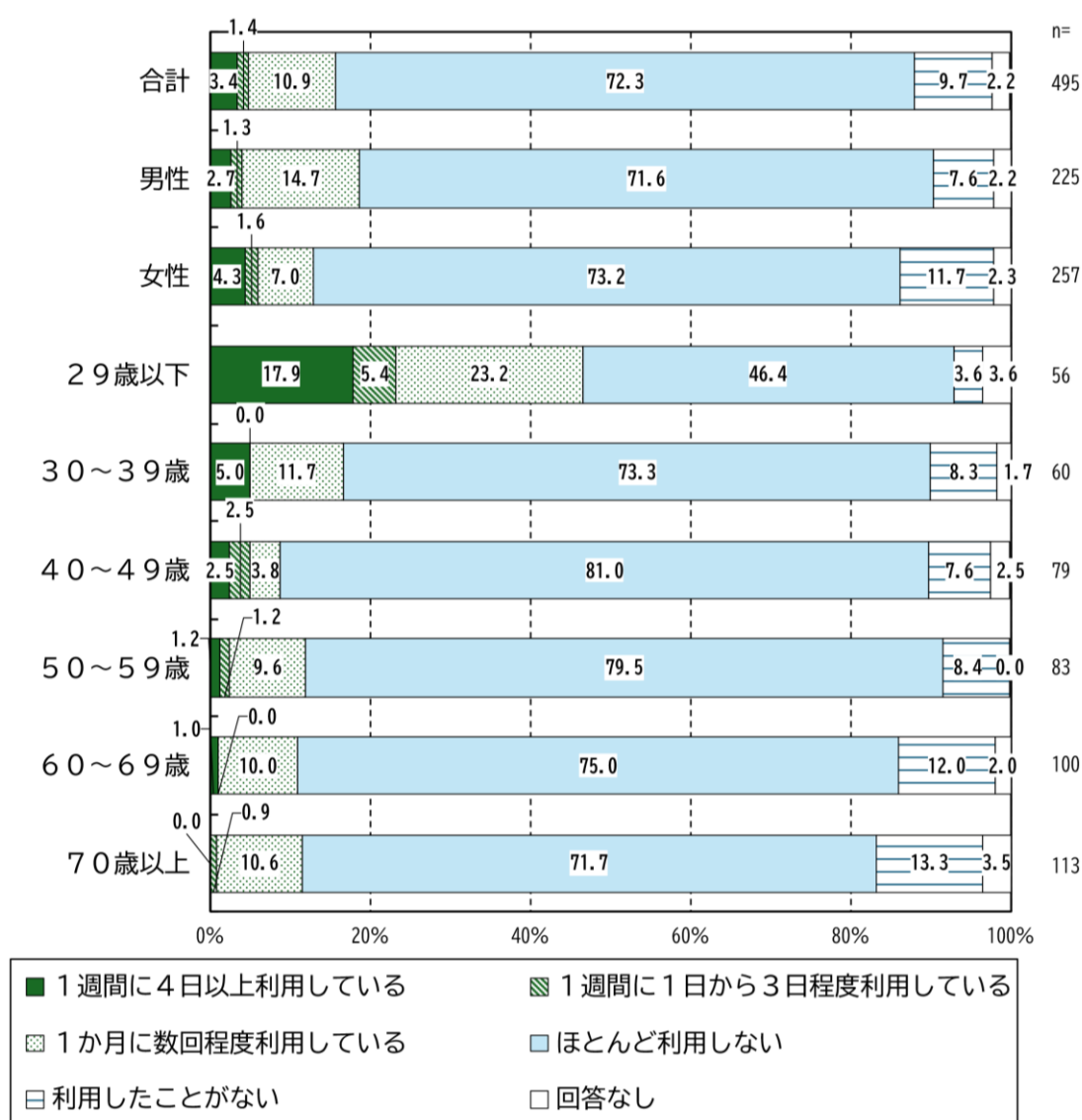
図表5-1-1 鉄道(JR線)の利用状況



「ほとんど利用しない」が72.3%で最も高く、「利用したことがない」も9.7%となっており、この両者をあわせた『利用していない』は82.0%と8割以上を占めています。

一方、「1週間に4日以上利用している」が3.4%、「1週間に1日から3日程度利用している」が1.4%となっています。『1週間に1日以上利用している』は4.8%となります。また、「1か月に数回程度利用している」が10.9%となっており、これもあわせた『利用している』は15.7%となっています。

図表5－1－2 属性別、鉄道（ＪＲ線）の利用状況



男女別に『1週間に1回以上利用している』をみると、男性は4.0%、女性は5.9%で、わずかに女性が高くなっています。また、『定常的に利用している』の割合は、男性は18.7%、女性は12.9%で、こちらは男性の方がわずかに高くなっています。

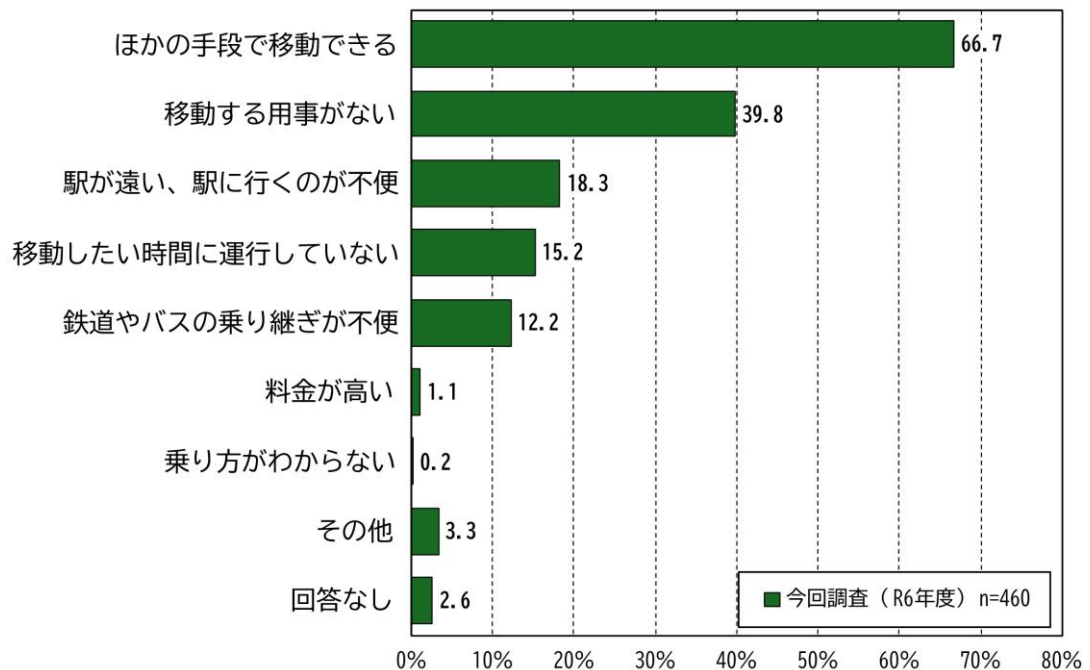
年齢別にみると、29歳以下では、「1週間に4日以上利用している」が17.9%、「1週間に1日から3日程度利用している」が5.4%となっています。『1週間に1日以上利用している』は23.3%で2割以上となっています。また、「1か月に数回程度利用している」が23.2%となっており、これもあわせた『利用している』は46.5%となっています。

このように、29歳以下では他の年代とは異なり鉄道を利用する割合がかなり高くなっています。30歳以上になると、『利用している』でも20%に満たず、鉄道の利用はかなり低くなっています。

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

★「3. 1か月に数回程度利用」「4. ほとんど利用しない」「5. 利用したことがない」を選んだ方にお聞きます。
鉄道（JR線）を利用しない理由は何ですか。 ※2つまでに○

図表5-1-3 鉄道（JR線）を利用しない理由 -複数回答-

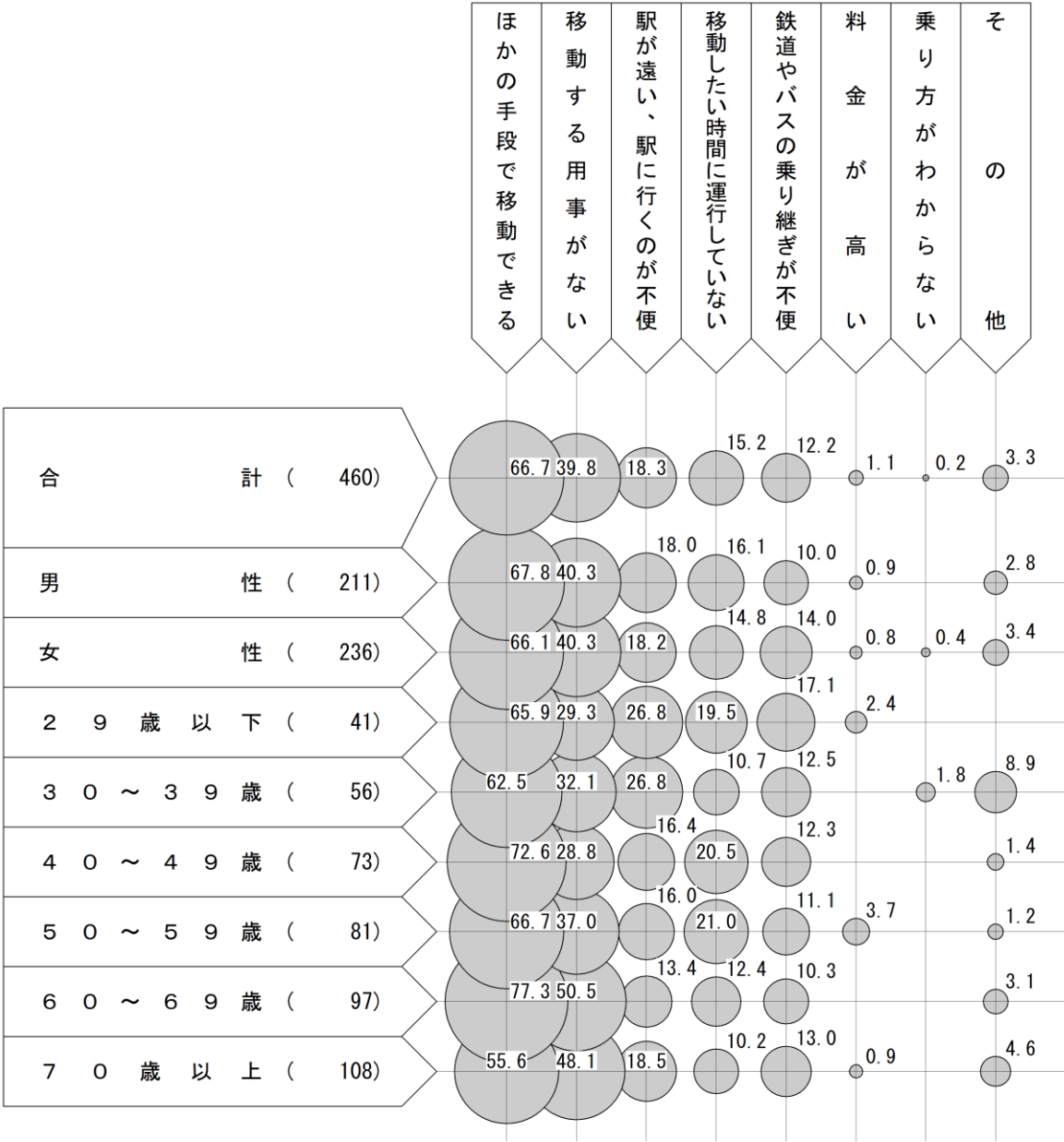


その他……旅行時のみ利用、遠方に行くときのみ使用、乗り物酔いする、体が不自由だから、高齢のため、時間がかかる、感染症が気になる、本数が少ない、三重県内の移動手段として不便、本数が少ない、子ども連れで利用しにくい、名古屋や関東に行く際に駐車場が少ないことや終電が早いことを考えると四日市まで出た方がトータルコストも時間もメリットが大きいから、関西に行くのも、津まで出た方が良い、名古屋に行くのに JR 井田川駅から利用している、4 か月に 1 回歯医者へ行くのに利用する

鉄道（JR線）の利用状況で「1 か月に数回程度利用している」、「ほとんど利用しない」、又は「利用したことがない」と回答した 460 人を対象に、鉄道（JR）を利用しない理由を聞いたところ、「ほかの手段で移動できる」が 66.7%で最も高くなっています。次いで、「移動する用事がない」が 39.8%と4割近くが回答しています。

さらに、「駅が遠い、駅に行くのが不便」が 18.3%、「移動したい時間に運行していない」が 15.2%、「鉄道やバスの乗り継ぎが不便」が 12.2%と続いています。

図表5-1-3 属性別、鉄道（ＪＲ線）を利用しない理由 -複数回答-



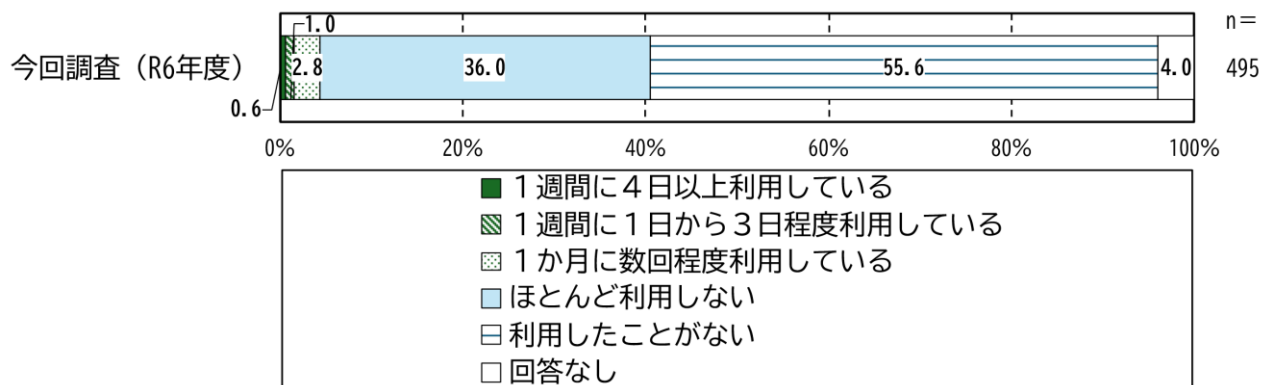
男女別、年齢別にみても、「ほかの手段で移動できる」が最も高く、次いで「移動する用事がない」が2番目に高くなっている点は共通しています。属性別の顕著な違いはみられません。

(2) バス(路線バス、コミュニティバス)の利用状況

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

(2) 亀山市内のバス(路線バス、コミュニティバス)を利用していますか。 ※1つだけに○

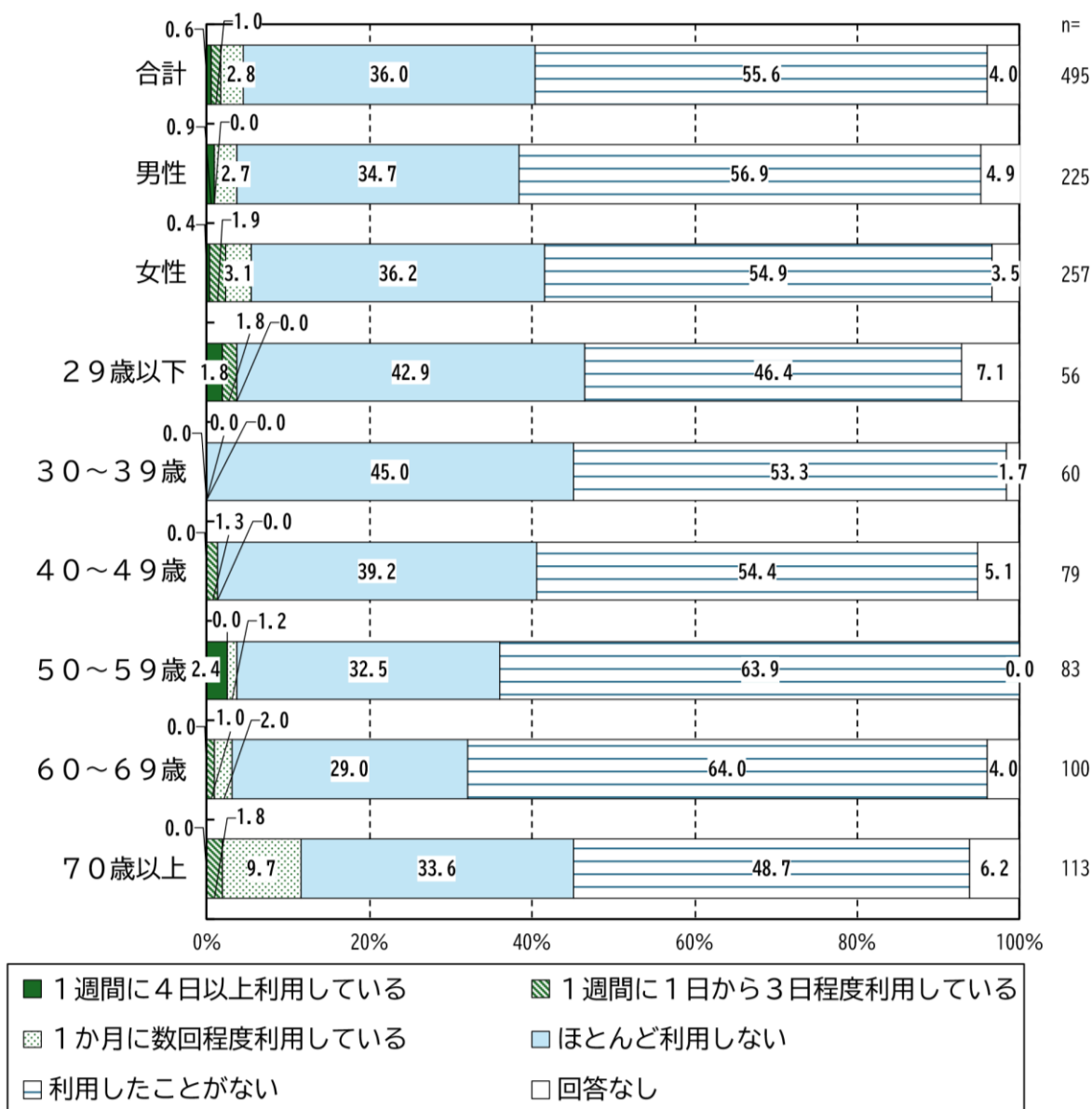
図表5-2-1 バス(路線バス、コミュニティバス)の利用状況



「利用したことがない」が55.6%で最も高く、半数以上は利用した経験がありません。次いで「ほとんど利用しない」が36.0%となっています。この両者をあわせた『利用していない』は91.6%となり、実に9割以上はほぼ路線バス、コミュニティバスを利用していません。

一方、「1週間に4日以上利用している」は0.6%、「1週間に1日から3日程度利用している」は1.0%となっています。『1週間に1日以上利用している』はわずかに1.6%にとどまっています。また、「1か月に数回程度利用している」は2.8%となっており、これもあわせた『利用している』は4.4%で、5%にも満たない割合となっています。

図表5-2-2 属性別、バス（路線バス、コミュニティバス）の利用状況



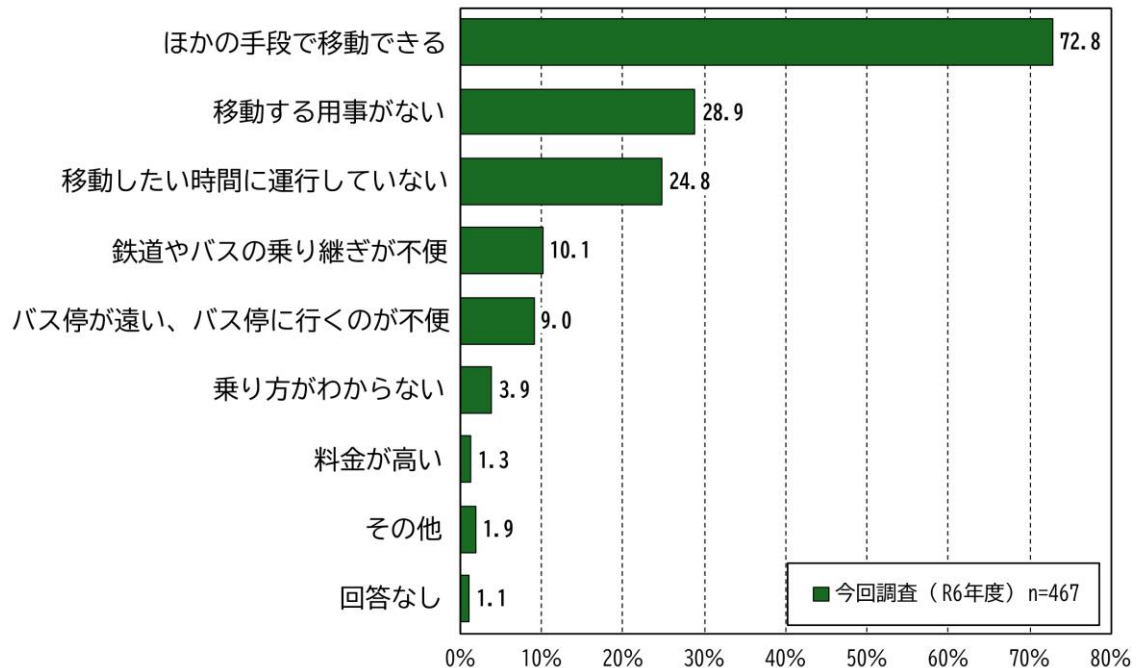
男女別に『1週間に1回以上利用している』の割合をみると、男性は0.9%、女性は2.3%です。また、『利用している』の割合は、男性は3.6%、女性は5.4%で、わずかに女性の方が高くなっています。

年齢別にみても、29歳以下と50～59歳で「1週間に4日以上利用している」が1.8%、2.4%となっている程度で、いずれの年代でもほとんど利用されていない状況にあります。

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

★「3. 1か月に数回程度利用」「4. ほとんど利用しない」「5. 利用したことがない」を選んだ方にお聞きます。
バス（路線バス、コミュニティバス）を利用しない理由は何ですか。 ※2つまでに○

図表5－2－3 バス（路線バス、コミュニティバス）を利用しない理由 -複数回答-



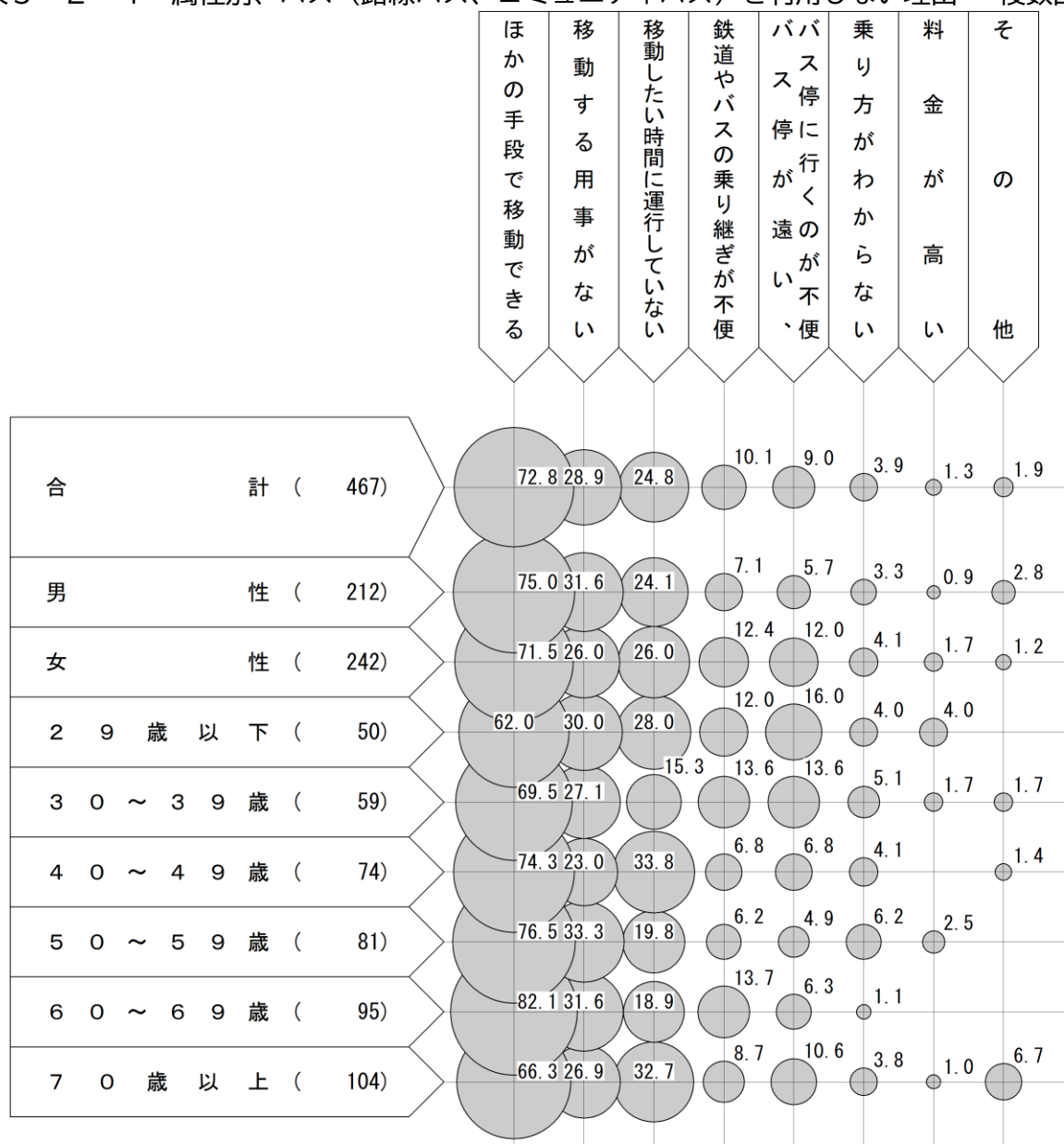
その他……亀山駅行がない、本数が少ない、体が不自由だから、

地区にコミュニティバスが運行していない、遠方に行くときのみ使用、時間がかかる、

バス（路線バス、コミュニティバス）の利用状況で「1か月に数回程度利用している」、「ほとんど利用しない」、又は「利用したことがない」と回答した467人を対象に、バス（路線バス、コミュニティバス）を利用しない理由を聞いたところ、「ほかの手段で移動できる」が72.8%で最も高くなっています。次いで、「移動する用事がない」が28.9%、「移動したい時間に運行していない」が24.8%となっています。

このほかでは、「鉄道やバスの乗り継ぎが不便」が10.1%、「バス停が遠い、バス停に行くのが不便」が9.0%と続いています。

図表5-2-4 属性別、バス（路線バス、コミュニティバス）を利用しない理由 -複数回答-

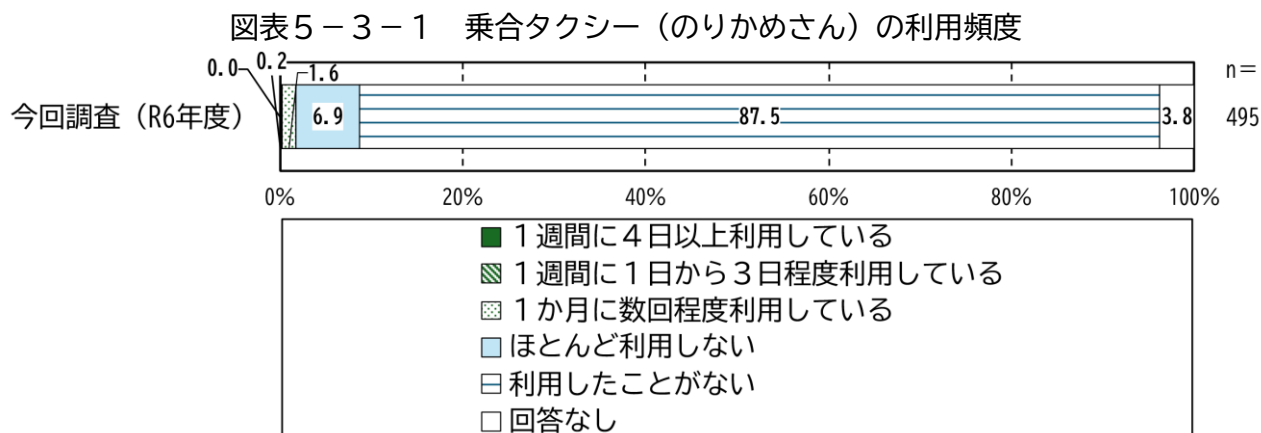


男女別、年齢別にみても、「ほかの手段で移動できる」が最も高く、次いで「移動する用事がない」又は「移動したい時間に運行していない」が2番目に高くなっている点は共通しています。属性別の顕著な違いはみられません。

(3) 乗合タクシー(のりかめさん)の利用状況

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

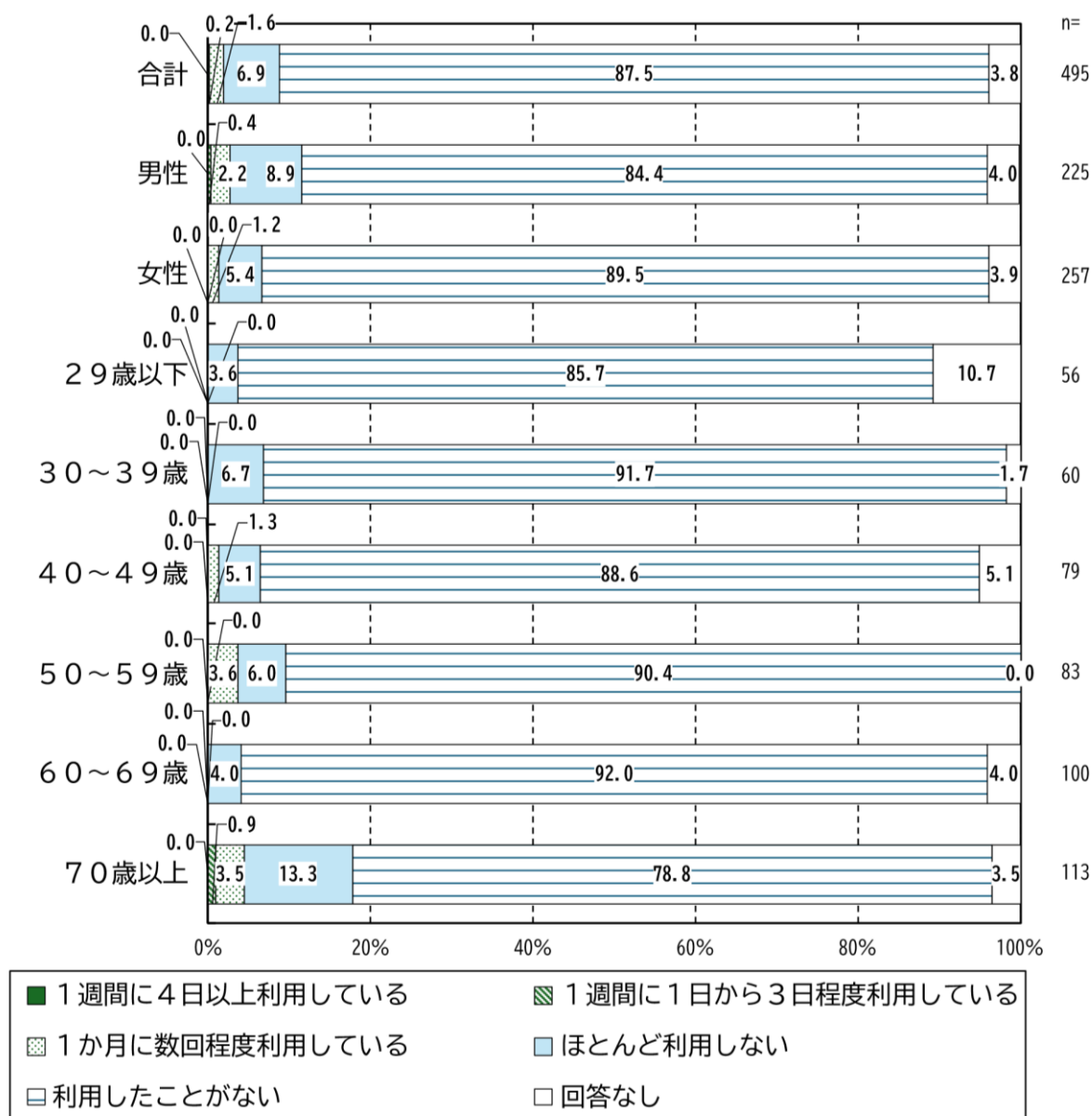
(3) 乗合タクシー(のりかめさん)を利用していますか。 ※1つだけに○



「利用したことがない」が87.5%で最も高く、次いで「ほとんど利用しない」が6.9%となっています。この両者をあわせた『利用していない』は94.4%となり、9割以上は乗合タクシー(のりかめさん)を利用していません。

一方、「1週間に4日以上利用している」は0.0% (回答者0人)、「1週間に1日から3日程度利用している」は0.2% (同1人) となっています。『1週間に1日以上利用している』はわずかに0.2%にとどまっています。また、「1か月に数回程度利用している」は1.6% (同8人) となっており、これもあわせた『利用している』は1.8%で、2%にも満たない割合となっています。

図表5－3－2 属性別、乗合タクシー（のりかめさん）の利用頻度



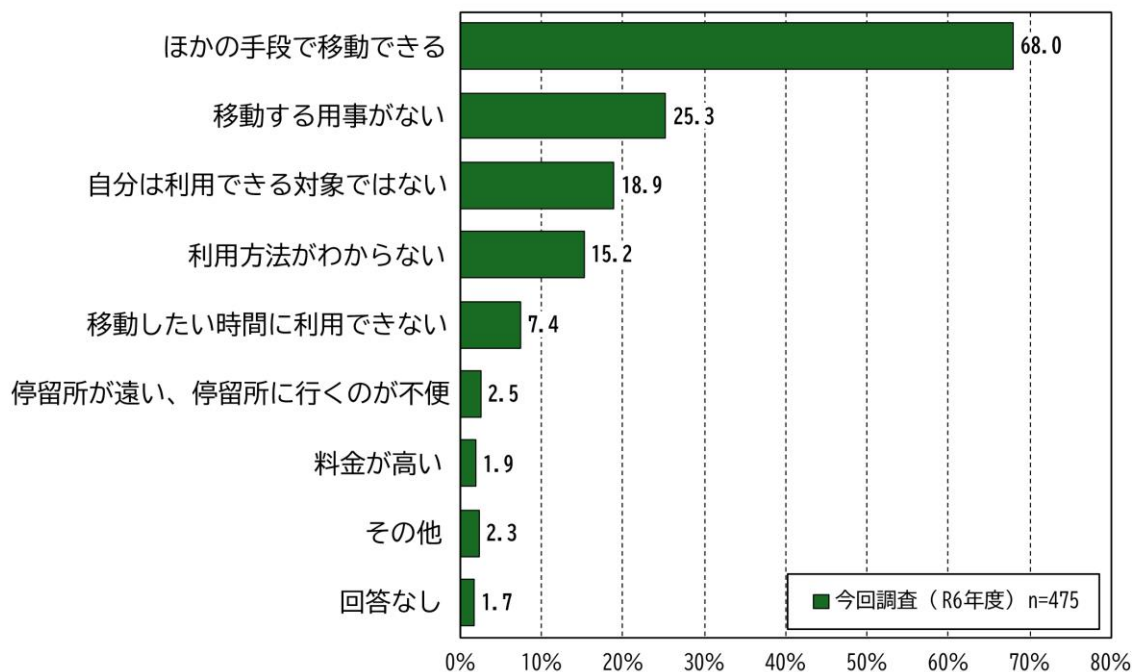
男女別に『利用している』の割合をみると、男性は2.6%（同5人）、女性は1.2%（同3人）です。わずかに男性の方が高くなっています。

年齢別にみると、29歳以下、30～39歳ならびに60～69歳では、『利用している』は0.0%（同0人）で、利用した方はいませんでした。40～49歳で「1か月に数回程度利用している」が1.3%（同1人）、50～59歳で「1か月に数回程度利用している」が3.6%（同3人）、70歳以上で「1週間に1日から3日程度利用している」が0.9%（同1人）、「1か月に数回程度利用している」が3.5%（同4人）で、いずれの年代でも利用の実績はごく少数に限られている状況です。

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

★「3. 1か月に数回程度利用」「4. ほとんど利用しない」「5. 利用したことがない」を選んだ方にお聞きます。
乗合タクシー（のりかめさん）を利用しない理由は何ですか。 ※2つまでに○

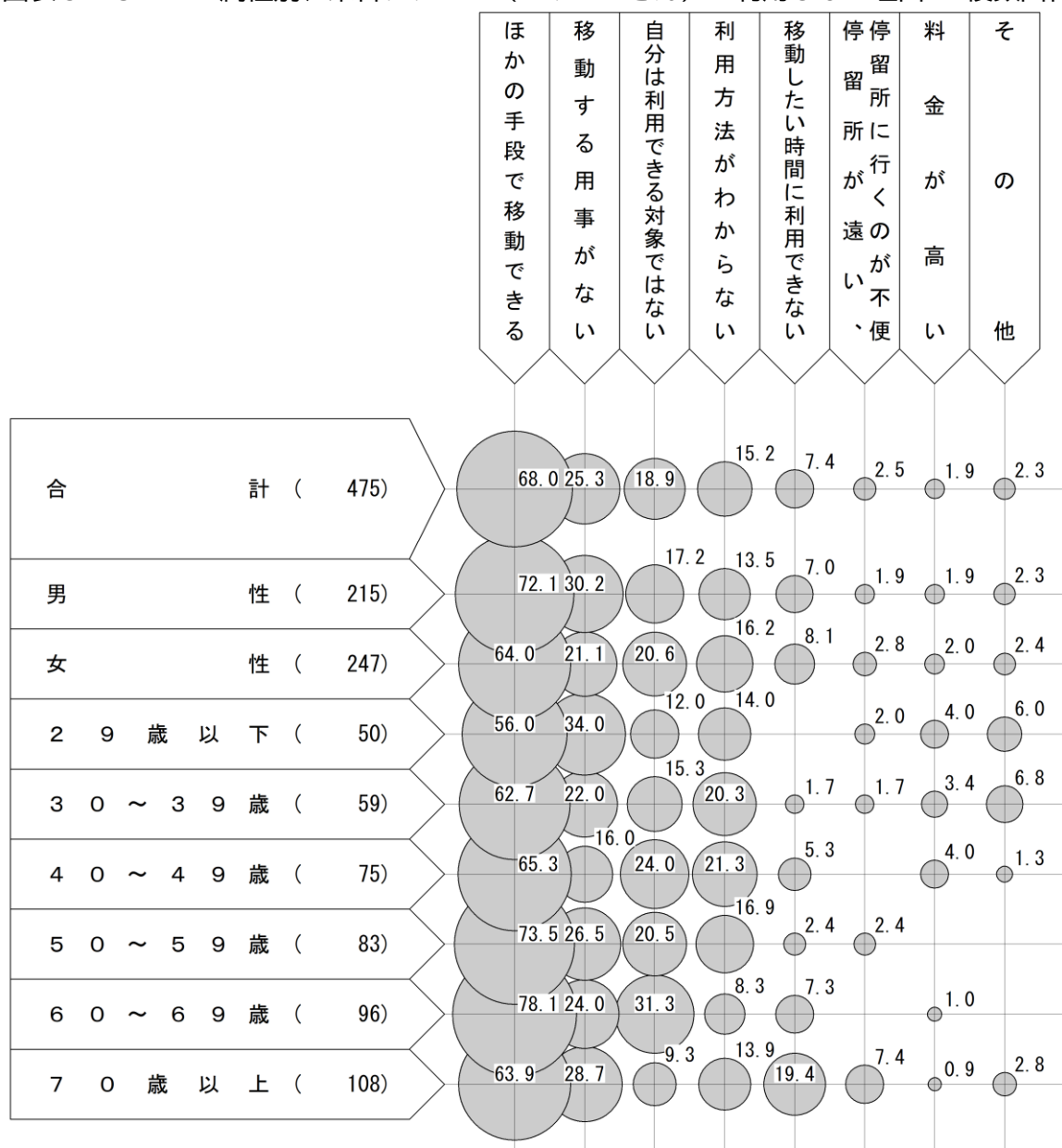
図表5－3－3 乗合タクシー（のりかめさん）を利用しない理由 -複数回答-



乗合タクシー（のりかめさん）の利用状況で「1か月に数回程度利用している」、「ほとんど利用しない」、又は「利用したことがない」と回答した475人を対象に、乗合タクシー（のりかめさん）を利用しない理由を聞いたところ、「ほかの手段で移動できる」が68.0%で最も高くなっています。次いで、「移動する用事がない」が25.3%、「自分は利用できる対象ではない」が18.9%となっています。

このほかでは、「利用方法がわからない」が15.2%、「移動したい時間に利用できない」が7.4%と続いています。

図表5-3-4 属性別、乗合タクシー（のりかめさん）を利用しない理由 -複数回答-



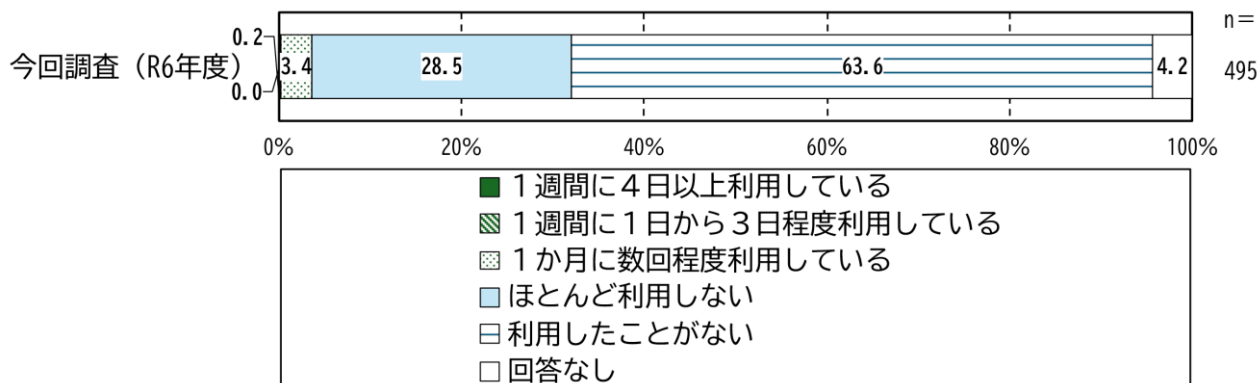
男女別、年齢別にみても、「ほかの手段で移動できる」が最も高く、次いで「移動する用事がない」、「自分は利用できる対象ではない」の順に高くなっている点は共通しています。

60～69歳では、「ほかの手段で移動できる」が78.1%で最も高くなっており、次いで、「自分は利用できる対象ではない」が31.3%高くなっています。また、70歳以上では、「ほかの手段で移動できる」の63.9%、「移動する用事がない」の28.7%に次いで、「移動したい時間に利用できない」が19.4%となっており、他の年齢層と比べかなり高くなっています。

(4) タクシーの利用状況

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。
 (4) 亀山市内の移動でタクシーを利用していますか。 ※1つだけに○

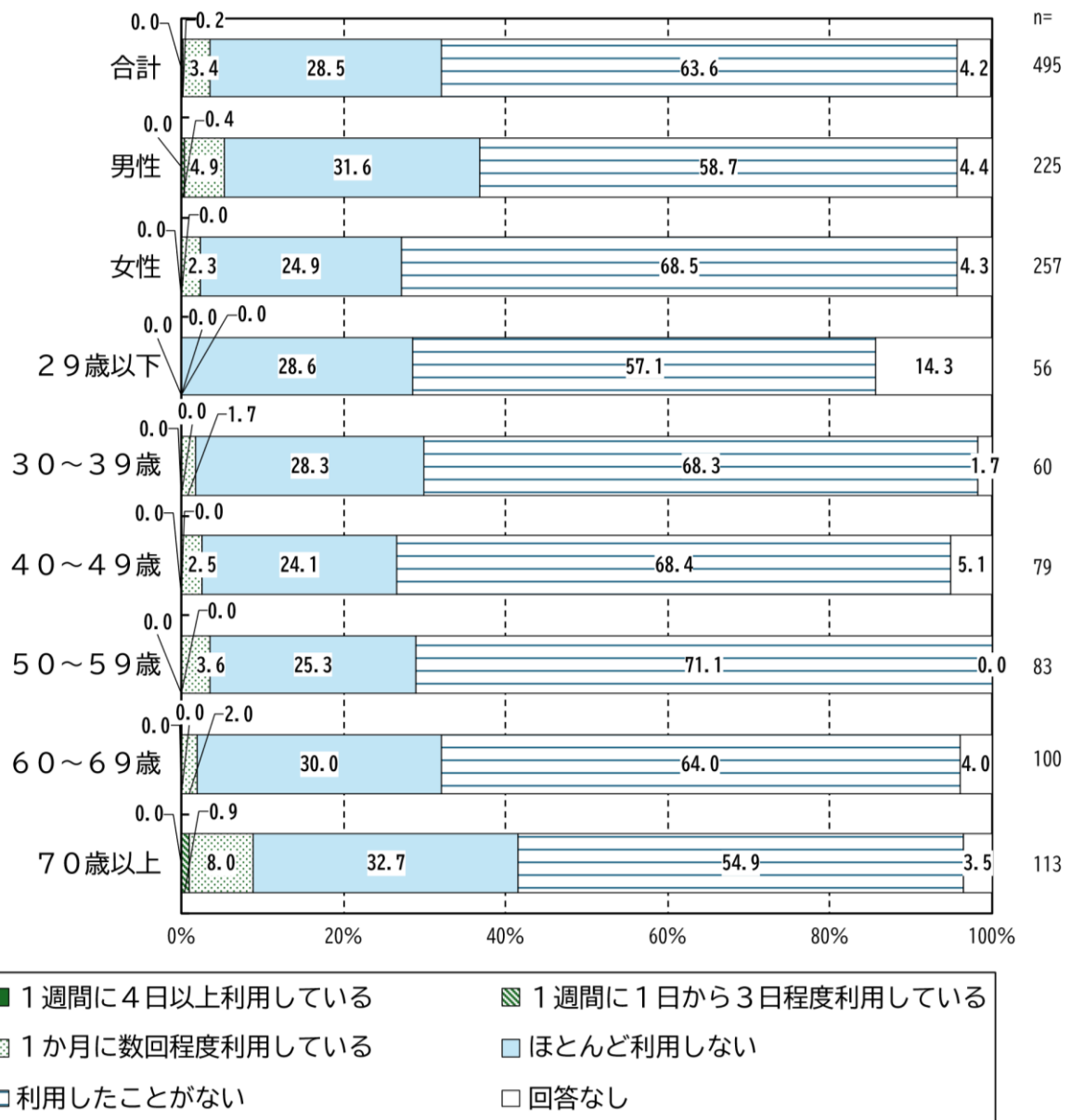
図表5-4-1 タクシーの利用頻度



「利用したことがない」が63.6%で最も高く、次いで「ほとんど利用しない」が28.5%となっています。この両者をあわせた『利用していない』は92.1%となり、9割以上はタクシーを利用していません。

一方、「1週間以上4日以上利用している」は0.0%（回答者0人）、「1週間に1日から3日程度利用している」は0.2%（同1人）となっています。『1週間に1日以上利用している』はわずかに0.2%にとどまっています。また、「1か月に数回程度利用している」は3.4%（同17人）となっており、これもあわせた『利用している』は3.6%で4%に満たない割合となっています。

図表5-4-2 属性別、タクシーの利用頻度



男女別に『利用している』の割合をみると、男性は5.3%（同12人）、女性は2.3%（同6人）です。わずかに男性の方が高くなっています。

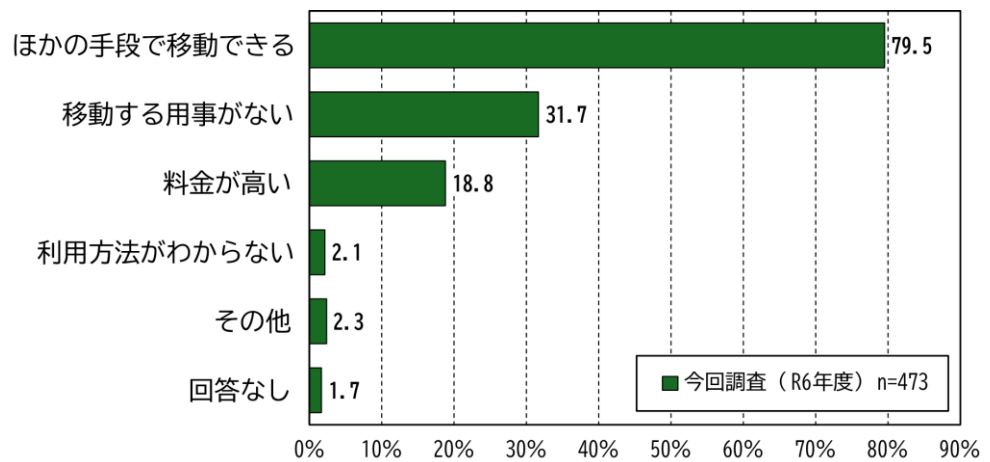
年齢別に『利用している』の割合をみていくと、29歳以下では0.0%（同0人）です。30～39歳で1.7%（同1人）、40～49歳で2.5%（同2人）、50～59歳で3.6%（同3人）、60～69歳で2.0%（同2人）となっており、69歳までの年齢層ではタクシーの利用がごく少数にとどまっています。

70歳以上になると、『利用している』は8.9%（同10人）と他の年齢層と比較すると高くなっています。

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

★「3. 1か月に数回程度利用」「4. ほとんど利用しない」「5. 利用したことがない」を選んだ方にお聞きます。
タクシーを利用しない理由は何ですか。 ※2つまでに○

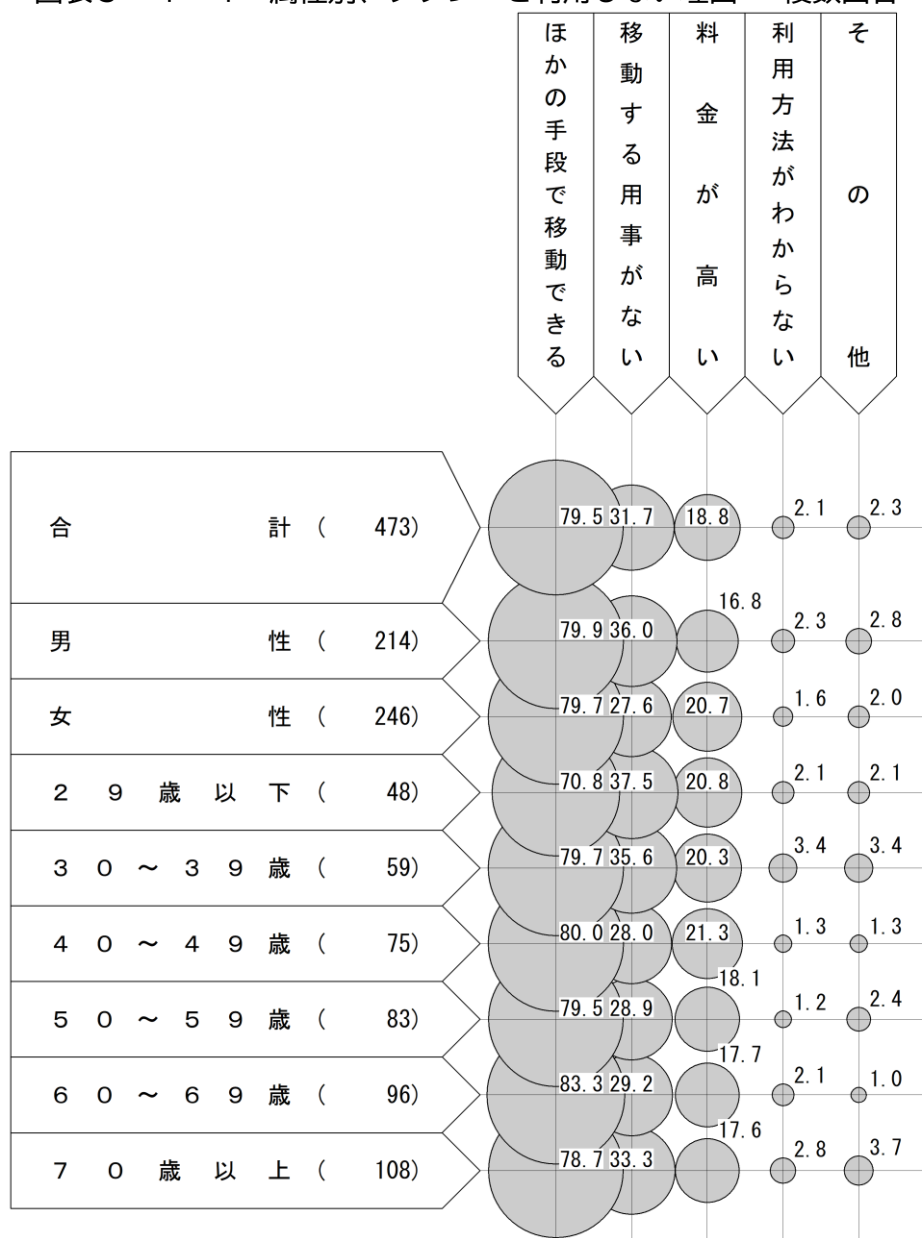
図表5－4－3 タクシーを利用しない理由 -複数回答-



その他……タクシー会社の質が悪い、台数が少ない、すぐに対応できない、
利用したい時や場所でタクシーが捕まらない、ほぼタクシーを見かけない、
遠方に行くときのみ使用、行きたいところへすべてバスで行けるとは限らない

タクシーの利用状況で「1か月に数回程度利用している」、「ほとんど利用しない」、又は「利用したことがない」と回答した473人を対象に、タクシーを利用しない理由を聞いたところ、「ほかの手段で移動できる」が79.5%で最も高くなっています。次いで、「移動する用事がない」が31.7%、「料金が低い」が18.8%となっています。

図表5－4－4 属性別、タクシーを利用しない理由 -複数回答-



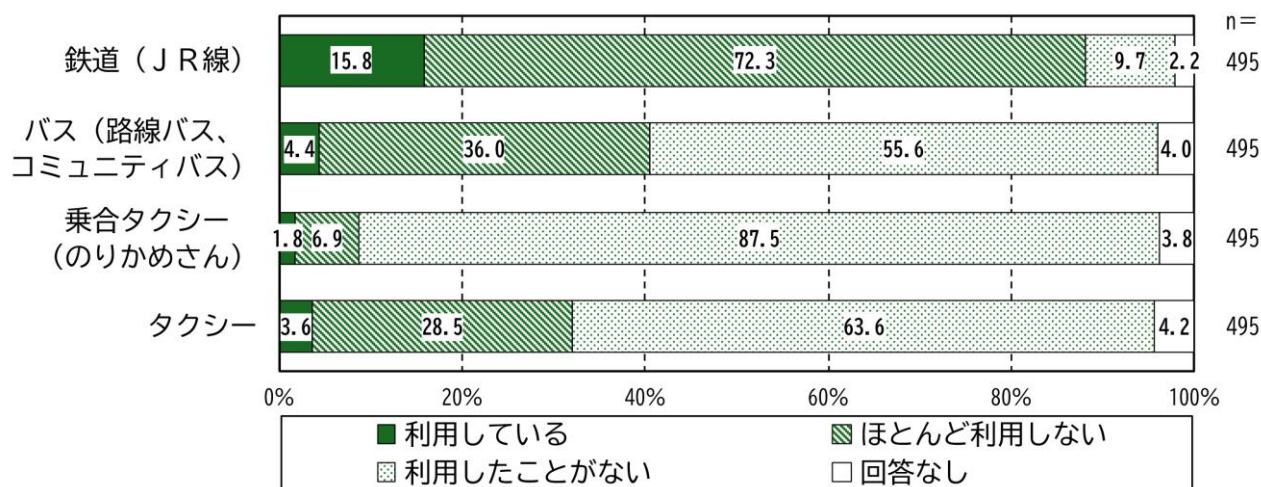
男女別にみても、「ほかの手段で移動できる」が最も高く、次いで「移動する用事がない」、「料金が安い」の順に高くなっている点は共通しています。

年齢別にみても、いずれの年代でも「ほかの手段で移動できる」が最も高く 70%台から 80% 台の回答となっています。次いで「移動する用事がない」が高く 20%台後半から 30%台の回答となっています。年齢の違いによる顕著な傾向はみられません。

(5) 公共交通の利用状況(鉄道(JR線)、バス、乗合タクシー、タクシーの比較)

問5 亀山市の公共交通機関の利用状況についてお答えください。

図表5-5-1 公共交通の利用状況



注：上記の図表では、アンケートの選択肢「1週間に4日以上利用している」、「1週間に1日から3日程度利用している」、「1か月に数回程度利用している」の3つをあわせて「利用している」としている。

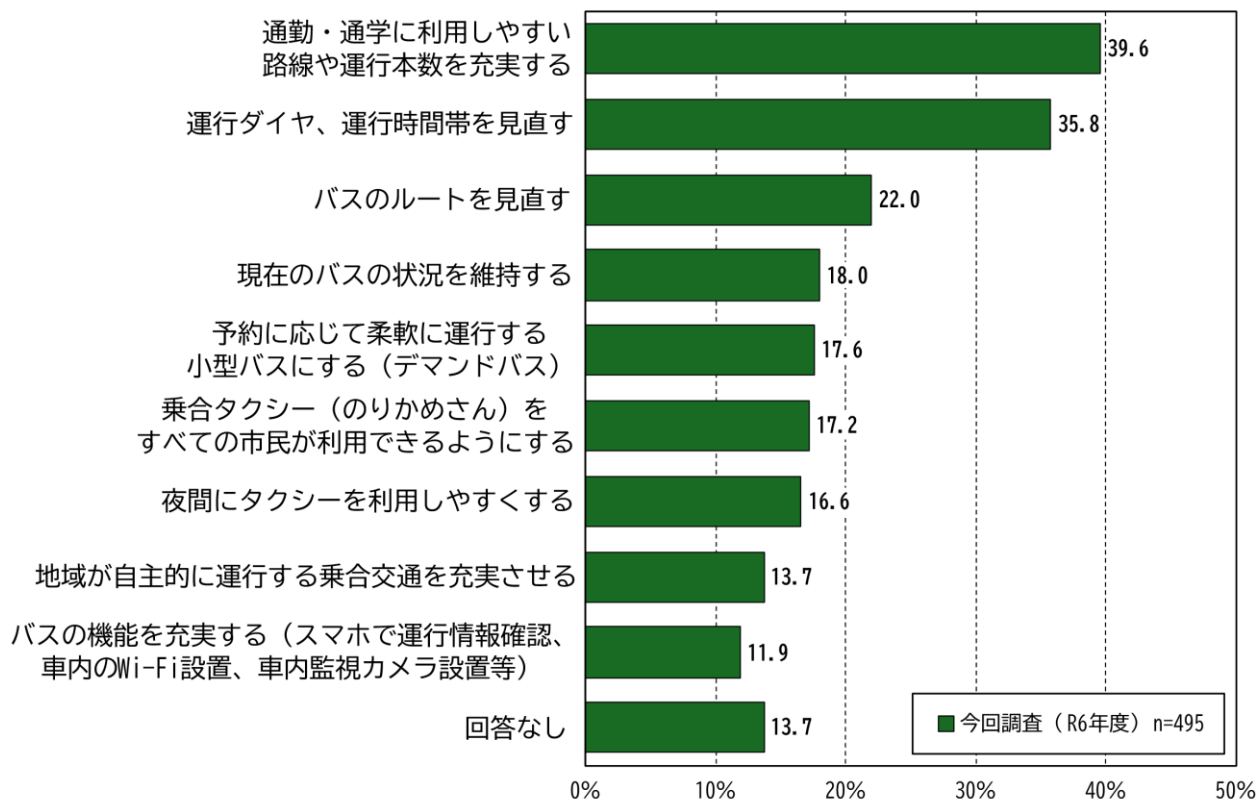
鉄道(JR線)、バス、乗合タクシー、タクシーの利用状況を比較すると、「利用している」は、鉄道(JR線)が15.8%、バス(路線バス、コミュニティバス)が4.4%、タクシーが3.6%、乗合タクシー(のりかめさん)が1.8%となっています。バス、タクシー、乗合タクシーともに利用している人は5%に満たない少数となっています。

「利用したことがない」は、鉄道(JR線)では9.7%と低い値となっていますが、乗合タクシーは87.5%で9割近くが利用したことがない状況です。タクシーは63.6%と6割以上、バスも55.6%と5割以上が利用したことがないと回答しています。

(6) 亀山市の公共交通に今後期待すること

問6. 亀山市の公共交通に今後期待することについてお答えください。※あてはまるものすべてに○

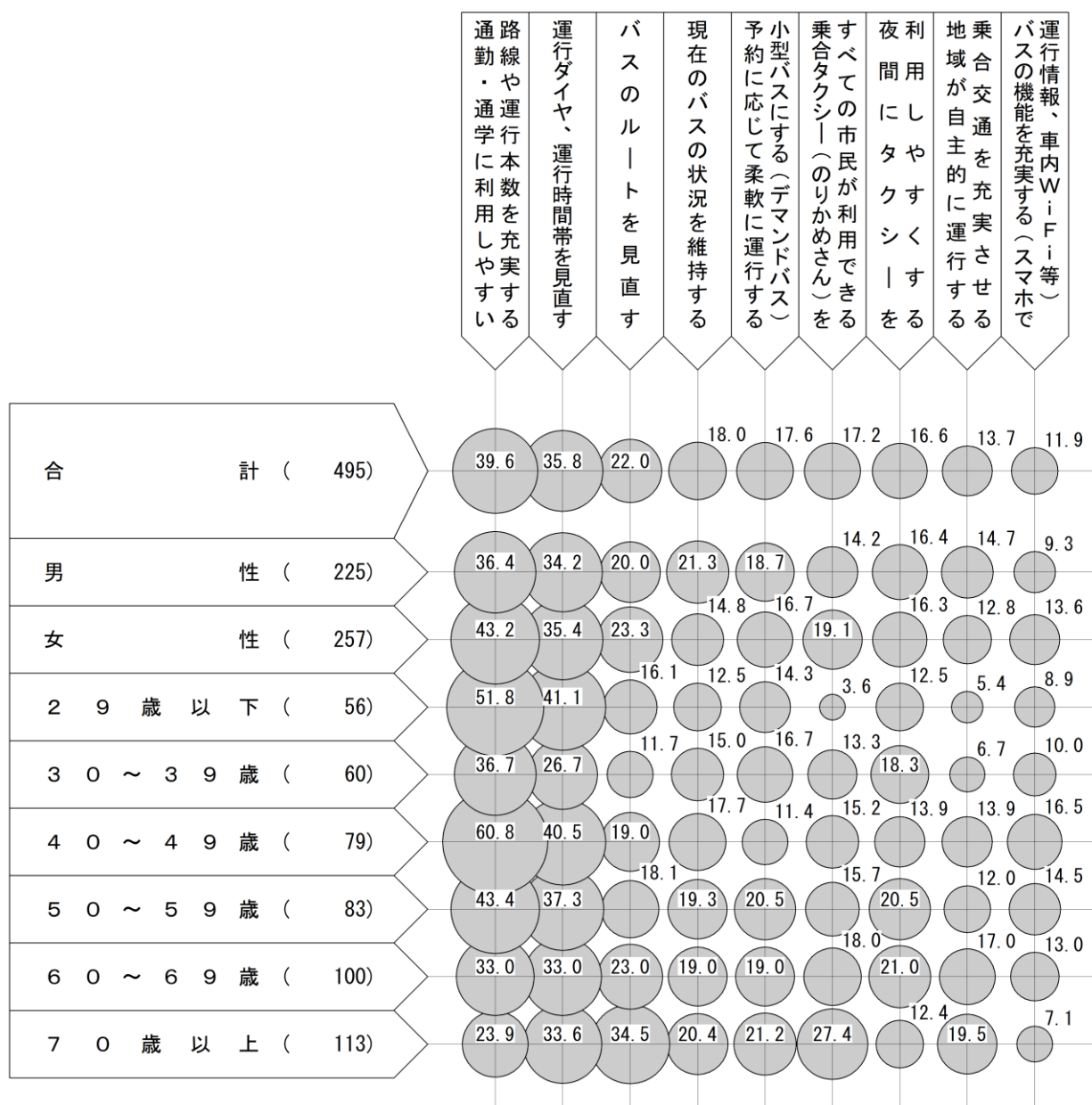
図表5-6-1 亀山市の公共交通に今後期待すること -複数回答-



亀山市の公共交通に今後期待することとしては、「通勤・通学に利用しやすい路線や運行本数を充実する」が39.6で最も高く、次いで「運行ダイヤ、運行時間帯を見直す」が35.8%となっています。この2つが30%を超える回答を得ています。

さらに、「バスのルートを見直す」が22.0%、「現在のバスの状況を維持する」が18.0%、「予約に応じて柔軟に運行する小型バスにする（デマンドバス）」が17.6%、「乗合タクシー（のりかめさん）をすべての市民が利用できるようにする」が17.2%、「夜間にタクシーを利用しやすくする」が16.6%と続いています。

図表5-6-2 属性別、亀山市の公共交通に今後期待すること -複数回答-



男女別にみると、「通勤・通学に利用しやすい路線や運行本数を充実する」については、男性は36.4%、女性は43.2%で、女性の方が6.8ポイント高くなっています。また、「現在のバスの状況を維持する」については、男性は21.3%、女性は14.8%で、男性の方が6.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、29歳以下と40～49歳では、「通勤・通学に利用しやすい路線や運行本数を充実する」がそれぞれ51.8%、60.8%、「運行ダイヤ、運行時間帯を見直す」がそれぞれ41.1%、40.5%と、他の年代と比べて高くなっています。また、70歳以上では、「バスのルートを見直す」が34.5%と高くなっており、合計（全平均）の22.0%を12.5ポイント上回っています。また、「乗合タクシー（のりかめさん）をすべての市民が利用できるようにする」が27.4%と相対的に高く合計（全平均）の17.2%を10.2ポイント上回っています。

亀山市の公共交通に今後期待することとして、その他も期待することを自由回答として求めました。寄せられた自由意見は以下の通りです。

図表５－６－３ 亀山市の公共交通に今後期待すること（自由意見）

自由意見
関に住んでいるが、バスもタクシーもない。他の地域から約 15 年前に移ってきたが、何もないので驚いた。自分は車の運転もできない。
公共交通機関を生活の主軸に使う人がより便利に活用できることを願っている。
駅周辺の駐車場の整備。
関駅のトイレをきれいな新しいものにしてほしい。臭いにおいがするのできれいに掃除してほしい。
亀山駅のパークアンドライドの充実。コインパーキングが乱立しており、料金がバラバラなのが気になる
亀山駅をもっと充実してほしい。コンビニ、スタバ
近鉄線の誘致
近鉄線へのアクセスを良好にする。近鉄線を亀山にも通す。
近鉄路線の導入
奈良県と三重県で近鉄は異常に強いようだが、他の県のようにＪＲにはもっと頑張してほしい
リニアより近鉄の駅を作って欲しい
近鉄線につなげて欲しい
自家用車がなくなり、買い物や通院にタクシーを利用することになると、経済的負担が大きい
交通事故が最近多い。よく見かけるので、バス、タクシーも安全に運行してほしい。歩道に車を停車、駐車してあると、自転車で通行しにくい。非常に危ない目にあうことが多いので、何とかしてほしい。
親族に高校生がいるが、鈴鹿の学校に行くのに、コミュニティバス、鉄道、鉄道と乗り継いで時間をかけて通っている。かなり遠回りの上、時間がかかり、コミュニティバスは運行本数も少なく困っている。すべてを解決するとは言わないが、亀山のみの生活ではやっていけないため、亀山-平田間、亀山-津間の交通の充実や、せめて亀山のコミュニティバスと鈴鹿のコミュニティバスの乗り継ぎができたり、亀山のコミュニティバスと近鉄をつなぐような交通体制があれば、学生の利便性の向上につながり、人口の定着につながるのではないのでしょうか。より良い亀山市を希望します。
亀山市内にいつでもどこからでも往来できる交通網のある地域を夢見ている。
利用しやすい場所に駅を増やしてほしい。名古屋へ行きたい。
特定の目的で公共交通機関を利用したいときが、映画館、美術館、博物館、水族館などなので、東員や津、名古屋などへのアクセスをよくしてほしいが、根本的に改革しなければどうしようもない（し、する必要も感じられない）
現在 82 歳で、３年後からは車が利用できなくなる。それまでに歩くことを勉強する必要がある。
今の亀山市の公共交通は、ある程度元気な人しか利用できない。高齢者は車の免許を返納すると、何らかの支援がないと生活できない。自宅に閉じこもるしかない。もっと市民に寄り添った、地域に利することに税金を使ってほしい。
免許証返納後の高齢者が生活を滞りなくおくれるシステムを望む
障がい者用タクシーチケットが使いづらい。障がい福祉をもっと発展させてほしい。他の県や市より遅れている。

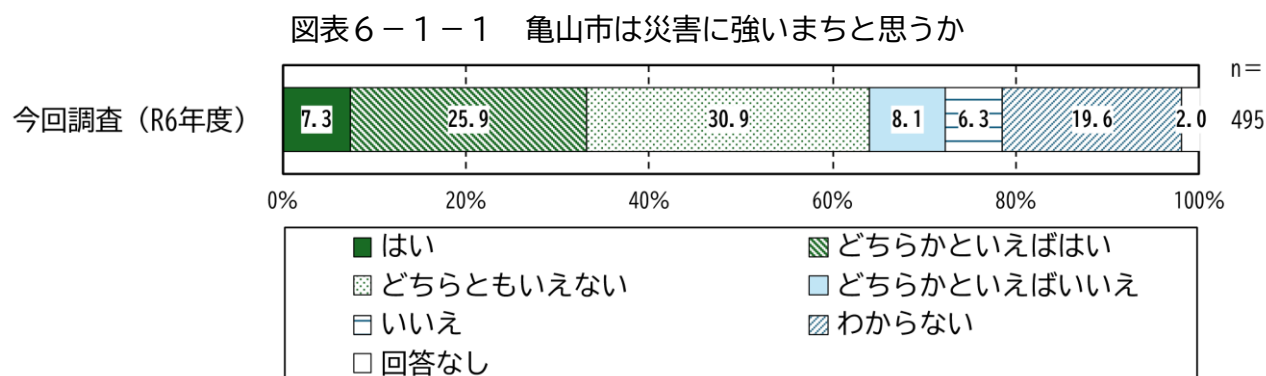
自由意見
利用者本人や利用団体の都合に合わせて事前プログラムを用意する。
コストコ建設についてはどうなっているのか？
病院や薬局が近くにない。
チェーン店をもっと充実させる。鈴鹿に行けばあるが、亀山には何もないレベル。
車窓を含め、ＪＲをきれいに掃除してほしい
小学校の給食を改善してほしい。
ほかの市町は庁舎がきれいで素晴らしいと思うが、亀山はいつきれいな庁舎になるのか。駐車場も狭く停めにくい。高齢者に優しくない。
乗合タクシーは、コロナ、インフルエンザ等が多い際に利用できない。タクシー券のほうが病院にも通いやすい。市役所、あいあいなど公共交通機関が利用しにくい。
まだタクシーを利用することはないが、もし不自由になれば、次の日から困ることになる。
早朝のタクシー利用をしやすくしてほしい。
赤ちゃん連れも乗合タクシーを利用できたら便利かもしれない
トイレ綺麗にしてほしい
阿野田から管内、オークワから 306 号線を通って医療センターへ向かうルートの方が欲しい。歩行者が多いわりに歩道もなく、危ないため、検討をお願いしたい。
小型バスにする。
鈴鹿と亀山の境にバスのアクセスバス停を設置してほしい。
バスについて、朝 8 時台は早すぎる。帰りが困る。帰りが心配。
フリー停留所を増やしてサービス向上を図る。
先日いなべ市に行った際、無料の市内周遊の乗合バスがとても便利だった。運転手の対応もよく、親切で感動した。
コミュニティバスが運行している地域に住んでいるが、高齢者や学生には必要であると思う反面、車を運転できる世代は時間や行き先が不便すぎて、利用しないと存続難しいと思いつつ利用していない。今後、人もどんどん減っていくので高齢者や学生が利用しやすい別の交通システムを考えて行ったほうが良いのではと感じる
バス停まで行くのに遠回りになるので、路線を変更は無理でも、バス停以外の場所でも昇降できるようにしてほしい。
フリーのバス停区間を設定してほしい
バス停を増やす(亀山高校西のバス停が亀山高校からかなり遠いのが不便です。)
バスのルートや運行ダイヤの一覧表が広報とかで見れるとよいと思う。
ＪＲ関西線の本数をより多くするべき。不便すぎる。
バスの本数が少なく利用しにくい。
通勤通学に限定せずいつでも利用できるように、本数を充実させてほしい。
ＪＲ線の本数増加。特に津方面。
ＪＲ線の電車運行の本数を増やす
とにかく本数が少ない
バスやＪＲの本数を増やしてほしい

自由意見
J R関西本線を通学でほぼ毎日利用するが、15～16 時台に学生が多すぎて潰される。1 時間に 1 本しかないから仕方ないと思うものの、乗る度に苦痛。1 時間に 2 本など下校時間に合わせてくれればもっと快適に電車に乗れるだろうと思っている。
市内でも亀山駅だけでなく、同じ亀山市内の関町でも 1 台ほど巡回してほしい
加茂行きの運行を辞めないでほしい
自動運転バスの導入により、経路、本数が増加すれば、利用する機会が有ると思う
休日だけでもバスの本数を増やす
亀山市駅⇄エコー⇄ベルシティ間のシャトルバス運行。亀山市民が買い物しやすくなる。自家用車の運転が少なくなり、CO2 削減になる。エコーをもっと充実させて、鈴鹿市民を呼び込めるぐらいの魅力が必要。
使用の仕方は広報などに記載されていますが、どのようにすれば利用できるのか今のところわからない。年齢、時間帯、その他いろいろの条件がわからない。
使わないのでわからない
金がない（金をかける意味がない）ので期待することがない

6. 災害について

(1) 亀山市は災害に強いまちと思うか

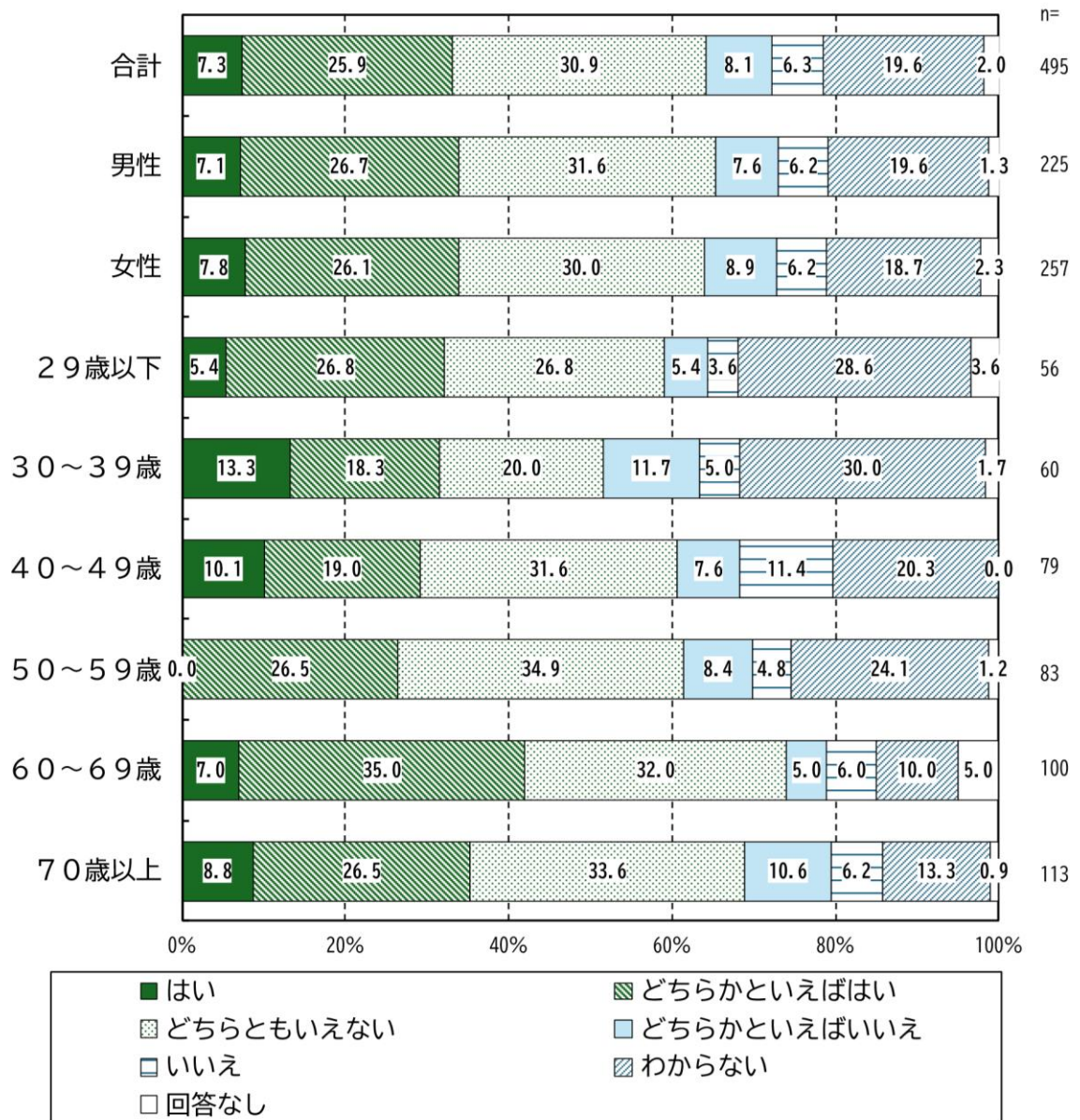
問7 . 亀山市は災害に強いまちだと思いますか。 ※1つだけに○



亀山市は災害に強いまちと思うかについては、「はい」が7.3%、「どちらかといえばはい」が25.9%で、両者をあわせた『災害に強いまちだと思う（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は33.2%で3割超となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」が8.1%、「いいえ」が6.3%で、両者をあわせた『災害に強いまちだと思わない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は14.4%となっており、『災害に強いまちだと思わない』より『災害に強いまちだと思う』の方が高くなっています。

しかしながら、「どちらともいえない」が30.9%で約3割と、『災害に強いまちだと思う』に近い割合を占めており、また、「わからない」も19.6%と2割近くを占めています。

図表6-1-2 属性別、亀山市は災害に強いまちと思うか



男女別に『災害に強いまちだと思う（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』をみると、男性が33.8%、女性が33.9%で、男女による差はほとんどありません。『災害に強いまちだと思わない（「どちらかといえはいえ」＋「いいえ」）』も男性の13.8%に対し女性は15.1%で大きな違いはみられません。

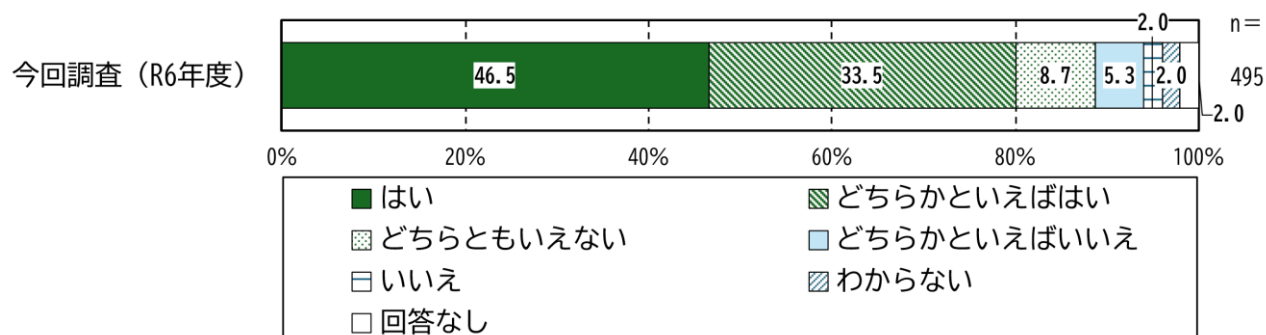
年齢別にみると、29歳以下ならびに30～39歳では「わからない」がそれぞれ28.6%、30.0%で、他の年齢層と比べ高くなっています。また、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では、いずれの年齢層でも「どちらともいえない」が合計（全平均）の30.9%を上回っています。

なお、『災害に強いまちだと思う』が最も高いのは60～69歳の42.0%、『災害に強いまちだと思わない』が最も高くなっているのは40～49歳の19.0%でした。

(2) 災害に対する不安はあるか

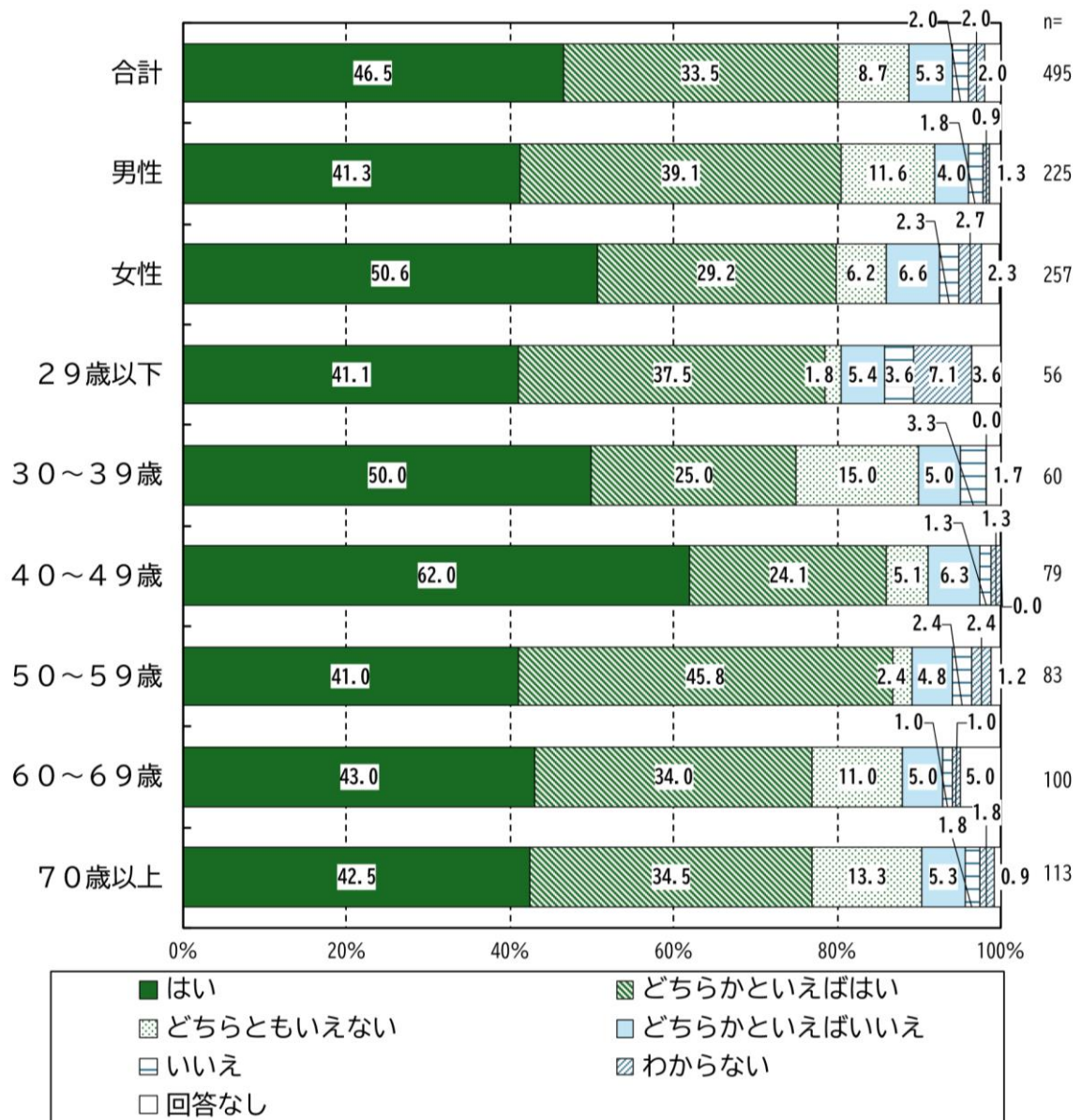
問8. 災害に対する不安はありますか。 ※1つだけに○

図表6-2-1 災害に対する不安はあるか



災害に対する不安があるかについて、「はい」が46.5%、「どちらかといえばはい」が33.5%となっており、両者をあわせた『災害に対する不安がある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』は80.0%で8割とかなり高い割合を占めています。一方、「どちらかといえばいいえ」は5.3%、「いいえ」は2.0%で、両者をあわせた『災害に対する不安はない（「どちらかといえばいいえ」＋「いいえ」）』は7.3%となっています。『災害に対する不安がない』は少数で、『災害に対する不安がある』の方が圧倒的に高くなっています。

図表6-2-2 属性別、災害に対する不安はあるか



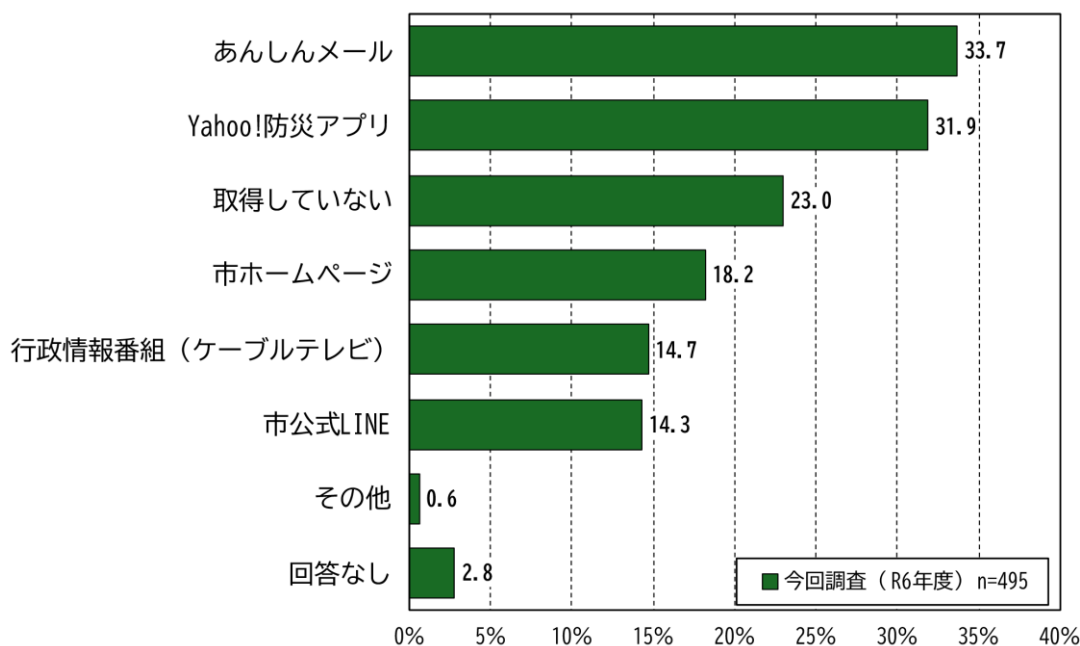
男女別に『災害に対する不安がある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』をみると、男性が80.4%、女性が79.8%で、男女による差はほとんどありません。しかしながら、「はい」と回答した割合は、男性の41.3%に対して女性は50.6%で、女性の方が9.3ポイント高くなっています。

年齢別に『災害に対する不安がある（「はい」＋「どちらかといえばはい」）』をみると、最も高いのは50～59歳の86.8%で、次いで40～49歳の86.1%が高くなっています。40歳代から50歳代の中年層で、災害に対する不安を感じている割合が高くなっています。

(3) 災害時に市から情報を取得する方法

問9 地震や大雨などの発災時に、市から発信する情報をどのように取得していますか。
※あてはまるものすべてに○

図表6-3-1 発災時に市から情報を取得する方法 -複数回答-



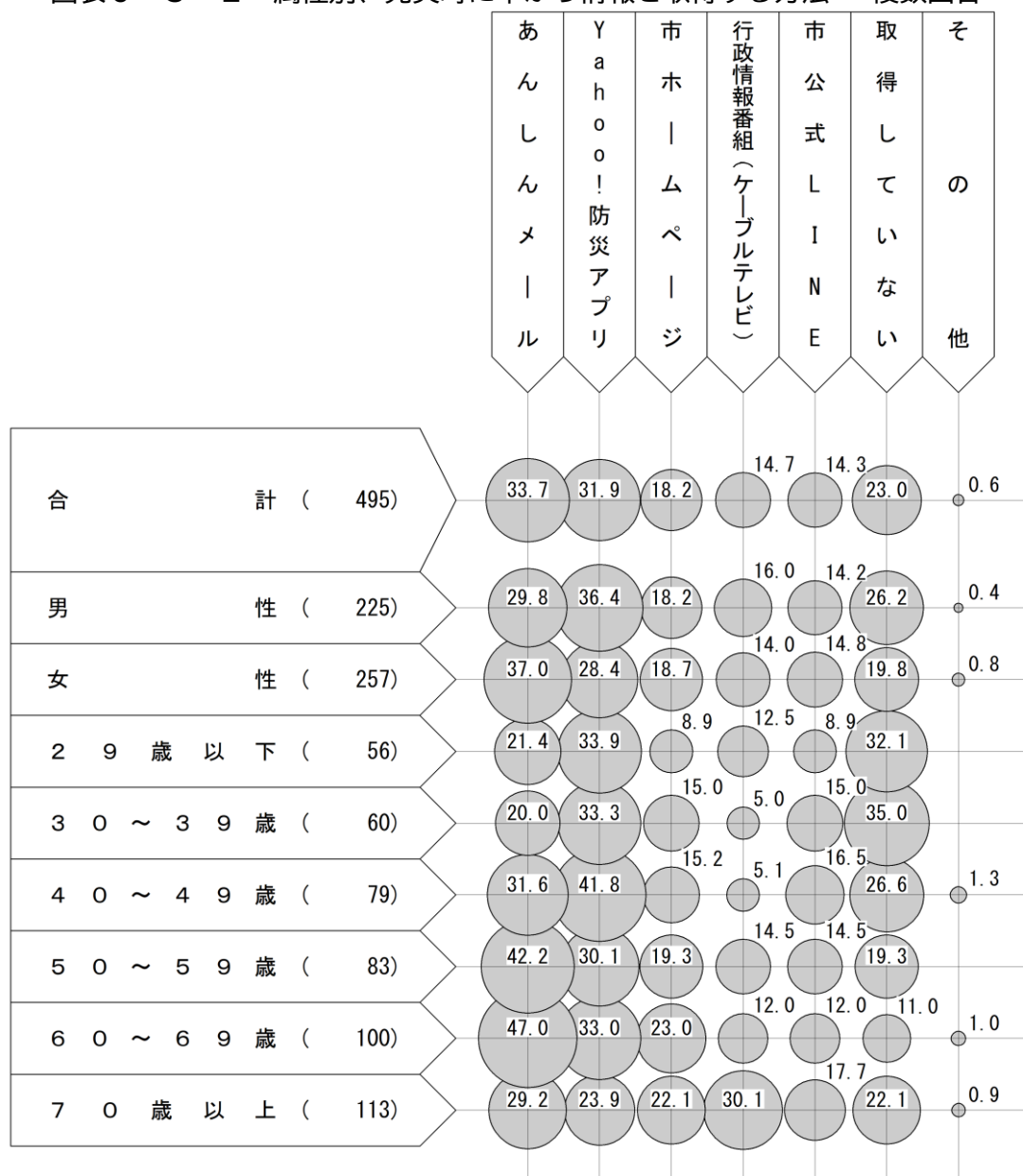
その他……「行政無線も災害時には聞き取りにくいので、各自治体役員宅へ伝達し各戸へ知らせる。」
「緊急時、各自治会に緊急現状況を知らせ、対策する。」「広報無線」

災害時に市から情報を取得する方法については、「あんしんメール」が33.7%で最も高く、次いで「Yahoo!防災アプリ」が31.9%となっています。この2つが3割を超えています。

一方、「取得していない」が23.0%と2割超を占め、市からの情報を取得していないと回答しています。

このほかでは、「市ホームページ」が18.2%、「行政情報番組 (ケーブルテレビ)」が14.7%、「市公式LINE」が14.3%となっています。

図表6-3-2 属性別、発災時に市から情報を取得する方法 -複数回答-



男女別にみると、男性では「Yahoo!防災アプリ」が36.4%で最も高く、次いで「あんしんメール」が29.8%となっています。一方、女性では「あんしんメール」が37.0%で最も高く、次いで「Yahoo!防災アプリ」が28.4%となっています。上位の1位と2位が男女で異なっています。また、「取得していない」は男性が26.2%、女性が19.8%で、取得していない割合は男性の方が6.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、29歳以下、30～39歳、40～49歳では、「Yahoo!防災アプリ」がそれぞれ33.9%、33.3%、41.8%で、「あんしんメール」よりも高くなっています。逆に50～59歳、60～69歳では、「あんしんメール」の方が高く、それぞれ42.2%、47.0%でともに4割を超えています。

なお、29歳以下、30～39歳では、「取得していない」がそれぞれ32.1%、35.0%で他の年齢層と比べ高くなっています。